

1998（平成10）年度

講義内容

全学共通科目

駒澤短期大学

講 義 内 容

目 次

I	全学共通科目	(国文科・英文科・放射線科)	
1	宗教教育科目	1
2	教養教育科目	
	(1) 人文分野	17
	(2) 社会分野	39
	(3) 自然分野	71
	(4) 総合分野	101
3	外国語科目	117
4	保健体育科目	171
II	全学共通科目	(仏教科—夜間開講—)	
1	宗教教育科目	1
2	教養教育科目	
	(1) 人文分野	7
	(2) 社会分野	17
	(3) 自然分野	27
3	外国語科目	35
4	保健体育科目	47

国文科	教養教育科目	必修科目
		選択科目
		人文分野
		社会分野
		自然分野
英文科	外国語科目	総合分野
		必修科目
放射線科	科目	英語
		ドイツ語
		フランス語
		中国語
		スペイン語
		再履修
		選択科目
		必修科目
		選択科目
		保健体育科目
仏教科	(夜間開講)	宗教教育科目
		人文分野
		社会分野
		自然分野
		外国語科目
		保健体育科目

I 全学共通科目

(国文科・英文科・放射線科)

国文科・英文科・放射線科	宗教教育科目	必修科目	
		選択科目	
		人文分野	
		社会分野	
	教養教育科目	自然分野	
		総合分野	
		外国語必修科目	英語
			ドイツ語
	フランス語		
	中国語		
スペイン語			
再履修	再履修		
	選択科目		
保健体育科目	必修科目		
	選択科目		

1 宗教教育科目

1 宗教教育科目

《必修科目》

仏教と人間〈短国〉(石井公成)	1
仏教と人間〈短国〉(袴谷憲昭)	2
仏教と人間〈短英〉(奥野光賢)	3
仏教と人間〈短英〉(木村誠司)	3
仏教と人間(前期)〈短放〉 (角田泰隆)	4
仏教と人間〔再クラス〕〈短国・短英〉 (黒丸寛之)	4
仏教と人間〔再クラス〕〈短国・短英〉 (飯塚大展)	5
仏教と人間〔再クラス〕〈短国・短英〉 (奈良康明)	5
仏教と人間〔再クラス〕(前期)〈短国・短英・短放〉 (石井公成)	6

《選択科目》

文化と宗教〈短国・短英〉(長谷部八朗)	7
社会と宗教〈短国・短英〉(洗建)	7
自然と宗教〈短国・短英〉(佐藤憲昭)	8
坐禅(前期)(後期)〈短国・短英〉 (佐藤秀幸・木村誠治)	9
日本仏教史(前期)〈短国・短英〉 (石井公成)	10

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	いし い こう せい 石 井 公 成	短 国 1 必	4

講義のねらい

釈尊に始まる仏教の基本的な立場、インド・中国・朝鮮・日本などの仏教史の流れ、禅および道元禅師の思想について十分な理解を得、宗教に関する様々な問題について自分で調べ、また考えることができるようになることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

原始仏教の基本的な立場を明らかにしたうえで、仏教史の流れ、禅および道元禅師の思想について講義する。その際は、受容と変容の過程に注意し、仏教以外の宗教との違いやまた呪術的な習俗とのかかわりなどにも注意する。

履修上の留意点

一人一人に頻繁に質問を行うほか、問題によっては討論を行うこともあるため、進んで取り組む態度が必要である。

成績評価の方法

試験の成績を重視し、あわせて講義に積極的に参加しようとしたかどうかを考慮する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

平川彰著『インド・中国・日本 仏教通史』（春秋社） 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	はかま 袴 谷 のり あき 憲 昭	短 国 1 必	4

講義のねらい

“Un enfant n'est pas un homme (子供は人間ではない)” とパスカルは言い、デカルトもまた、その主著『方法序説』の第2部で、これと同じ考えを更に明確に述べている。私たちもまた「人間」になるために成長してきたはずであるが、しかし、今日ほど「人間」になることが疎んじられている時代もそう多くはないのではあるまいか。確かに、皆んな不可避免的に大人になるのではあるが、大人が必ずしもそのまま「人間」であるわけではない。否、もしかしたら、現在は、子供や動物の純粋さのまま大人になっている人の方が讚美され、敢えて真剣に「人間」になる必要はないとすら思われている風潮が根強いのもかもしれない。講義のねらいは、そのような現代的風潮に異議申し立てを試みることによって、「人間」とはなにか、ということ、を、「仏教」の批判的考察を通じて明らかにしていくことにある。この講義を通して、「上祐史浩はなぜ9年間セックスをしていないと公言したか」「動物よりも人間の方が穢れているとなぜ言えるか」「世の人々は修行それ自体は純粋だとなぜ言うのか」などというような問題に対して、自分で考えて答えを出せるようになってもらえれば、この講義のねらいはほぼ果されたと考えて頂いてよい。

講義の内容・授業スケジュール

デカルトによれば、「人間」とは、言葉 (parole) と理性 (raison) をもって「考える (penser)」人のことである。従って、彼は、「私は考える、それゆえに私はある (Je pense, donc je suis.: I think, therefore I am).」と言ったのであり、それは、もし「考える」ことから出発しなければ、仮に「私が」事実として存在するとしても、その「私」は、「人間」になり切れない単なる子供であるか、さもなければ限りなく動物に近い存在であるしかない、ということの意味する。しかるに「考える」ことをデカルトのように重視しなければ、その対極には、子供や動物や自然の純粋さを讚美する意見が屹立するであろう。講義では、そのような例として、サン＝テグジュペリの『星の王子さま』を取り上げて、子供の純粋さとはいかなるものであるかということをも若干分析し、これに関する様々な考察も行うことにしたい。このようにして、同じヨーロッパの文化伝統の中においても、「考える」ことを重視する人とそうでない人のいることをしっかりと見据えた後に、「仏教」の考察に移る。なぜこのような段取りをつけるかということ、かかる過程を経ることによって、実はその成立の第一歩は「考える (manasikaroti, 作意)」ことから始まった仏教も、次第に「考える」ことを無視する精神主義によって骨抜きにされていった様子がよりよく理解してもらえるのではないかと思うからである。さて、その「考える」ことから出発した仏教は、「思想 (dṛṣṭi, 見)」と「習慣 (śīla, 戒)」とを峻別し、前者については言葉による論議によって「誤った思想 (邪見)」を捨てて「正しい思想 (正見)」を選択していかねばならないとしたが、後者については正邪を決し難い無記であるとした。仏教は、その後者のインドの習慣を自明のごとくに支配しているインド精神即ちアートルマン (atman, 靈魂) は存在しないということ、前者の思想の上で主張したのである。端的にいえば、仏教はインドの精神主義を否定したのであるが、仏教を標榜しながらも「考える」ことを無視してかかる精神主義を讚美する人は跡を断つこともない。それは、「仏教」を建学の理念に掲げる駒澤大学においてさえ、建学の「精神」という言葉を平気で口にする人の多いことを見ればわかることである。この講義は、本学の建学の理念である仏教についての誤解を正すための機会でもあるということであるから、学内に、「清く・明るく・直き・まことの心」が仏教の「精神」でもあるかのような、とんでもない発言をする人がいれば、それがなにゆえに誤りであるかを丁寧に説明するであろう。また、日本の仏教については、法然と明恵との根本的差異から説き起していくことにしたい。その日本の仏教の講義内容は、①古代から中世への社会状況、②法然の夢と明恵の夢の相違、③法然の夢と他力主義の革命、④明恵の夢と自力主義の復活、である。

履修上の留意点

出席はとらないが、できるだけ参加して自分で考えるチャンスにしてもらいたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験によって評価する。

教科書

デカルト『方法序説』 谷川多佳子訳 (岩波文庫 360円)

参考書等

サン＝テグジュペリの『星の王子さま』は、内藤濯訳で、岩波少年文庫に収められている。英訳には、Katherine Woods訳、*The Little Prince*, があり、A Harvest Bookとして刊行されていて、入手も容易である。

その他

授業方法は、原則として、講義形式であるが、できるだけ一緒に考える機会をつくりたいと思っている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	おくのみつよし 奥野光賢	短英1必	4

講義のねらい

本授業は「仏教の教義」を建学の理念とする本学の特色を踏まえ、仏教の基本的教え、ものの見方、人間観といったことの教授を主たる目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は、釈尊の伝記、中道、四聖諦、八正道といった仏教の基本的教えの解説を中心とし、あわせてインド・中国・日本の仏教の歴史についても目を配り概説する予定である。また、後期はプリントを配布して実際に仏教を学ぶ上での主要な原典を直接読むことも考えている。

上記のように授業の内容は仏教を中心とするが、仏教との対比の上で各宗教学にも言及し、短期大学生の一般教養としての宗教学全般についての基本的知識も習得できるよう配慮する。

履修上の留意点

大学（短大）での授業はともすれば、一方的な講義になりがちである。疑問に思った点やわからない点は遠慮せずにとどしどし質問して欲しい。

成績評価の方法

学年末の試験によって評価する。なお、レポートの提出を求める場合もある。

教 科 書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍） 1,400円

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	きむらせいし 木村誠司	短英1必	4

講義のねらい

仏教は、日本人にとって身近な宗教であるが、その教養に対して正しい理解を持った人は、必ずしも多いとは言えない。本講義では、まず、仏教の歴史を辿り、般若心経等の経典類にも触れ、仏教とはどのような教えなのかを考察していきたい。

教 科 書

特定の教科書は用いず、適宜資料を配布する。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験あるいは、レポートによって行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間(前期)	つのだたいりゅう 角田泰隆	短放1必	2

講義のねらい

仏教とは、いわゆる宗教なのだろうか。仏教は、ある意味において科学ではないのか。…仏教が説く縁起とは事実であり、その四諦説は人生の洞察から生まれている。…そのような視点から仏教とは何かについて、できるだけ具体的に、わかりやすく解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教の基本的な教義について解説するが、便宜的に、「人間」「自己」「現在」「教育」「生死」の五つの言葉を取りあげ、これらと関係させながら講義する。また、現代の問題も関連して取り上げたい。

履修上の留意点

教科書は用いないので、筆記用具を整え、講義の内容をしっかりと記録して頂きたい(定期試験には自筆ノートも持ち込みを許可する)。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者には、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

授業において紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間(再クラス)	くろまるかんじ 黒丸寛之	短国・短英	4

講義のねらい

仏陀の生涯とその基本的な教えを中心として、仏教や禅の文化と、すぐれた仏教者達の間像について講述する。再履修科目でもあるので、授業は講義とノートによって行い、成績評価は期末試験と出席状況によって決定する。特定の教科書は用いない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕	いい つか ひろ のぶ 飯 塚 大 展	短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、本学の建学の理念である仏教の教義と曹洞宗立宗の精神について、学生諸君に理解を深めてもらうために、新たに開設されたものであり、仏教や曹洞宗の教えが、現代に生きる私達人間にとって、いかなる意味を持ち、いかなる役割を果すかを中心に検討し考察するものである。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教や曹洞宗学を理解するための前提として、宗教全般に関する考察を第Ⅰ部とし、仏教の基本的立場や教えの特色、その歴史や文化的特質等を第Ⅱ部とし、仏教の実践道として独自の展開をした中国禅や日本の曹洞宗の教えやその特色を第Ⅲ部とし、最後に第Ⅳ部として、仏教や曹洞宗の教えが、現代に生きる私達人間の様々な問題に対して、どのような解答を用意しうるかを考えてみることにしたい。

履修上の留意点

本講座は、他の大学では聞くことのできない本学独自の講座であり、本学の特色を理解する重要な科目である。再クラスという事情もあり、卒業単位を充たす上からも、授業への積極的参加を期待したい。

成績評価の方法

学年末に実施する学年末試験を中心とするが、平常の授業への出席も重視して評価する。

教 科 書

指定なし。

参 考 書 等

駒澤大学仏教学部研究室編『宗教学Ⅰ』『宗教学Ⅱ』（更生社）や、水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）等が、世界の宗教、仏教、禅、曹洞宗学の全般について論述しているので便利である。

そ の 他

授業の方法は講義であり、ノートを使用し、必要に応じて内容について詳細な説明を加えていく。特にその時その時に起る宗教問題についても、取り上げていきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕	な ら やす あき 奈 良 康 明	短国・短英	4

講義のねらい

「仏教と人間」というテーマであるが、この講義では、仏教を「教学」の面からとらえるのではなく、「文化」としてとらえて、考えてみたい。

ここでいう「文化」とは、何等かの社会の成員が共有し、学習し、伝達していく行動様式、生活様式のことである。したがって、仏教の本義とされる精神性の高い教えや行法も、それが人々の間に価値観として受容され、実践されている限り、仏教「文化」である。しかし、同時に、このレヴェルの観念と修行だけでは、仏教は教団として歴史的に伝承され得ない。種々の通過儀礼、祖先崇拜儀礼、祈願儀礼、あるいは盆、彼岸のような習俗は民衆の精神的ニーズであり、これに対応したからこそ、仏教は各地に定着し、仏教の「文化」として発展してきた。

この両者を総合する立場から見たとき、仏教が人間の生活にとってどのような意味があり、どのように発展し、今日および未来の社会にどのような意義をもつかを十全に知ることができよう。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、仏教の基本的な思想、例えば、無常、無我、慈悲、奉仕、中道などとともに、通過儀礼、祖先崇拜儀礼、業と輪廻、功德の観念、等をも文化史の立場から講じてみたい。

参 考 書 等

奈良康明『仏教と人間』（東京書籍）1993年

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕(前期)	いし い こう せい 石 井 公 成	H7以前入学生/短国・短英 短 放	2

講義のねらい

仏教は総合的な文化体系であり、日本文化の主要な担い手であった。その仏教の教義と歴史について基本的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

朝鮮諸国における仏教受容のあり方と比較しつつ日本における仏教伝来について検討し以後の仏教史の流れを概観してゆく。その際は、文学とのかかわりに注意する。講義に当たっては、文献を読むことを柱とする。

履修上の留意点

こちらから頻繁に質問するほか、古文・漢文の訳なども担当してもらうため、積極的に講義に参加する態度が必要である。

成績評価の方法

試験の結果を重視するが、授業時の参加の程度も考慮する。

教 科 書

教科書は使用せず、コピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 と 宗 教	はせべ 八 郎 長谷部 八 郎	短国・短英選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

未定である。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

授業の中で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 と 宗 教	あらい けん 洗 建	短国・短英選	4

講義のねらい

「宗教なんか、自分とは関係ない」そう思っている諸君が多いのではなからうか。確かに宗教は人間の内に展開する信仰を中核とする現象であるので、「自分は信仰するつもりはないから、無関係だ」と思うのかも知れない。しかし、宗教は単なる個人的現象ではない。多くの人々に共有された文化現象である。宗教を共有する人々は、多くの場合、集団を形成して社会的存在となっている。宗教は、政治、経済、法制度、その他の世俗社会の動きに影響され、また逆に宗教的理念が世俗社会に影響を与えて、様々な社会変革をもたらしてきたのである。その関係は極めて多岐にわたっているのであって、宗教は決して社会から切り離された超越的次元にのみ存在しているものではないのである。宗教が我々の社会生活とどのようにかかわっているのか、宗教の持つ意味を考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前半で主要な学説などを概観して、宗教が人間の社会生活にどのようにかかわっているのかを理解することに努め、後半は特に国家と宗教の問題を考察する。

履修上の留意点

宗教教育科目であるので、個々の知識をおぼえるのではなく、人間にとって宗教が持つ意義を理解することに努めて貰いたい。

成績評価の方法

受講者の人数によるが、少数であれば出席による平常点を重視する。多数の場合は期末試験を行う。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

必要なときに指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 と 宗 教	さ とう のり あき 佐 藤 憲 昭	短国・短英選	4

講義のねらい

私たちは、日常生活において、自己を取り巻いている自然（例えば、海、岩、浜、山、池など）そのものに宗教性を見いだすことがあるだろうか。恐らく「ない」と答える人が多いに違いない。だが、ひとたび宗教人類学的視点からとらえ直してみると、人類は古くから自然に対してさまざまな宗教的意味づけを施してきたことが知られる。この講座では、こうした自然に焦点を合わせて、「自然と宗教」の問題に接近することを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、まず、宗教人類学の成立史、構成内容、方法などについて具体的に解説し、次に、広義のアニミズム、民俗宗教と成立宗教、宗教文化と自然観などについて学習する。後期は、沿岸地域に所在する一寺院の事例を通して、仏教文化と自然との関係について考察を深め、さらに曹洞宗の「グリーン・プラン」についても考えてみたい。

履修上の留意点

夏期休暇中に「宗教」に関する図書の感想文を作成してもらおうが、その提出は希望者のみとする。また、ときどき出席をとるので、欠席をした場合（または欠席をする場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

①受講生が少人数の場合にはゼミ形式にするので平常点で評価し、②受講生が多い場合には学年末のレポートで評価し、③受講生がすぶる多い場合には学年末の筆記試験で評価する。①②③のどれを採用するのかは、5月上旬頃に決定する予定。なお、②または③を採用した場合、その評価が59点以下である時には、感想文の点数と出席状況とを考慮して総合的に評価する。

教 科 書

佐々木宏幹『神と仏と日本人』吉川弘文館

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
坐 禅 (前期) (後期)	き 藤 秀 孝 き 村 誠 治	短国・短英選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらい、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの周りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を抛り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を正し、静けさの中で自己を見つめるのです。これは生命の大地に立ち返るときでもあります。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験する内に静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。禅が作り出したさまざまな文化にも触れるよう進めます。

講義の内容・
授業スケジュール

半期単位ですので、全体で15回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法と修得)

4～15「坐禅実習」(一回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です。)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『普勸坐禅儀』・『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます。また、禅の世界をより深い理解のため、各祖師方の語録も参求してみたいと思っています。)

希望者には、課外授業として鎌倉の古寺巡り、禅に関係する美術館見学等を計画しています。

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

レポート、出席態度、出席数を総合して成績評価とします。

教 科 書

『坐禅-講本-』(更生社) 2,266円

参 考 書 等

随時、講師より資料をプリントし提供します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史(前期)	いし い こう せい 石 井 公 成	短国・短英選	2

講義のねらい

仏教は総合的な文化体系であり、日本文化の主要な担い手であった。その仏教の教義と歴史について基本的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

朝鮮諸国における仏教受容のあり方と比較しつつ日本における仏教伝来について検討し以後の仏教史の流れを概観してゆく。その際は、文学とのかかわりに注意する。講義に当たっては、文献を読むことを柱とする。

履修上の留意点

こちらから頻繁に質問するほか、古文・漢文の訳なども担当してもらうため、積極的に講義に参加する態度が必要である。

成績評価の方法

試験の結果を重視するが、授業時の参加の程度も考慮する。

教科書

教科書は使用せず、コピーを配布する。

2 教養教育科目

2 教 養 教 育 科 目

(1) 人 文 分 野

文 学	(1)〔日本文学「古典」〕	〈短国・短英〉(平野由紀子) ……………	19
文 学	(2)〔日本文学「古典」〕	〈短国・短英〉(平野由紀子) ……………	19
文 学	(3) (4)〔日本文学「古典」〕	〈短国・短英〉(増尾聡哉) ……………	20
文 学	(5) (6)〔日本文学「近代」〕	〈短国・短英〉(川島淳史) ……………	20
文 学	(7)〔日本のことば〕	〈短国・短英〉(齋藤明美) ……………	21
文 学	(8)〔外国文学「アメリカ文学」〕	〈短国・短英〉(田中保) ……………	21
文 学	(9)〔外国文学「現代中国文学」〕	〈短国・短英〉(塩旗伸一郎) ……………	22
文 学	(10)〔外国文学「中国文学」〕	〈短国・短英〉(田熊信之) ……………	22
文 学	(11)	〈短国・短英〉(休講)	
文 学	(12)〔日本文学「近代」〕	〈短国・短英〉(笹瀬王子) ……………	23
歴史学	(1)〔日本中世史〕	〈短国・短英〉(長塚孝) ……………	23
歴史学	(2)〔中国古典考古学〕	〈短国・短英〉(茂沢方尚) ……………	24
歴史学	(3)〔東洋古代史〕	〈短国・短英〉(茂沢方尚) ……………	24
歴史学	(4)〔西洋近現代史〕	〈短国・短英〉(渡辺知) ……………	25
歴史学	(5)〔日本近世史〕	〈短国・短英〉(桜井邦夫) ……………	25
歴史学	(6)〔日本近代史〕	〈短国・短英〉(立川章次) ……………	26
芸術学	(1)〔日本美術〕	〈短国・短英〉(中島亮一) ……………	26
芸術学	(2)〔西洋美術〕	〈短国・短英〉(矢野陽子) ……………	27
芸術学	(3)〔音楽〕	〈短国・短英〉(赤羽由規子) ……………	27
哲学	(1) (2) (3)〔西洋思想の源流〕	〈短国・短英〉 (寺田誠一・久保陽一・河谷淳) ……………	28
哲学	(4) (5) (6)〔近代の人間観と世界観〕	〈短国・短英〉 (大石紀一郎・戸田洋樹・坂本清子) ……………	28
哲学	(7) (8) (9)〔現代文明と人間〕	〈短国・短英〉 (久保陽一・小宮山隆・大石紀一郎) ……………	29
論理学	(1) (3) (4) (8)〔科学方法論と現代論理学〕	〈短国・短英〉 (山本敦之・清水真木・伊古田理・小宮山隆) ……………	29
論理学	(2) (5) (6) (7)〔科学方法論と現代論理学〕	〈短国・短英〉 (寺田誠一・戸田洋樹・丸山豊樹・山口祐弘) ……………	30
科学史	(1)〔科学と技術〕	〈短国・短英〉(山本敦之) ……………	31
科学史	(2)〔近代科学の成立と展開〕	〈短国・短英〉(小宮山隆) ……………	32
倫理学	(1) (2)〔人間観〕	〈短国・短英〉 (中村友太郎・丸山豊樹) ……………	32
倫理学	(3)〔価値観〕	〈短国・短英〉(清水真木) ……………	33
倫理学	(4)〔自由論〕	〈短国・短英〉(河谷淳) ……………	33
倫理学	(5)〔制度とモラル〕	〈短国・短英〉(久保陽一) ……………	34
倫理学	(6)〔東洋倫理〕	〈短国・短英〉(末木恭彦) ……………	34
宗教学	(1)〔比較宗教文化〕	〈短国・短英〉(松田文雄) ……………	35
宗教学	(2)〔聖と俗〕	〈短国・短英〉(佐々木宏幹) ……………	35
宗教学	(3)〔思想と儀礼〕	〈短国・短英〉(佐藤憲昭) ……………	36
宗教学	(4)〔組織と運動〕	〈短国・短英〉(洗建) ……………	36
人文地理学	(1) (2)〔風土と文化〕	〈短国・短英〉(矢野陽子) ……………	37
人文地理学	(3) (4)〔空間と行動〕	〈短国・短英〉(多田統一) ……………	38

(2) 社会分野

社会学	(1) [現代社会を考える]	〈短国・短英〉	(呉 炳 三)	……………	41
社会学	(2) [現代社会を考える]	〈短国・短英〉	(橋 爪 敏)	……………	41
社会学	(3) [現代文化を考える]	〈短国・短英〉	(橋 爪 敏)	……………	42
社会学	(4) [現代文化を考える]	〈短国・短英〉	(呉 炳 三)	……………	42
社会学	(5) [社会生活を考える]	〈短国・短英〉	(吉 田 素 子)	……………	43
社会学	(6) [社会生活を考える]	〈短国・短英〉	(橋 爪 敏)	……………	44
統計学	(1) [社会現象の統計的分析]	〈短国・短英〉	(稲 葉 敏 夫)	……………	44
統計学	(2) [社会現象の統計的決定]	〈短国・短英〉	(日 下 泰 夫)	……………	45
文化人類学	(1) [文化と人間]	〈短国・短英〉	(佐 藤 憲 昭)	……………	46
文化人類学	(2) (3) [文化と人間]	〈短国・短英〉	(藤 崎 康 彦)	……………	47
文化人類学	(4) [諸民族とコスモロジー]	〈短国・短英〉	(杉 井 純 一)	……………	48
文化人類学	(5) (6) [諸民族とコスモロジー]	〈短国・短英〉	(村 武 慶)	……………	49
文化人類学	(7) [社会変化と価値観]	〈短国・短英〉	(小 川 順 敬)	……………	50
文化人類学	(8) (9) [社会変化と価値観]	〈短国・短英〉	(内 山 明 子)	……………	51
法学・憲法	(1) [法と社会生活]	〈短国・短英〉	(長谷川 日出世)	……………	51
法学・憲法	(2) (3) [法と社会生活]	〈短国・短英〉	(和 知 恵 一)	……………	52
法学・憲法	(4) [法と社会生活]	〈短国・短英〉	(鷄 徳 啓 登)	……………	53
法学・憲法	(5) [法と権利]	〈短国・短英〉	(和 知 恵 一)	……………	54
法学・憲法	(6) [法と権利]	〈短国・短英〉	(西 修)	……………	55
法学・憲法	(7) (8) [法と国家]	〈短国・短英〉	(新 田 浩 司)	……………	56
法学・憲法	(9) [法と国家]	〈短国・短英〉	(齋 藤 洋)	……………	56
法学・憲法	(10) [法と国家]	〈短国・短英〉	(織 田 晃 子)	……………	57
法学・憲法	(11) [法と権利]	〈短国・短英〉	(茂 野 隆 晴)	……………	58
法学・憲法	(12) [法と権利]	〈短国・短英〉	(光 田 督 良)	……………	59
政治学	(1) [社会生活とデモクラシー]	〈短国・短英〉	(早 川 純 貴)	……………	60
政治学	(2) [政治システムと政治参加]	〈短国・短英〉	(中 野 裕 二)	……………	61
政治学	(3) [国際社会と日本]	〈短国・短英〉	(浦 田 早 苗)	……………	61
経済学	(1) [現代社会と市場経済]	〈短国・短英〉	(浅 田 統一郎)	……………	62
経済学	(2) [現代経済と人間]	〈短国・短英〉	(松 井 柳 平)	……………	63
経済学	(3) (4) [現代経済理解へのガイド]	〈短国・短英〉	(小 野 俊 夫)	……………	64
社会科学論	[社会認識の思想]	〈短国・短英〉	(大 石 雄 爾)	……………	65
教育学	[デス・エデュケーション]	〈短国・短英〉	(柳 堀 素 雅子)	……………	66
教育心理	[大学生の心理—教育臨床心理学の立場から]	〈短国・短英〉	(野 中 弘 敏)	……………	67
社会学	(前 期)	〈短放〉	(橋 爪 敏)	……………	68
法学	(後 期)	〈短放〉	(織 田 晃 子)	……………	68
心理学	(前 期)	〈短放〉	(北 川 公 路)	……………	69

(3) 自然分野

生物学	(1) (2) [生態と進化]	〈短国・短英〉(清水善和)	73
生物学	(3) [生物と環境]	〈短国・短英〉(中村敏枝)	73
地球科学	(1) [地球の歴史と未来]	〈短国・短英〉(宇和川正人)	74
地球科学	(2) (3) (4) [古環境の復元]	〈短国・短英〉(猪郷久義)	75
地球科学	(5) (6) [自然景観の成り立ち]	〈短国・短英〉(市川清十)	76
自然環境論	(1) (2) (3) (4) (10) [自然と災害]	〈短国・短英〉(宇和川正人)	77
自然環境論	(5) (6) (7) [環境と保全]	〈短国・短英〉(漆原和子)	78
自然環境論	(8) (9) (11) [宇宙から見た地球環境]	〈短国・短英〉 (篠原正雄)	78
自然誌	(1) (2) [現代の自然像]	〈短国・短英〉 (宇和川正人・漆原和子・篠原正雄・清水善和)	79
数学	(1) [微積分学入門]	〈短国・短英〉(三好重明)	80
数学	(2) [線型代数学入門]	〈短国・短英〉(三好重明)	80
数学	(3) [現代数学入門]	〈短国・短英〉(福田賢一)	81
情報数学	[情報と論理]	〈短国・短英〉(三好重明)	81
物理学	(1) [混沌と調和の世界]	〈短国・短英〉(竹田洋一)	82
物理学	(2) [光と物質]	〈短国・短英〉(篠原正雄)	83
化学	(1) [物質の変化]	〈短国・短英〉(休講)	
化学	(2) [衣食住の化学]	〈短国・短英〉(斉藤佑尚)	84
宇宙科学	(1) [宇宙像の歴史的変遷]	〈短国・短英〉(竹田洋一)	85
宇宙科学	(2) [星と銀河]	〈短国・短英〉(篠原正雄)	86
コンピュータ基礎	(1) [コンピュータの実際]	〈短国・短英〉(三好重明)	87
コンピュータ基礎	(2) (3) (4) (6) [コンピュータの実際]	〈短国・短英〉 (上原隆平)	87
コンピュータ基礎	(5) [コンピュータの原理]	〈短国・短英〉(三好重明)	88
コンピュータ基礎	(7) [コンピュータの原理]	〈短国・短英〉(上原隆平)	88
人類学	(1) (2) [人類の進化]	〈短国・短英〉(遠藤萬里)	89
心理学	(1) [ヒューマン・ウォッチング]	〈短国・短英〉(高橋良博)	89
心理学	(2) [ヒューマン・ウォッチング]	〈短国・短英〉(横山剛)	90
心理学	(3) [ヒューマン・ウォッチング]	〈短国・短英〉(山岸直基)	90
心理学	(4) [ヒューマン・ウォッチング]	〈短国・短英〉(軽部幸浩)	91
心理学	(5) (7) [人間関係を考える]	〈短国・短英〉(高橋良博)	92
心理学	(6) [人間関係を考える]	〈短国・短英〉(鈴木順一)	92
心理学	(8) [人間関係を考える]	〈短国・短英〉(山岸直基)	93
心理学	(9) [心を科学する]	〈短国・短英〉(高橋良博)	93
心理学	(10) (11) [心を科学する]	〈短国・短英〉(堀内正彦)	94
心理学	(12) [心を科学する]	〈短国・短英〉(中丸茂)	95
基礎物理学	(前期)	〈短放〉(清水忠良)	96
基礎化学	(後期)	〈短放〉(田島隆)	97
計算機言語概論	(前期)	〈短放〉(杉田徹)	98
基礎数学	(前期)	〈短放〉(清水忠良)	98
基礎生物学	(後期)	〈短放〉(清水善和)	99

(4) 総合分野

総	合 I (1)〔仏教と自然〕	〈短国・短英〉(奈良康明)	…………… 103
総	合 II (1)〔旅〕	〈短国・短英〉	
	(中村 和郎・桜井 邦雄・竹内 啓一・富士 昭雄)		…………… 104
総	合 II (2)〔自然観察入門—富浦をめぐる人と自然〕	〈短国・短英〉	
	(清水 善和・漆原 和子・宇和川正人・小高 昭一・		
	篠原 正雄・橋詰 直道・三好 重明・柳澤 紀夫)		…………… 105
総	合 III (1)〔人権と社会問題〕	〈短国・短英〉(ピアス, D. M.)	…………… 106
総	合 III (2)〔欧米の教育と日本の教育〕	〈短国・短英〉(岡崎 寿一郎)	…………… 106
総	合 III (3)〔女性学・男性学〕	〈短国・短英〉(杉山 秀子)	…………… 107
総	合 IV (1)〔南アジアの宗教と社会〕	〈短国・短英〉(西村 祐子)	…………… 108
総	合 IV (2)〔アメリカの黒人問題〕	〈短国・短英〉(中尾 俊光)	…………… 109
総	合 IV (3)〔ポスト・モダンの世界〕	〈短国・短英〉(丸小 哲雄)	…………… 110
総	合 V (1)〔イギリス文化探訪〕	〈短国・短英〉(川股 陽太郎)	…………… 111
総	合 VI (1)〔民族問題〕	〈短国・短英〉(原 尻 英樹)	…………… 112
総	合 VI (2)〔イスラム〕	〈短国・短英〉(松田 俊道)	…………… 113
総	合 VI (3)〔フェミニズム・ジェンダー〕	〈短国・短英〉(上野 富美枝)	…………… 113
総	合 VII (1)〔トラブルと法的解決〕	〈短国・短英〉	
	(杉浦 智紹・雨宮 眞也・岡田外司博・		
	関口 雅夫・林 幸司・藤本 茂)		…………… 114
総	合 VII (2)〔都市論〕	〈短国・短英〉	
	(早川 純貴・岩下 弘・江上 渉・		
	前田 英昭・三竹 直哉)		…………… 115
総	合 VIII	〈短国・短英〉(休 講)	

(1) 人 文 分 野

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 (1) 〔日本文学「古典」〕	ひらの 野ゆきこ 平野由紀子	短国・短英	4

講義のねらい

日本経済の成長により、国際社会に果たす日本の役割はますます大きくなってきている。このような現代において、真の国際人であるためには、自国の文化や歴史を知る必要がある。そこで、日本語の歴史を知るとともに、日本文学の原点とも言える万葉集をよみ、文学と社会との関わりについて考える。

 講義の内容・
 授業スケジュール

この授業では、文学の発生の問題や日本語の表記の歴史を学び、万葉集の歌をよむことによってその歴史的背景を知る。具体的には、前期万葉の歌をとりあげる。万葉前期は、大化の改新や斉明天皇の百濟救援、壬申の乱など、激動の時代を経て、律令国家体制の確立された時代である。才媛額田王や歌聖柿本人麻呂などが活躍し、古代の歌謡からみずみずしい万葉の歌が生まれ出て、人麻呂によってひとつの完成をみた時代でもあった。歌の舞台は主に宮廷を中心とし、歌は歴史と密接に関わりながら存在した。前期万葉をよむことは、古代史を読むことでもある。できれば後期万葉の歌にも触れて、万葉の時代に生きた人々の考え方を学んでみたい。

履修上の留意点

教場において指示する。

成績評価の方法

教場において指示する。

教科書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院）

参考書等

金井清一・小野寛編『年表資料上代文学史』（笠間書院）

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 (2) 〔日本文学「古典」〕	ひらの 野ゆきこ 平野由紀子	短国・短英	4

講義のねらい

日本経済の成長により、国際社会に果たす日本の役割はますます大きくなってきている。このような現代において、真の国際人であるためには、自国の文化や歴史を知る必要がある。そこで、日本語の歴史を知るとともに、日本文学の原点とも言える万葉集をよみ、文学と社会との関わりについて考える。

 講義の内容・
 授業スケジュール

この授業では、文学の発生の問題や日本語の表記の歴史を学び、万葉集の歌をよむことによってその歴史的背景を知る。具体的には、後期万葉の歌をとりあげる。万葉後期になると、都を遠く離れた北九州や北陸、関東などに主要な歌の舞台が移り、大伴旅人や山上憶良、万葉集の最終編者と考えられる大伴家持など官人たちの他に、防人や名もない庶民の歌が多く収録されている。その時代がどういう時代であったのか、そこに生きた人々が何を感じ、どう生きたのか、できれば前期万葉の歌にも触れて、万葉の時代に生きた人々の考え方を学んでみたい。

履修上の留意点

教場において指示する。

成績評価の方法

教場において指示する。

教科書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院）

参考書等

金井清一・小野寛編『年表資料上代文学史』（笠間書院）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (3) (4) 〔日本文学「古典」〕	ます お とし や 増 尾 聡 哉	短国・短英	4

講義の内容・ 授業スケジュール	『大和物語』を読み、歌物語の素材となった歌語りの問題、宇多法皇とその文化圏が日本の文学史上に与えた影響などを併せて考える。また、後期には第二部のいわゆる昔物語を中心に取り上げ、説話文学との関わりについても言及する予定である。
成績評価の方法	年度末の定期試験によって評価する。
教 科 書	プリントにて配布。
そ の 他	講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (5) (6) 〔日本文学「近代」〕	かわ し ま あつ し 川 島 淳 史	短国・短英	4

講義のねらい	日本近代文学はどのように形成され、発展していったのか。明治から大正にかけての時代状況を見握えつつ、近代文学そのものの意義について考えていきたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	今年度は浪漫主義文学の流れを辿ってみたい。特に森鷗外、北村透谷、国木田独步、泉鏡花、永井荷風、谷崎潤一郎といった作家の主要な作品を、出来るかぎり取り上げて読んでいきたい。しかし、浪漫主義文学を考察していくにあたっては、それに対立する写実主義や自然主義の文学も視野に入れる必要がある。よって、必然的に文学史に関する説明が多くなるが、単なる文学史の解説ではなく、作家の生き方およびその作品を通して、多角的に〈近代文学〉というものを捉え直してみたいと思う。
履修上の留意点	欠席が三分の一に達した場合は、試験を受けても単位不認定となるので注意すること。レポート未提出の場合も同様。なお、講義中に指示した作品は読んでおかなければならないので、それなりの覚悟が必要。
成績評価の方法	レポート及び試験にて審査する。
教 科 書	必要に応じてプリントを配布する。
参 考 書 等	その都度、講義の中で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (7) 〔日本のことば〕	さい とう あけ み 齋 藤 明 美	短国・短英	4

講義のねらい

私達日本人が毎日用いている「日本のことば」とはいかなるものか。日本語の持つ特徴またそのルーツを探ることによって、日本のことばを正しく、より深く理解していこうというのが本講義の目的である。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は「国語学概説」（双文社）を主たるテキストとし、日本のことばの語彙、音韻、文法、方言、日本語教育等について、わかりやすく説明していく。必要に応じてビデオ等の使用もし、日本語を専門科目としていない学生にも面白く学習できるようにしていく。

成績評価の方法

成績は、レポート、試験、出席等を総合的に評価する。

教 科 書

春日正三、古瀬順一、川口明美他著『国語学概説』双文社

参 考 書 等

参考図書、資料については、必要に応じてそのつどプリント等を準備する。

そ の 他

授業の方法は講義形式で行うが、時々ビデオも使用したいと考えている。日頃用いている日本のことばに少しでも興味のある学生と一緒に、日本語の秘密にせまろうと考えている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (8) 〔外国文学「アメリカ文学」〕	た なか たもつ 田 中 保	短国・短英	4

講義のねらい

アメリカ文学の歴史は極めて浅い。アメリカ文学の主潮を辿りながら、主要な作家とその代表作品を取り上げ講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は講義形式でアメリカ文学を概観し、受講者各自で興味ある作家を2人選び、それらの作家の作品を自由にそれぞれ1編選んで読んで、その作家紹介と作品の内容・主題についてレポートを提出してもらう。

後期は受講者各自が主要作品一覧表から関心をもつ作家を1人選び、その作家の作品を読むグループを編成して、グループ発表形式で授業を行います。

履修上の留意点

教養教育科目ですので、作品はすべて翻訳本で読んでもらいますが、アメリカ文学にいささかでも関心のある学生の受講を希望します。

成績評価の方法

レポート・発表・出席等を総合的に評価する。

教 科 書

教科書は用いません。参考となる書籍については、適宜指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 (9) 〔外国文学「現代中国文学」〕	しお 塩 なた 旗 しん 伸 いちろう 一郎	短国・短英	4

講義のねらい

中国で「現代文学」とは、1917年に端を発する「五四文学革命」から1949年の「人民共和国」成立までの一時期を指す概念であり、その後の「当代文学」と区別される。「当代文学」もまた、建国後から1966年の「文化大革命」勃発までの十七年、「文革」による動乱の十年、そして「文革」終焉から今日に至る「新时期」に大別されるが、その「新时期」も1989年の「六四」（第2次天安門事件）を挟んで80年代と90年代とでは大きなギャップがあり、「新时期」は既に過ぎ去ったものと見て後者を「ポスト新时期」とする呼び方もある。この授業で扱う「現代中国文学」とは、中国で言う「現代文学」とは異なり、主として「90年代を含む新时期文学」を指す。つまりこれは「中国新时期文学史」の講義である。

講義の内容・授業スケジュール

現在、中国の文学・思想界を賑わしているホットな話題を導入部として受講者を中国新时期文学の世界に誘い、時代を遡る形で作品や文学潮流を紹介していく。中国事情や現代史の理解を助けるため、ビデオを観ることもある。

履修上の留意点

必ずしも中国語履修者である必要はないが、現代中国の歴史や今日の中国事情、文学全般に関心のある人の受講を歓迎する。

成績評価の方法

期末レポート1本。(3,000字以上。但し採点は辛い。内容の稚拙なもの、自説の展開が無く引用で水膨れしたものは不合格とする。)

教科書

なし。

参考書等

日本語訳が出版されている作品を教室で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 (10) 〔外国文学「中国文学」〕	た 田 くま 熊 のぶ 信 ゆき 之	短国・短英	4

講義のねらい

中国の人々は、数千年にも及ぶ自らの生活の歴史の中から、音、義、形を兼備する「漢字」という自己自身の特異な書写言語を生み育て、これを用いて、さまざまな表現世界を築き上げている。本講座は、この中国の人々の表現世界、すなわち中国文学の世界に近づき、親しみ、その実態を把握して、中国の言語、文学についての理解を深めようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期にわたり、適宜中国文学史上の各個の作品（詩、詞、賦、辞、論、文、小説等々）を選読し、例えば、歌謡や巫歌に由来する韻文の流れの中に、離合悲歎の愛と哀しみの人間模様かどのように表白されて来るのか、また、卜辞、告誓、記事などに始源する中国の散文の流れの下に、社会生活を営む人間の心緒や思弁がどのように綴り述べて来られるのか、といった事柄を確かめながら、「漢字」「漢語」を通して形づくられている中国文学のあやどりの世界を眺望したい。なお、千数百年前漢字文化を接受してきた日本の姿にも注意を払い、中国文学の日本文学への影響などについても一瞥を試みたい。

履修上の留意点

中国の歴史や地理等については、各自概説書や地図などを参看して、基礎知識を得ていて欲しい。

成績評価の方法

評価は、受講状況を重視しながら、レポート或いは筆記試験を併せて、総合的に行う。

教科書

テキストについては、プリントを用いる予定。参考図書等については、授業時に適宜説明、紹介する。

その他

授業は、講義方式で行う。必要に応じて視聴覚機器（ビデオ、スライド等）も使用する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (12) 〔日本文学「近代」〕	さき せ おう じ 世 瀬 王 子	短国・短英	4

講義のねらい

国際化が叫ばれる現代において、どうもすれば軽視されがちなのが、自国の文化や歴史であるといわれる。事実、海外留学、外国語の習得といった直接的なものにたく私達の目は向けられがちである。しかし、自分の国のそれらに通ずることなく、異文化に対する理解や交流など到底不可能であろう。最低限、現代の我々を、我々たらしめているところの近代の意味を自ら問い直す必要があるはしないか。その意味で、私達にとってもっとも親しい存在である近代文学の作品に直接ふれ、考えることは大きな意義があると思われる。

本講義では、近代文学の中でも特に明治の作家に焦点を絞り、彼ら先人達の遺した作品を可能な限り、詳細に検証する。発表された年月にしたがい、講義を進めることで文芸思潮及び文学史の流れから見た作品の意味も併せて考えたい。

講義で扱う作品は、誰もが一度は耳にしたことのある作家の代表作ばかりである。まだ読んでことのない人は、大学生の教養として、これをよい機会に読むことで、名作と出会う楽しさ、喜びを知る契機としてほしい。

 講義の内容・
 授業スケジュール

テキスト掲載作品と随時に配布するプリントをもとに、明治期の代表的な作家・作品を考える。対象予定の作家は、坪内逍遙、二葉亭四迷、尾崎紅葉、幸田露伴、森鷗外、樋口一葉、島崎藤村、田山花袋、夏目漱石、永井荷風など。

履修上の留意点

講義の前にあらかじめ対象となる作品を一通り読んでおくこと。

成績評価の方法

レポート、試験、受講態度等を総合的に評価する。

教 科 書

小野隆編『明治の文芸』 双文社出版 ￥1,600

参 考 書 等

講義の際、適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 学 (1) 〔日本中世史〕	なが つか たかし 長 塚 孝	短国・短英	4

講義のねらい

日本歴史では、平安時代後期から戦国時代までを、中世としてとらえている。中世は、現代の日本に直接つながる流れを形成した時代として、注目されてきた。しかし、この長い時間帯を概略的に掴もうとすれば、ただ「覚える」というだけの、つまらない作業となるであろう。講義では、日本中世の中からさまざまな問題に関連するキーワードをとりあげて、授業を行いたい。

成績評価の方法

学年末試験により、成績評価を行う。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学(2) 〔中国古典考古学〕	も さわ みち なお 茂 沢 方 尚	短国・短英	4

講義のねらい

最近の中国考古学のめざましい発掘報告はおびただしいものがあるだけにとどまらず、人類の歴史を再考せしめるような発見にみちている。それらの知見を無視することは学問にたずさわる者の良心が許さないであろう。

私は一介の中国古典学徒であるにすぎないが、その古典とは悠久なる中国の古代に花ひらいた諸子百家と後世呼称された人々の思想の歴史的な再考察を志す者にすぎない。その古典は、老子、孔子、莊子、列子、楊子、墨子、孫子、管子、申不害、慎到、商鞅、韓非子、等々、と多彩な人々の思想を歴史的に考察することになる。人間があらん限りの知恵をおつけ合う、この錚々たる人々の織りなすドラマをともに考え苦しむことは、我々が生きることを反省させる鏡たることに疑問の余地がない。その中国の古典を最近の考古学的発掘資料が、それを理解するために一助となる場合がある。伝来の中国学が要求する精緻精密な文献学に充分注意しながら、最新の考古学的発掘成果とを合致させるという神技に近いことに挑むこととする。

教科書

『韓非子』の思想史的研究』近代文藝社

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学(3) 〔東洋古代史〕	も さわ みち なお 茂 沢 方 尚	短国・短英	4

講義のねらい

ここに言う東洋は、かつて中国人が呼んだ東洋＝日本の意味ではない。既にそれは日本では広くかつ多様なアジアを意味することは言うまでもない。その多様なアジアの東に連綿と悠久なる歴史を有して、凄じい生命力を示す中国が存在する。

私はその中国の先秦時代、わけでも春秋戦国時代について、なかでも、その時代に知恵のあらん限りを尽くして生きた人々に関して深い関心を抱いている。戦乱にあけくれる中国古代のそれらは華々しい思想家達の又活躍した時代であった。そういう人々を諸子百家と呼称するが、その後世に与えた影響は図り知れない。これらは単に中国の独占するものではなく、広く諸外国でも研究されている。それらの辛苦にみちた諸成果に充分なる配慮をしつつ、私は天才と言われる法家の韓非子を中心にして、諸子百家を概観しつつその思想の根源に横わる思想、道家に挑んでみたいと思っている。

教科書

『韓非子』の思想史的研究』近代文藝社

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学(4) 〔西洋近現代史〕	わた なべ ちか 渡 辺 知	短国・短英	4

講義のねらい

イギリス近現代史からいくつかのトピックスを取り上げ、イギリス近現代の特質について考察する。ただ、過去の事実の確認にとどまらず、それがなぜ起きたのか、又、過去の出来事が現在の社会にいかに関わりつづいたのか、あるいは、現在の社会の動向が歴史研究にいかに関与しているのかといった点に力点を置きつつ、歴史学における多様なものの捉え方を合わせて提示できればと希望している。

 講義の内容・
授業スケジュール

取り上げるトピックスとして、イギリス帝国の形成とその影響、飲茶の習慣がアメリカ、アフリカに与えた影響、暮らしの中の帝国、ヴィクトリア時代のアジア認識などを予定しているが、受講生の興味などに応じて多少の変更もありえる。

成績評価の方法

講義の区切りに提出してもらった講義内容をまとめたミニレポートを平常点とし、学年末の試験と総合して評価する。

教科書

使用しない

参考書等

講義中に随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学(5) 〔日本近世史〕	まくら い くに おお 桜 井 邦 夫	短国・短英	4

講義のねらい

近世交通史を中心に講義する。交通制度・関所・助郷など近世陸上交通史の諸問題や街道・宿場の実態、流通の問題等について、毎回テーマを設けて講義をおこなう予定である。なお、近世の旅に関しては、総合Ⅱ〔旅〕の後期にて取り上げるため、本講義においては詳述しない。

教科書

特に教科書は用いず、随時資料を配布する。配布資料はA判を基本とするので、ファイル等を用意されたい。

参考書等

主な参考書として、次の2点を掲げる。
 体系日本史叢書24 『交通史』 山川出版社 『日本交通史』 吉川弘文館

その他

必要に応じ適宜スライド等を用いる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 学 (6) 〔日本近代史〕	たちかわしょうじ 立川章次	短国・短英	4

講義のねらい

日本史の流れを概観し、幕末から維新期にかけての過程を考察する。
 幕末のわが国は、国内的には商品経済の流通により、封建制が内部矛盾を露呈し、崩壊への兆が、その一方、対外的には欧米列強の外圧に遭遇し、国家存亡の危機に直面したのである。幕末から明治初期にかけての人々は、この恐るべき外圧を契機として、みごと新国家の創造に成功し、近代日本の今日への基礎を築いたのである。
 このことを留意して新しく維新史を学びたい。

成績評価の方法

定期試験と出席日数により総合的に評価する。

参 考 書 等

尾佐竹猛著『幕末遣外使節物語』講談社学術文庫 800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 学 (1) 〔日本美術〕	なかじまりょういち 中島亮一	短国・短英	4

講義のねらい

芸術学における美術の研究は、「初めに作品ありき」ではじまる。そこで作品をめぐって様々な角度から検討が加えられる。企画・発注・(演出)・作者・材料・技法など多角的な研究が必要とされる。その上史料(記録・文書)があれば解読されねばならぬ。応用される学問も人文・社会・自然の諸科学など多岐多様にわたる。
 このような視野に立って、日本美術を見直すとするのが新しい芸術学である。そこで一応次のようなテーマで再検討を加えることとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- (A) 古代日本美術の作品と遺跡を考える。一特に神道美術と天皇制の発生
- (B) インド・中国の仏教美術の遍歴と日本権力層の受容－石窟芸術と日本の模倣
- (C) 西域文化の伝来と奈良・平安の王朝美術－鎮護国家・神仙思想・極楽往生
- (D) 宋文化受容と武家の自律仏教の目ざめ－禅仏教とミニチュア山水(神仙思想の変形)
- (E) 明文化と新たな西方(南蛮)文化の伝来－水墨山水画の変容と航海時代の刺激
- (F) 明治の脱亜入欧思想と日本画壇の困惑

履修上の留意点

以上のテーマ毎にスライド鑑賞をし、その感想文をまとめ、これを平常点とする。

成績評価の方法

上記のものと年度末の定期試験とで評価する。

教 科 書

辻惟雄監修『日本美術史』美術出版社 1,900円

参 考 書 等

その都度、紹介、指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 学 (2) 〔 西 洋 美 術 〕	や の よう こ 矢 野 陽 子	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

芸術の観念は近代において成立したと考える見方があるが、芸術作品そのものは人類の歴史とともに古くから存在する。芸術は我々の社会のうちにあり、そのあり方は、宗教、政治、娯楽など生活と関わりあって存在している。したがって、我々は広い視野から芸術を考える必要がある。自分の好きな作品をただ眺めているだけでは、その理解は浅いものでしかない。作品を深く理解するためには、制作された時代の社会状況や表現の約束事や特徴などを知ることが必要である。この授業では、西洋美術の主要な流れをつかみ、さまざまな芸術の傾向を広く理解し、あわせて象徴や表現の意味、様式についても考察していきたい。

 講義の内容・
 授業スケジュール

時間的にも地理的にも広汎にわたる西洋美術のうち、この授業では主としてルネサンスから近代まで対象とする。しかし、西洋の美術を理解するうえでは古典古代、すなわちギリシャ、ローマの知識は必須であるので、最初に序論として古代から始まる全体の流れを概観するつもりである。スケジュールとしては、前期は主として16・17世紀の美術を、後期は18・19世紀の美術を扱う予定である。

成績評価の方法

成績は試験および出席状況、授業態度によって評価する。

教 科 書

教科書として、監修・高階秀爾『カラー版西洋美術史』（美術出版社）1,900円を使用する。

参 考 書 等

参考図書は授業中、適宜紹介する。

そ の 他

授業では、毎回スライドを使用して、具体的に作品を見ながら講義を進めていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 学 (3) 〔 音 楽 〕	あ か ば ゆ き こ 赤 羽 由 規 子	短 国 ・ 短 英	4

 講義の内容・
 授業スケジュール

前期 民族音楽学 —— 日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えて行きたい。

後期 20世紀と音楽 —— 20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教 科 書

印牧由規子著『現代からの音楽史』公論社 ¥2,700

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 (1) (2) (3) 〔西洋思想の源流〕	寺田 誠一・久保 陽一 河谷 淳	短国・短英	4

講義のねらい

主に西洋思想の源流であるヘレニズムとヘブライズムをその哲学的原理に関して学ぶ。紀元前6世紀頃に登場した古代ギリシア哲学では概して人間と神々々が「自然」に包摂されて共存調和するものとして、また「自然」は永遠に回帰するものとして捉えられていたのに対し、ユダヤ教を母体として1世紀頃に成立したキリスト教では人間と自然は主なる「神」の意志に服すべきものであり、創造と終末によって限られた歴史意識のうちで捉えられる等、両思潮には互いに異なる考え方が含まれていた。だが中世以後近現代にいたる西洋思想の歴史は、両者の総合や対立あるいは復活によって展開されてきたと見ることができ、両者は文字どおり西洋思想の源流をなしている。しかも近現代の西洋思想が今日の文明世界を規定しているという側面は含めない事実であるから、両思潮を学ぶことによって、同時に我々が現代に生きていく上でなにがしか示唆を得ることができよう。

講義の内容・授業スケジュール

- 本講義は、以下の内容を順次取り上げる。
- ㊶ 古代ギリシア哲学 —— ソクラテス以前の哲学、ソクラテス・プラトン・アリストテレス、古代末期の人生論
 - ㊷ キリスト教思想 —— ユダヤ教とキリスト教、教父哲学とスコラ哲学
 - ㊸ 古代ギリシア哲学およびキリスト教思想の近現代における影響史

履修上の留意点

哲学や宗教だけでなく、文学（例えばギリシア悲劇）等にも親しむようにすること。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

教科書は開講時に指定する。

参考書等

参考書等は講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 (4) (5) (6) 〔近代の人間観と世界観〕	大石 紀一郎・戸田 洋樹 坂本 清子	短国・短英	4

講義のねらい

私たちはそれぞれ自分なりの人間観・世界観に従って生きているといえるが、日常生活のなかでは、それを表立って吟味してみることはまれであり、ましてや、その背景について明確な認識を得ようとするとは、ほとんどない。
しかし、その背景を探ってみると、それが近代ヨーロッパ的な色彩を帯びていることもあり、また、昨今話題にのぼる諸問題 —— 例えば生命倫理の問題、環境問題等 —— も、近代ヨーロッパの人間観・世界観との対決に関するものであることが意外に多い。

講義の内容・授業スケジュール

- 本講義は、近代ヨーロッパの人間観・世界観を中心として、以下の順で概観する。
- ㊶. 古代から中世へ ㊷. ルネサンス期 ㊸. 17世紀 ㊹. 啓蒙期
 - ㊺. 18世紀から19世紀へ ㊻. 20世紀（現代）

成績評価の方法

成績は中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

教科書は開講時に指定する。

参考書等

参考書等は講義の際にその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 (7) (8) (9) 〔現代文明と人間〕	くほ 久保 陽一・こみやま 小宮山 隆 おおいし 大石紀一郎	短国・短英	4

講義のねらい

主に19～20世紀の現代哲学を学び、それを通して現代文明の中で人間が直面している諸問題の解決の手掛りを得ることをめざす。近代の科学革命や啓蒙主義によって鼓舞された人類の進歩や科学技術への信頼は、今日、自然環境の破壊、日常生活の均質化や匿名化、次世代にも及ぶ生命倫理の問題、民族や宗教の対立など、新たに生じた諸問題のために、色褪せ疑わしくなっている。しかしこれらの問題の解決のために、近代の科学技術や啓蒙主義の達成をすべて放棄することもできない。そこでこれらの問題に正しく対処するためには、問題のよって来たる所以が何であるかを明らかにし、様々な解決の処方箋を原理的および具体的に検討することが必要と思われる。

講義の内容・
授業スケジュール

講義では、19～20世紀の諸哲学を中心に、以下のような内容を取り上げる。
①、近代化とは何か。
②、ドイツ観念論、マルクス主義、生の哲学と実存主義、プラグマティズム、分析哲学、現象学と解釈学等。
③、生命倫理、言語、身体等。

成績評価の方法

成績は、中間試験と期末試験、レポート等によって評価する。

教 科 書

教科書は開講時に指定する。

参 考 書 等

参考書等は講義の際にその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
論 理 学 (1) (3) (4) (8) 〔科学方法論と現代論理学〕	やまもと 山本 敦之・しみず 清水 真木 いこた 伊古田 理・こみやま 小宮山 隆	短国・短英	4

講義のねらい

言葉をしゃべる時、文法を意識することがほとんどないように、論理もまた、その存在が意識されることはあまりない。そのような論理がどのように取り出されるか、取り出すことにどのような意義があるかを考えていく。
記号論理では、論理計算のたぐいにも多少つきあってもらうが、それ以上に、論理性を養ったり、記号化の仕組みへの理解を深めてもらうことに重点をおきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

伝統論理、記号論理および帰納型の推理を、この順にほぼ等分に見ていく。なお、帰納推理の項では科学方法論にも言及する。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、それ以外には予備知識等、一切必要としない。

成績評価の方法

成績は、中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

教科書は、開講時に指示する。

参 考 書 等

参考書等は、講義の際に、その都度紹介する。

そ の 他

講義が中心になるが、問題演習の時間をできるだけ多くとることにしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
論 理 学 (2) (5) (6) (7) 〔科学方法論と現代論理学〕	てらだ せいいち とだ ひろき 寺田 誠一・戸田 洋樹 まるやま とよき やまぐち 丸山 豊樹・山口 祐弘	短国・短英	4

講義のねらい	<p>論理学は、広義には、形式論理学と科学方法論（帰納法を含む）との二つを含むが、ここでは主として形式論理学の基本について講述する。ここで形式論理学というのは、正しい思考の法則の体系（公理体系）のことであり、アリストテレスがまとめて、ほぼ18世紀に至るまで支配的であった伝統的論理学と現代の数学的論理学の二つを含んでいる。</p> <p>本講義のねらいは、科学的に正しく考えるための条件の一つとしての、論理的思考を身につけることである。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>内容は、①伝統的論理学、②概念論、③命題論、④推理論 ⑤記号論理学、⑥命題論理、⑦述語論理の順で講述する。</p>
成績評価の方法	<p>成績は、中間試験と期末試験、授業時の小テスト等で評価する。</p>
教科書	<p>テキストは開講時に指定する。</p>
参考書等	<p>参考書等は授業中その都度紹介する。</p>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
科 学 史 (1) 〔 科 学 と 技 術 〕	やま もと あつ ゆき 山 本 敦 之	短国・短英	4

講義のねらい

あまりものを考えない人にとっては自明な概念となっている「科学」と「技術」が、ヨーロッパ世界に於いて歴史的に形成された過程を自然思想、芸術、技術、制度、社会などの観点から再構成する。歴史叙述の出発点をヨーロッパ世界の形成にとり、古代ギリシアの思想などは、中世以降のヨーロッパ世界の歴史の叙述の必要から遡って順次説明する。また、中国や日本とヨーロッパとの関わりの説明、比較については、特に心がける。

この講義では、自然思想などの諸概念、それに関わる個人、人間集団、ものなどについての歴史的認識を深め、ひいては人間についてのより深い理解を得ることを目指す。更に、科学技術の引き起こす現代の諸問題を、イメージに流されず自分の言葉で考え抜く基礎を提供することをも目標とする。

 講義の内容・
 授業スケジュール

講義で取り上げる主要なテーマは以下のとおり。

1. ヨーロッパ世界の成立、中世ヨーロッパ世界の自然思想あるいは自然に対する感受性の変遷、農業革命、大学の成立とその学問、ロマネスクからゴシックへの様式の変遷、ゴシックといわゆるスコラ学、12世紀ルネサンス。
2. 14世紀の思想革命、イタリアルネサンス、新しい技術的世界、魔術。
3. 17世紀の全般的危機、近代とは何か、イエズス会、バロック様式、ガリレオ、懐疑主義と原子論、理神論、デカルト、ニュートン、ライプニッツ、風景画、望遠鏡・顕微鏡・真空ポンプの認識論的意義。
4. 啓蒙主義、避雷針、唯物論、フランス革命の科学史的意義、カント、ロマンティック、ドイツ観念論からフォイエルバッハ、俗流唯物論、19世紀の生理学、心理学、進化論、科学と宗教・霊的問題の新しい関係、資本主義と科学技術、機械文明と近代市民社会、日本による受容。
5. 19世紀末までの叙述が終了した時点で、無限、空間、時間、物質、生命、心についての観念の歴史を古代に遡って20世紀初めのもので取り上げる。
6. 20世紀初めの諸分野での論争、巨大科学、生命科学とコンピュータ、科学技術に由来する災厄という観念または現実。

履修上の留意点

予備知識は特に必要ない。

成績評価の方法

前期後期の試験及び夏休みのレポート。

参 考 書 等

エンゲルハルト・ヴァイゲル著、三島憲一訳『近代の小道具たち』青土社 1990

そ の 他

講義は、毎回プリントを配布し、それに基づいて行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
科 学 史 (2) 〔近代科学の成立と展開〕	こみやま たかし 小宮山 隆	短国・短英	4

講義のねらい

科学・技術の進歩の道筋は紆余曲折にみちたものであり、その成功だけでなく躓きも、われわれにとって示唆に富む内容を含んでいる。

そこで、いくつかの事例を取り上げ、具体的な科学理論の歴史的展開を、技術の進歩や各時代の支配的な思潮との相関のなかでとらえ、現代のわれわれにとっての意味を考察していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

今日の物理学、化学、生物学がそれぞれ近代科学として成立する過程を中心に、現代への展開を含めて概観する。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、それ以外に自然科学的な知識等、予備知識は一切必要としない。

成績評価の方法

前・後期の試験と夏のレポートで評価する。

教 科 書

八杉龍一『図解・科学の歴史』 東京教学社

参 考 書 等

講義の際に、その都度紹介する。

そ の 他

通常の講義形式をとるが、教科書掲載の図版をはじめ、できるだけ多くの図版・図表等を持ちて講義を進めたい。必要に応じてビデオ等も使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 (1) (2) 〔人 間 観 〕	なかむら ともたろう 丸山 豊樹	短国・短英	4

講義のねらい

倫理学は、哲学の主要な一部門であり、われわれ人間がいかに生き、何を行為すべきかを探求する学問である。言い換えれば、人間として正しいとか、真実なとか、理性的などいわれる「生き方」を探求する哲学である。

われわれが自己の「生き方」を決めるためには、自己の人生観をたてなければならない。人生観とは、この世における人生とは何かについての考えである。したがって、人生観の基礎には、人生を営む主体としての「人間とは何か」という人間観がある。

われわれは、人間自身をいかに考えるかという人間観を確立することによって、自己の正しい「生き方」を決めることができる。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、哲学・倫理学の基礎的概念と、哲学の考え方の学習に重点をおく。後期は、人間観の歴史の変遷を考察する。

履修上の留意点

書物の読解力をつけるために、教材の重要な箇所を取り上げて解説する。

成績評価の方法

出席回数、筆記試験、レポートによって成績を評価する。

教 科 書

学期のはじめに発表する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (3) 〔価値観〕	しみず まき 清水 真木	短国・短英	4

講義のねらい

倫理学は、われわれ人間がいかに生き、何を行為すべきかを探求する学問である。言い換えれば、人間として正しいとか、真実とか、理性的などと言われる「生き方」を求める哲学である。われわれが自己の生き方を求めるということは、自己が生きてゆくための支えを求めることにほかならない。
「支え」となるものは、生きてゆくのに頼りとなり、生き甲斐となるような価値のあるものである。このような価値は、生きる目標ないし目的となるものであって、生きることを意味あらしめるものである。したがって価値を見誤ると、われわれは正しい価値観をもつことができず、また人生観にも誤りを生ずる。なぜなら、価値観に基づく生き方が人生観だからである。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、哲学・倫理学の基礎的概念と、価値の構造を考察する。
後期は、価値観の歴史の変遷を考察する。

履修上の留意点

書物の読解力をつけるために、教材の重要な箇所を取り上げて解説する。

成績評価の方法

出席回数、筆記試験、レポートによって成績を評価する。

教科書

学期のはじめに発表する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (4) 〔自由論〕	かわ たに 河 谷	あつし 淳	短国・短英 4

講義のねらい

倫理学は、われわれ人間がいかに生き、何を行為すべきかを探求する学問である。言い換えれば、人間として正しいとか、真実とか、理性的などと言われる「生き方」を探究する哲学である。われわれ人間は、意志の自由をもち、その自由によってみずからの行為の選択をしてゆかなければならない。すなわち、われわれは自己の意志によって行為を選択する自由をもつのである。自由は、行為の主体たる人格を担うところの価値を可能ならしめる制約として、倫理学の根本概念をなしてきた。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、哲学・倫理学の基礎的概念と、自由の語義を考察する。
後期は、近代において、自由が自由主義として展開した過程を考察する。

履修上の留意点

書物の読解力をつけるために、教材の重要な箇所を取り上げて解説する。

成績評価の方法

出席回数、筆記試験、レポートによって成績を評価する。

教科書

学期のはじめに発表する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 (5) 〔制度とモラル〕	くほ よう いち 久 保 陽 一	短国・短英	4

講義のねらい

現代における「倫理」の意味を制度や組織との関連で考察する。今日人々は戦前の家父長制や封建主義的人間関係のしがらみから解放され自由になりはしたが、その自由は、何をしても構わないというエゴイズムに陥落し、それ故種々の無用な抗争を生ぜしめる可能性をも持っている。いかに人間が自由になろうとも、社会生活が存立し続ける以上、例えば学校や企業などの組織の中で、他者との相互依存関係を拒むことはできない。つまり個人の権利と社会的規制との調和をどのように図るか、個人にどのようなモラルが組織の中で要求されるのか、更にそのような法や道徳は人生の根源的問題との関連でどのように基礎づけられるのか、あらためて問われているように思われる。この問題を原理的に考察するために、主に近現代の倫理学説を学び、検討することにする。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義では次のような項目を取り上げる。
- ㊸ 社会契約思想とその問題点 —— ホブズ・ロック、ルソー・ヘーゲル・マルクス、日本国憲法、ロールズ等。
 - ㊹ 道徳の原理、法と道徳の関係 —— 快樂主義・功利主義、理性主義、カント、ヘーゲル。
 - ㊺ 人生論 —— パスカル、ハイデガー等。

履修上の留意点

講義ノートをよく取ること、分からない点は質問すること、一年間で少くとも一冊古典的書物を読むようにすること。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

教科書は開講時に指定する。

参考書等

参考書等は授業中その都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 (6) 〔東洋倫理〕	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	短国・短英	4

講義のねらい

漢文古典はすべて「倫理」学と言っても過言ではない。それらを産み出した人々の主要な関心は、人と人との間で如何に生きるかにあった。従って、漢文古典を考えれば、白ずと倫理学となる。又、漢文古典が示す人の生き方は、東アジアの人々に等しく人生の指針であった。先人の積みあげた歴史の上に我々はいる。漢文古典の世界を知ることが、決して他人事ではなく、我々の心の奥底を知ることである。これを知ることが、我々の未来の生き方を開くことにもなる。このような重要な意味を担う我々先人達の人生の思想を問い直し、そこから未来の手掛りを掴む——ここにこの講義の目標はある。

講義の内容・授業スケジュール

講義のねらいに書いたことと矛盾するが、我々の先人は決して「倫理学」を説いたのではない。現在の我々の眼から見ると「倫理学」として見えるということである。この講義では、始めに現代の思考枠を排除して漢文古典の思想を見てみたい。その後、「倫理」の知恵をそこから学びとりたい。そこで、授業は、最初に、様々な面から中国古典の世界の基礎にある「世界観」を浮彫りにし、現代日本人の常識を離れて漢文古典の世界を眺める準備をし、その後、漢文古典の世界の多様性の一斑を窺っていこうと考えている。

履修上の留意点

漢文の基礎的教養があることが望ましい。

成績評価の方法

基本は年二回以上の試験あるいはレポートにより判断する。それに、出席状況・受講への積極性（質問の有無——質問は原則書面で提出して貰う）などを加味して最終的な成績をつける。

教科書

『原典対照中国思想文学史』明治書院

参考書等

参考書は講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (1) 〔比較宗教文化〕	まつ だ ぶん ゆう 松 田 文 雄	短国・短英	4

講義のねらい	世界にはさまざまな宗教が成立している。これらの宗教を研究するには、自ずとその研究方法があみだされてくる。それは価値中立的にみる立場である。この立場でさまざまな宗教現象を考察する。
講義の内容・授業スケジュール	凡そ次の順序で講義をすすめていく。 1) 宗教現象の諸相、宗教の研究手法、宗教の種類、民族宗教とその特徴、世界宗教とその特徴。 2) 聖典、戒律、修行、儀礼等 3) 世界三大宗教（仏教、キリスト教、イスラーム）の伝播とその文化圏。
履修上の留意点	受講し、ノートをとること。
成績評価の方法	定期試験と受講の状況（出欠）によって評価する。
教科書	水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』世界書院刊
参考書等	随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (2) 〔聖 と 俗 〕	さ さ き こう かん 佐 々 木 宏 幹	短国・短英	4

講義のねらい	われわれの生活は、「きれい」と「きたない」、「よい」と「わるい」、「おいしい」と「まずい」などの類別基準を利用することによって営まれている。「聖」と「俗」の類別も同様に宗教と非宗教の差異を示す用語として用いられてきた。 現象を区分・類別することは文化の基本とされるが、いったい物事を分けるとはどのようなことであろうか。「聖」は宗教、「俗」はそうでないものと簡単に区分して済まされるのだろうか。簡単に済まされないのだとすれば、どのような問題が存在するのであろうか。この講義では宗教とは何かという問題を人間の他の営為とたえず比較しながら考察し、終局的には人間とは何かの問題の追求に結びつけていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	以下のような内容を構想している。 1. 身分けと言分け、2. 人間は混沌に耐えられない、3. 分類と文化、4. ラベリング (labelling) の問題、5. 聖と俗の理論、6. ステigma (stigma) とは何か、7. 世界観とは何か、7. 宗教と民族、8. 宗教における平等と差別、9. 日本宗教における聖と俗 10. 仏教とキリスト教。
履修上の留意点	ときどき出席をとり、評価の参考にす。講義中にあるテーマについて話し合いをし、学生が総括し、私がコメントする方法を考えている。
成績評価の方法	講義した内容について試験を行う。
教科書	佐々木宏幹著『仏と霊の人類学』春秋社 2,000円
参考書等	その都度紹介する。
その他	ときにスライド、ビデオ使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 (3) 〔 思想 と 儀 礼 〕	さ とう のり あき 佐 藤 憲 昭	短国・短英	4

講義のねらい

宗教学は、宗教文化について価値中立的立場から研究する学問である。仏教・キリスト教などの成立宗教から、日常生活の中で展開している民俗宗教にいたるまで、およそ宗教と呼ばれる文化現象には、思想と儀礼の双方が具えられているのが普通である。もちろん、その思想や儀礼は、すこぶる洗練されている場合もあれば、きわめて素朴な場合もあるなど、さまざまである。そのいずれであれ、思想を行為化した営為が儀礼であることに変わりはない。この講座では、思想と儀礼との諸関係を通して、宗教文化に接近することを目指したい。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、宗教学の成立史、構成内容、方法、などについて具体的に解説をした後に、儀礼の研究史を紹介しながら、思想と儀礼との諸関係について、内外のさまざまな事例を取り上げて考察する。つぎに、成立宗教としての仏教の儀礼と、民俗宗教としてのシャーマニズムの儀礼とをそれぞれ取り上げて比較分析し、思想がどのように行為化されているかについて突っ込んで考えてみたい。

履修上の留意点

抜き打ち的に出席をとるので、欠席をした場合（または欠席をする場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

基本的には定期試験で評価するが、59点以下の場合には、出席点を考慮して総合的に評価する。

教 科 書

佐々木宏幹『仏（ホトケ）と霊（タマ）の人類学』春秋社

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 (4) 〔 組 織 と 運 動 〕	あらい けん 洗 建	短国・短英	4

講義のねらい

宗教学は、宗教現象の実証的研究を通じて宗教の客観的理解を目指す学問である。宗教現象は、文化、社会、個人の人格などの各次元にわたって展開するが、この講義では宗教の社会的展開を中心に考察する。宗教は個人の内面において、単なる知識としてではなく、情意的にも真実として把握された世界認識である。しかし、それはまったく個人的な信念にとどまるものではなく、多くの人々に共有された文化として存在する。そして宗教を共有する人々は、集団を作り、共に礼拝その他の宗教的実践をするのが一般的である。そこに社会現象としての宗教の問題が生ずる。社会現象としての宗教には、どのような集団が形成されるのかという、集団内部の組織の問題と、宗教集団の活動が、外部の一般社会とどのような関係を生ずるのかという宗教運動の問題とがある。これらの問題を事実 に即して考察し、宗教現象の理解を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

宗教学の性格、領域、学説史などを概観した上で、教団の類型について簡単に紹介し、宗教史的事実、特に近・現代の宗教運動の事実に基づいて、一般社会と宗教の問題を考えたい。

履修上の留意点

受講者の人数にもよるが、事実を覚えることより、問題を理解し共に考えることを目指したいと思っているので、とにかく出席して受講して貰いたい。原則として出席をとる。

成績評価の方法

定期試験と、出席点を総合評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

随時、紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人文地理学 (1) (2) 〔風土と文化〕	や 矢 の 野 よう 陽 こ 子	短国・短英	4

講義のねらい

地誌の見地から日本の風土と文化とのかかわりを考え、各自の郷土の自然と文化に対する認識を深めたい。

「風土とは何か」風土についての問題は地理学以外の各分野、例えば哲学、思想比較文化などでも扱われている。

本講では、それぞれの風土と一体化された人間生活についてとりあげ、人類の文化の歴史と風土との関係を考えたい。

履修上の留意点

つねに問題意識をもって受講されたい。

成績評価の方法

前期は主としてレポート提出を行ない、後期の試験で評価する。

前期はレポート提出、後期は試験を行なうことにより評価する。

教 科 書

藤岡謙二郎その他共著『日本地誌』大明堂 2,900円 人文地理学(1)

中村和郎・高橋伸夫編『地理学への招待』古今書院 2,500円 人文地理学(2)

参 考 書 等

開講時に指示する。

そ の 他

受講時に地図帳を用意することが望ましい。(高校の時の地図帳でよい)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人文地理学 (3) (4) 〔空間と行動〕	た た と う い ち 多 田 統 一	短国・短英	4

講義のねらい

人文地理学は、地表に存在する人文事象を対象に、それを地域的な視角から研究する学問である。すなわち、日本および世界の人口、集落、農牧業、工業、商業、交通、文化などの諸問題を、地域論や機能論、立地論などの視角からとらえる。環境問題や国際物流などの新しい話題も取り入れる。

講義の内容・
授業スケジュール

次の①～⑧の内容を中心に授業を進める。

- ① 地理学の発達と人文地理学の課題
- ② 人口（分布、構成、移動）
- ③ 集落（機能、立地、形態、圏、計画）
- ④ 農牧業（立地、地域区分、産地形成）
- ⑤ 工業（分布、立地、集積、地域分業）
- ⑥ 商業（立地、圏、行動空間）
- ⑦ 交通（流、圏、網）
- ⑧ 文化（圏、伝播、変容）

履修上の留意点

地図や地図帳を積極的に活用してもらいたい。
世界や日本の地域の動向に興味をもってもらいたい。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの内容によって評価をおこなう。

教 科 書

横田忠夫『新地理学考』 大明堂 2,200円

参 考 書 等

その都度紹介する。

そ の 他

① 授業の方法

講義を中心に進める。教科書のほか、プリントにより人文地理学の最近の研究成果についても紹介する。時事問題を適宜とりいれ、世界や日本の動向を地域的な視点から解説する。

② 地域調査

可能ならば、野外調査を実施したい。そうでなければ、文献調査によって地域の成り立ちや性格を調べる方法を習得させたい。希望者には、発表の機会を与える。

(2) 社 会 分 野

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 (1) 〔現代社会を考える〕	お 呉 びよん さん 三	短 国・短 英	4

講義のねらい

現代社会において特徴的な問題とは何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段をとりうるのか。この講義は以下のトピックスに焦点をあてて、現代社会についての考察を深めていきたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 経済のグローバル化に伴う企業の社会貢献活動の意義。それと対比して想定される市民ボランティアの現状と今後の見通し。
- ② 現代の社会変動に伴う家族ユニットの変化。特に少子化、高齢化を中心とした家族に関する諸問題の検討。
- ③ 高齢化社会に対応すべき「社会福祉」と「社会教育」の問題。
- ④ 高度消費社会の中に見受けられる消費の構造、特に「豊かさ」と「余暇」の問題。

履修上の留意点

開講時に説明する。

成績評価の方法

開講時に説明する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

安藤喜久雄他編『社会学概論』学文社
倉沢進・川本勝編『社会学への招待』ミネルヴァ書房

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 (2) 〔現代社会を考える〕	はし づめ さとし 敏 爪	短 国・短 英	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義のねらいで述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題——大衆社会、高度情報化社会、高度消費社会等——を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』学文社

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』犀書房
R.ニスベット『現代社会学入門1～4』講談社学術文庫
その他授業中に適宜指示したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 (3) 〔現代文化を考える〕	はし 橋 爪 さとし 敏	短国・短英	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代文化」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のねらいで述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代文化」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代文化」の諸問題——文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等——を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教 科 書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』 学文社

参 考 書 等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』 犀書房
R.ニスベット『現代社会学入門1～4』 講談社学術文庫
その他授業中に適宜指示したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 (4) 〔現代文化を考える〕	お 眞 ひょん さん 炳 三	短国・短英	4

講義のねらい

現代文化を理解する上でぜひとも押さえておかなければならない問題、すなわち、ジェンダー、若者文化、マス・メディアの3項目を中心にして、文化なるものの本質に迫ってゆく。詳細は以下の通り。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 社会・文化的産物としての男性／女性はいかにして生成されていくのだろうか。恋愛、性、結婚といった事項を中心にジェンダー（社会的な性）の問題を考える。
- ② 若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？ ファッション・音楽・恋愛等の視点から、若者文化を俯瞰してゆく。
- ③ 流行はマス・メディアによって創造されるのか。あるいはマス・メディアが流行に追随するのか。マス・メディアの現代的意義を特に「流行」という視点からとらえていく。

履修上の留意点

開講時に説明する。

成績評価の方法

開講時に説明する。

教 科 書

特に使用しない。

参 考 書 等

江原由美子・安川一ほか『ジェンダーの社会学』 新曜社
伊藤公雄『〈男らしさ〉のゆくえ—男性文化の文化社会学—』 新曜社
井上俊ほか編『岩波講座現代社会学(21) モード・デザイン・ファッション』 岩波書店

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 (5) 〔社会生活を考える〕	よし だ ほと こ 吉 田 素 子	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

社会学は、社会の構成員である人間の関与するあらゆる現象を対象とし、それらの現象が起こる過程、メカニズム、あるいは関連した事象との因果関係を説明しようとする学問分野である。従って、その研究対象は、政治、経済、教育システム等比較的大規模で明確な社会構造を伴う現象も含まれれば、また日常生活における個人の行動、個人と個人の関わり方、コミュニケーション等も含まれる。この講義では、後者に重点をおき、日常的に誰もが経験する現象を様々な社会学者がどのように説明し理論づけたかを紹介することによって、社会的な視点とは何かを理解することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

おおまかな講義内容の予定は次の通り。

1. 個人と社会との接点に関する社会的考え方
 - 1) 二人、三人間の人間関係、社交性の社会学（ジンメル）
 - 2) 個人とプライマリー・グループ（第一次集団）（クーリー）
 - 3) 社会を形作る心のメカニズム（ミード）
 - 4) 個人間の相互作用と社会形成（ブルーマー）
 - 5) 日常生活世界とリアリティーの構成（シュッツ）
 - 6) エスノメソドロジー（ゴフマン、ガーフィンケル）
 - 7) 理性的選択としての個人の行動（ホーマンズ、ブラウ）等。
2. ネットワークの考え方と小集団に関する研究例
 家族とネットワーク（ポット）、都市におけるネットワーク（フィッシャー）等

成績評価の方法

成績の評価は前期・後期に行うペーパーテストの結果によって行う。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学 (6) 〔社会生活を考える〕	はし づめ さとし 橋 爪 敏	短国・短英	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「社会生活」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義のねらいで述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「社会生活」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「社会生活」の諸問題—社会的人間、つまり、社会によって形成され、また社会を形成していく存在としての人間。このような人間（個人）の成長と社会生活とは密接不可分に関わる。この関わりの諸問題を考えることにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』学文社

参考書等

安藤喜久雄編『人生の社会学』学文社
高尾・橋爪編『社会学の基礎』犀書房
R.ニズベット『現代社会学入門1～4』講談社学術文庫
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
統計学 (1) 〔社会現象の統計的分析〕	いな は とし お 稲 葉 敏 夫	短国・短英	4

講義のねらい

情報化時代においては、情報洪水の中で何が必要な情報で、何が不必要かの適切な選択が益々大切となってくる。どの様にしたら統計を適切に利用できるかを主眼に授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール

前期は基本的な概念を説明する。平均値、標準偏差、2変量間の関係を表す相関係数、そして回帰直線を扱う。また、確率概念を導入することによって、平均値、標準偏差をとらえ直す。後期は統計的推測の基礎を講義する。世論調査における政党支持率の変化は統計的に意味があるのか、新薬は旧薬よりもはたして効き目があるのかなど、身近な例を取り上げる。

成績評価の方法

成績はテストによって評価する。

教科書

稲葉二男・敏夫・和夫 共著『経済・商系基礎統計』共立出版 1,800円

その他

授業は講義の形態をとるが、時々ごく簡単な計算を受講者にもしてもらおう。数式の使用はできるだけ避け、主として図や表を使用して説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
統 計 学 (2) 〔社会現象の統計的決定〕	くさ か やす お 日 下 泰 夫	短国・短英	4

講義のねらい

統計学は、観測値（バラツキをもったデータ）から観測値の源泉に関する結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析、意思決定などに広範に使用されています。本講義は、統計学の入門として、その基本的な考え方と方法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

 講義の内容・
 授業スケジュール

1. 統計的方法の本質、2. 記述統計、3. 標本空間と確率、4. 確率変数と確率分布、6. 母集団と標本、7. 推定、8. 検定、9. 相関、10. 回帰

履修上の留意点

統計学は数学の一分野であり、積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

後期末に行う試験を主に、出席状況、演習を加味して評価します。

教 科 書

P.G.ホーエル（浅井 晃、村上正康 共訳）『初等統計学』培風館 ￥1,700

参 考 書 等

開講時に紹介します。

そ の 他

授業方法：重要な部分はその講義の終了の都度個別に演習を実施しますが、全講義の終了直前（12月頃）に3～4時間をかけて演習を行います。ここでは、これまでに学習した全内容に関する典型的な問題とその解答について解説し、自習のための便宜を図ります。また、モンテカルロ・シミュレーションなど、パソコンを使用したいくつかの演習（デモンストレーション）を講義内容に沿って実施します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 (1) 〔文化と人間〕	さ とう のり あき 佐 藤 憲 昭	短国・短英	4

講義のねらい

文化人類学は、日本を含む世界のさまざまな民族の文化や社会について比較研究をする学問である。そしてその営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするのである。国際化時代が到来している現在、異文化を理解することは必須の事柄といえよう。異文化の理解はまた自文化の理解を深めることでもある。こうした問題意識から、この講座では、内外の事例をできるだけ多く取り上げて、分析・比較・考察を行い、文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

かつて、狼に育てられた二人の少女がインドで発見されたことがあった。狼に育てられた子供たちと、人間に育てられた子供たちとを比較してみると、文化を所有している人間の特質が浮き彫りにされてくる。わかりやすい事例を取り上げて、文化と人間との関係をさまざまな角度から考える。

つぎに、文化人類学の学問的特徴、対象、方法、歴史などについて具体的に解説し、さらに、家族、婚姻、親族、呪術、宗教的な観念や行動などの問題を取り上げて、「人間とは何か」という問題に接近してみたい。

履修上の留意点

夏期休暇中に文化人類学に関する本の感想文を作成してもらおうが、その提出は希望者のみとする。また、抜き打ち的に出席をとるので、欠席をした場合（または欠席をする場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

基本的には筆記試験で評価するが、試験の結果が59点以下の場合には、感想文の点数と出席状況とを考慮して総合的に評価する。

教 科 書

村武精一・佐々木宏幹編『文化人類学』（有斐閣Sシリーズ） 有斐閣

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 (2) (3) 〔文化と人間〕	ふじ 藤 さまき 崎 やす 康 ひこ 彦	短国・短英	4

講義のねらい

文化人類学全般に渡り概説的な講義を行う。ヒトは生物学的な共通性を持ちながらも文化を身につけることで多様な生活を組み立てて来た。「文化と人間」についてその「普遍と特殊」の観点から考えたい。私の研究上の背景は心理人類学的なものであるので、文化を様々なコミュニケーションとしてみる立場から説きたい。同時に社会人類学的な考え方もバランス良く取り込みたい。又、日本の民俗文化を人類学的な広がり度で考える時間も適当に組み込むことを考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

- 次の項目について講義をする。
1. 文化の概念、文化の生物学的基礎
 2. 言語とコミュニケーション
 3. 家族・親族・婚姻
 4. 妖術・呪術・シャーマニズム
 5. 心理人類学
 6. 経済の技術・生活の技術
 7. 法と政治の人類学
 8. 日本の民俗文化再考
 9. その他のテーマ

履修上の留意点

質問や意見は歓迎する。積極的に参加していただきたい。しかし私語等の身勝手な行動には極めて厳しい態度で臨む積もりである。

成績評価の方法

基本的に学年末のテストに基づいて評価を行うが、随時行うミニテストの成績や出席状況も一定の範囲で反映させる。学習状況が思わしくない学生にはレポートを特別に課することもある。

教 科 書

特になし。講義にはプリントを用意する。

参 考 書 等

テーマごとの参考文献は各回の講義時に紹介する。

そ の 他

ビデオ等の映像資料は随時用いる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 (4) 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎ 杉 井 純 一 じゅん いち	短国・短英	4

講義のねらい

現代世界では様々な民族が絶えず各地を行きかい、自分とは異質な人々との交流や対立を深めています。人々は救いがたい憎悪の念で争うこともあれば、民族の垣根を越えた深い友情で結ばれることもあります。多民族社会、多文化社会へと進む中で、私達は本当に理解しあえるのでしょうか。

文化人類学は民族や文化の多様性を相互に比較することで、お互いの差異や共通性についての認識を深め、「人間とは何か」といった根源的な問いに答えようとするものです。具体的には、人々の生活空間や慣習・儀礼の分析などを通して、「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての観念体系を理解していきます。

本講義では、Ⅰ文化人類学の基礎、Ⅱ諸民族とコスモロジー（宇宙観、世界観）を大きな柱とします。この過程で、多様な民族文化の存在を知り、互いを尊重する世界の可能性について考えていきたいと思えます。

講義の内容・ 授業スケジュール

Ⅰ文化人類学の基礎

1. 文化人類学とは何か
2. 文化とコミュニケーション
3. 環境と経済
4. ジェンダーとセクシュアリティ
5. 婚姻・家族・親族
6. 政治と権力

Ⅱ民族とコスモロジー —アジアを中心に—

1. 民族とエスニシティ
2. 民族・宗教・国家
3. 儀礼の構造
4. 呪術と宗教
5. 共同体と象徴的秩序
6. 神話と世界観

成績評価の方法

夏期レポート、期末試験で評価します。

教 科 書

特に指定しません。

参 考 書 等

祖父江孝男『文化人類学入門』中公新書
佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』新曜社

そ の 他

できるだけ、ビデオを利用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 (5) (6) 〔諸民族とコスモロジー〕	むら 村 武 慶	短国・短英	4

講義のねらい

文化あるいは社会をコスモロジー（宇宙論）との関連でとらえる。従来コスモロジーの研究は、儀礼・神話などを個々に分析する傾向にあったが、コスモロジーとは、家族・親族・共同体なども含めて、文化あるいは社会の全体と深くかかわっていることを理解してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 文化人類学とは
文化人類学では、文化・社会をどのようにとらえているか。方法論など。
- II 経済生活
採集狩猟民・牧畜民・農耕民・互酬性
- III 親族組織
家族・親族
- IV 宗教とコスモロジー
宗教と呪術・儀礼神話
- V 民族（文化）とコスモロジーのいろいろ
 - (1) 共同体のコスモロジー
 - (2) 家族や婚姻とからんだコスモロジー
 - (3) 沖縄におけるコスモロジー

履修上の留意点

教科書は特に指定しないので、できる限り授業に出席することが望ましい。時々出欠をチェックする。年に2・3回はビデオを使用することにより、具体的に事例を理解してもらうようにしている。ビデオを見ての感想や時には設問に答えてもらうこともある。

成績評価の方法

基本的には期末試験の成績による。出欠状況、ビデオの感想なども参考にする。

参 考 書 等

佐々木宏幹・村武精一編 『宗教人類学』 新曜社
 村武精一・佐々木宏幹編 『文化人類学』 有斐閣Sシリーズ

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 (7) 〔社会変化と価値観〕	お 小 川 とし 順 敬 がわ とし ゆき	短国・短英	4

講義のねらい

文化人類学とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする文化人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけではありません。比較を通してその差異と共通性について考え、それらの作業を通じて文化とは何か、人間とは何かについて考えようとしているのです。

この講義では、私たちににとっては一見奇妙に思えてしまう異文化の慣行のなかにある考え方を探りたいと考えています。そしてまた同時に、日頃私たちが何気なく行っている生活慣行をふりかえり、異文化と比較しながら、その意味を考え直してみたいと思います。ふだんは気付かない私たちの文化の形が、異なる文化の調査者の目を通して現れてくるのではないのでしょうか。すなわち、この2つの目的は比較という作業を通してこそ可能となるものなのです。

なお、この講義は専門課程の前段として行なうものではありません。したがって、文化人類学の専門性の強い講義ではありません。あくまで文化人類学の基本的な考え方について受講のみなさんに理解を深めてもらうことを第1の目的としています。

講義の内容・
授業スケジュール

文化人類学の研究対象領域は広範にひろがり、研究方法も多岐にわたっています。1年間の講義でそのすべてに触れることは不可能です。そこで、この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説することにしたいと思います。

文化人類学は、異文化社会を調査の対象としてきましたが、これまで「異文化社会」というのは非西欧世界の伝統社会を意味していました。それらの社会は15、16世紀の大航海時代以降「発見」された「異なる文化をもつ社会」であり、その時以降はげしい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。すなわち、「植民地主義」や「開発」によって絶え間なくこれらの社会は変化し続けているのです。

文化人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたといえます。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システム導入、新しい宗教、新たな価値観の変化が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。

この講義では、文化人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、変容という角度から紹介していきたいと思います。伝統的な社会組織、親族組織、経済システムと近代化がもたらした社会変化、キリスト教など外来宗教がもたらした伝統社会の価値観の変容、そして人類学者自身がこれらの問題をどの様に認識し、問題としてきたのかについて考えてみたいと思います。

前期の講義では文化人類学の一般的な概説と、後期の授業に必要な基本的な概念を解説します。後期は具体的な事例を通して「社会変化と価値観」について考えていきたいと思っています。

なお教科書は下記のものを使用します。しかし、最近では様々な工夫をした教科書や、文庫等の安価な文化人類学関係の出版物も出されていますので、何冊か紹介したいと思います。

成績評価の方法

年に1回のレポート提出(夏期休暇あけ)と、年度末の筆記試験により評価します。年度末の試験は必須条件です。レポートは受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容・形式、出席その他に関しては最初の授業で詳しく説明します。

教科書

祖父江孝男著『文化人類学入門』 中公新書560番 800円

参考書等

講義の内容に直接関連する参考書は適宜紹介します。

その他

年に2、3回は講義の内容に関連するビデオを見たいと思います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 (8) (9) 〔社会変化と価値観〕	うちやまあきこ 内山明子	短国・短英	4

講義のねらい

文化人類学は、どんなに異質にみえる文化であっても、できるかぎり偏見をもたずに理解しようとする努力の中で発展してきました。自分の文化がもつ尺度を無批判に持ち出すことを慎みながら、相手の文化と自分の文化との比較を繰り返していく。そうすることで、相手の文化への理解が深まるばかりでなく、自分の文化に対してもそれまでとは違った視点から眺められるようになっていくのです。もっとも文化人類学は、西欧の近代化の中で生まれ育ったものであり、その理論には近代西欧の価値観が色濃く反映されています。また、調査する側とされる側の間には、文明／未開、近代／伝統、宗主国／植民地といった対立関係が付きまとってきました。しかし、文化人類学を支えてきたこのような基盤は、近代化が地球の隅々にまでその影響力を及ぼしている今日、大きく揺らいでいます。この新しい状況に応じるべく文化人類学では今、みずからの足元を見つめ直し、新たな展開を求め様々な試みがなされています。本講義では、文化人類の基本的な考え方を紹介した後、社会変化と価値観というテーマで、この新しい動きについて様々な事例をあげながら皆さんと考えていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

- I 文化人類学の基本的な考え方（フィールドワーク、世界観、親族など）
- II 社会変化と価値観（社会／文化変化への取り組み方、近代と文化人類学——世界システム、民族と国家など）

成績評価の方法

全講義の最後に行う筆記試験

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 (1) 〔法と社会生活〕	はせがわひでよ 長谷川日出世	短国・短英	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわり合いを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の習得を目指す。具体的には法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に、日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世、中山政義、土屋茂著『法に学ぶ世界』高文堂出版社 2,380円＋税

参考書等

『ポケット六法』有斐閣

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 (2) (3) 〔法と社会生活〕	わら けい いち 和 知 恵 一	短国・短英	4

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれている。たとえば、電車やバスに乗ること、コンビニで文具を買うこと、アパートを借りることなど、すべての法的側面を持っているのである。自分は法と無縁であると思っている人は、そのことを知らずにいるだけなのである。

講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルに（法と社会生活）とあるように、本講義においては、『今後、良き社会人として生活していくために、これらの、社会にある「法」が何であるのかを理解すること、またその「法」を社会生活の上で活かしていく能力を身につけること』を主眼とする。

講義の内容・
 授業スケジュール

講義形式を進める。ただし、一方通行になることを避ける意味で、授業中に多数の質問を行ない、挙手してもらうこととする。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業の中では、『渋谷の駅前でキャッチセールスに捕まり、高額な英会話の教材を買わされてしまった。この「契約」の効力はどうか、どうしたら「手付け金」を返してもらえるか』など、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。さらに、たとえば『今朝の新聞に、官僚が「収賄罪」で逮捕された記事が掲載されていたが、どんな罪であるのか、また逮捕に際し憲法上の問題があるとあったが、どんな点で、なにが問題なのか』など、up to date な話題を提供したい。

講義は、おおそ以下のスケジュールを進める。憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通してほぼすべての条文に触れられるよう配慮する。

I 法学

1. 法学を学ぶにあたって
2. 法とは何か
3. 法と道徳をめぐる問題
4. 法の体系と分類
5. 法の目的
6. 法と裁判
7. 裁判の基準（法源）
8. 法の解釈

II 社会生活と法

9. 犯罪と刑罰
10. 財産生活と法（人・物・契約など）
11. 家族生活と法（婚姻・親子・相続など）
12. アクシデントと法（交通事故・医療事故・欠陥商品など）
13. 企業と法（就職と労働契約・会社・手形小切手など）

履修上の留意点

私語はいっさい認めない。出席は重視する。原則として、欠席・遅刻・早退を認めない。教科書・特に六法は毎回準備すること。板書を多く行うので、その単なる写し作業で終わらないこと。授業の中で理解し、考察する態度を涵養するため、講義内容で触れたように、こちらから多数発問し、それに答えてもらう時間を作る。従って、単に教場にいるだけでは出席とは認めない。

成績評価の方法

出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。その試験の得点に平常点を加味して評価する。

教科書

小林弘人・松村格編著 『法学・憲法』 八千代出版
 塩野宏等編 『ポケット六法(平成10年版)』 有斐閣
 *すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等

授業の中で、随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法学・憲法 (4) 〔法と社会生活〕	けい たく ひろ とう 鶏 徳 啓 登	短国・短英	4

講義のねらい

よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、根本的理念、法の目的などを研究する。また、憲法は国家の基本法として他の法令の根幹をなすものであり非常に重要な法である。そして、憲法制定後50年経過した現代に至って国外的、国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。

本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出し得るようになることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

法学の講義は次の内容を中心として行う。

- i 社会生活と法 ii 法の意義・効力 iii 法規範と他の社会規範との差異
- iv 法の分類と解釈の方法 v 市民法の概論 vi 刑事法の概論 vii 法と裁判

憲法の講義は、次の内容を中心として行う。

- i 憲法の意義 ii 憲法の種類 iii 明治憲法の原則と特質 iv 現憲法の原則 基本的人権の主体
- v 基本的人権の分類 vi 各種基本的人権の内容 vii 国会の仕組みとその作用 行政機関の仕組みとその作用 viii 裁判所の仕組みとその作用 ix 地方自治

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験による。

教 科 書

小林弘人・松村 格編著 『法学・憲法』 八千代出版株式会社 3,500円

参 考 書 等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種）及び参考書は教場にて説明致します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法学・憲法 (5) 〔法と権利〕	わ ち けい いち 和 知 恵 一	短国・短英	4

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法に取り囲まれながら生活している。諸君も、毎日のように電車やバスに乗るであろうし、スーパーマーケットで買い物もするであろう。それらの行為は、すべて、法的な側面を持っているのである。電車に乗り料金を払うことや、品物を受け取り代金を払うということは言葉を代えて言えば、「権利を行使し、義務を履行することである。」といえるのである。

講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルは（法と権利）とされている。そこで、本講義においては、『法学の基礎を理解し、その上で、権利および義務が法によってどう守られ、どのような制限を受けているのか』を確認・検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

講義形式で進める。ただし、一方通行になることを避ける意味で、授業中に多数の質問を行ない、挙手してもらうことなど、全員が参加する授業にしたい。授業の中では、『未成年が行った契約は、どんな効果をもつのか』『欠陥商品による被害や、悪徳商法に引っかからないためにはどうすべきか』など、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。また、『医療事故や交通事故にあった場合に、被害の救済はどうか』など社会生活を営む我々の「権利」にスポットを当てて講義する。

おおよそ以下のスケジュールで進める。憲法については、テーマ以外にも、関連テーマから随時条文に当たり、年間を通してほぼすべてに触れられるよう配慮する。

I 法学

1. 法学を学ぶにあたって（権利と義務は反対語か）
2. 法とは何か
3. 法と道徳をめぐる問題
4. 法の体系と分類
5. 法の目的
6. 法と裁判
7. 裁判の基準（法源）
8. 法の解釈

II 法と権利

9. 犯罪者の権利と義務
10. 労働者の権利と義務
11. 消費者の権利と義務
12. 患者の権利と義務
13. 企業の責任
14. 憲法上の権利と義務

履修上の留意点

私語はいっさい認めない。出席は重視する。原則として、欠席・遅刻・早退を認めない。教科書・特に六法は毎回準備すること。板書を多く行うので、その単なる写し作業で終わらないこと。授業の中で理解し、考察する態度を涵養するため、講義内容で触れたように、こちらから多数発問し、それに答えてもらう時間を作る。従って、単に教場にいるだけでは出席とは認めない。

成績評価の方法

出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。その試験の得点に平常点を加味して評価する。

教科書

小林弘人・松村格編著 『法学・憲法』 八千代出版
塩野宏等編 『ポケット六法（平成10年版）』 有斐閣
*すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等

授業の中で、随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法学・憲法 (6) 〔法と権利〕	にし 西	おさむ 修	短国・短英 4

講義のねらい

何年か前に発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗している診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要がありますと思います。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

- ① 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講生諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。
- ② あらかじめ講義計画（シラバス）を立て、その計画にそって授業を進めます。この講義計画は別に配布しますが、キーポイントと参考文献が示してあるので、理想的には予習・復習するのが望ましい。
- ③ 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。
- ④ 成績は平常点を重視。私が独自に作成した出席カードを利用し質問欄あり、双方向性を大切にしたい授業内容にします。
- ⑤ 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、OHPなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。
- ⑥ 成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。
 前期試験30%、後期試験40%、出席・レポート30%
 要するに、講義内容を生き活きたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

 講義の内容・
 授業スケジュール

本講義は「法学・憲法」という二つの標題になっていますが、「法と人権」を主たるテーマにしたいと思っています。日本国憲法のみならず、世界を視野において幅広い視点から考察をこころみます。日本国憲法における人権については、判例を中心に検討したいと考えています。

取り扱うおもなテーマは、つぎのとおり。

- ① 「法と人権」を学ぶにあたって
- ② 人権の生成と発展（国際的視野にたつて）
- ③ 国民主権の意味
- ④ 平和と人権
- ⑤ 日本国憲法第3章における人権の意味と限界（法の下での平等、参政権、精神的自由、経済的自由、社会権など）
- ⑥ 西洋における人権観とアジアにおける人権観
- ⑦ 社会主義諸国における人権
- ⑧ イスラム諸国における人権
- ⑨ 「共生の権利」を求めて

教 科 書

開講時にシラバスにし指示

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 (7) (8) 〔法と国家〕	新田 浩 司	短国・短英	4

講義のねらい

日本国憲法（以下「現行憲法」と略称）が制定されて本年をもって50年を迎える。敗戦による占領下において制定されたという経緯等、当初よりもさまざまな問題を孕んでの制度であった。自衛隊をめぐって国論を二分する論議が続きながらも、我が国は、日米安保条約というアメリカの傘の下で、高度経済成長をおう歌してきたのであるが、その糸目が社会の隅々に露呈している。たとえば、政治腐敗、企業の談合、公務員の汚職、イジメ問題、カルト集団による犯罪、あるいは凶悪犯罪の増加、環境問題等々。

法は、社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものであるが、法、そして憲法がこれらの問題の解決となりうるのだろうか。このような問題の発生においては、法による解決に加え、我々国民が持つ習俗、習慣、あるいは道徳をふくめた、その国の文化も多岐に影響するものであるといえる。

現行憲法に、我が国の国民がそして文化が制約されてしまっていることは大いに指摘されているところである。このことの妥当性、あるいは、戦前の軍国主義を否定するあまり我が国の文化までも現行憲法は破壊しては来なかったか。還元すれば、我が国の国がらに、現行憲法は相応しいか等検証すべき点は多い。これは、我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

現実には発生する様々な憲法上の問題、たとえば、湾岸戦争を契機とした自衛隊の海外派兵問題、日米安保条約の見直し、夫婦別姓、外国人の選挙権さらには、プライバシーの権利、環境権など新しい人権に対して現行憲法は対応できるのか検討する必要がある。

講義においては、以上のような視点に立って、現実には発生する様々な問題にも言及しつつ講義を進める。

教科書

高乘正臣・佐伯宣親著『現代憲法学の論点－判例から学説へ－』成文堂 ￥2,500

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 (9) 〔法と国家〕	さいとう 藤 洋	短国・短英	4

講義のねらい

法学及び憲法の基礎的理解をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

以下の順序で講義をする予定である。

- | | | |
|----------------------|------------------------|----------|
| 1 法学の基礎 - 1 - | 11 基本的人権 2 - 人権の適用範囲 - | 21 生存権 |
| 2 法学の基礎 - 2 - | 12 新しい人権 | 22 教育権 |
| 3 法学の基礎 - 3 - | 13 法の下での平等 | 23 国会・内閣 |
| 4 憲法学の学び方 | 14 信教の自由と政教分離 | 24 司法権 |
| 5 憲法と国家 | 15 表現の自由とその制約 | |
| 6 日本国憲法の制定過程 | 16 学問の自由 | |
| 7 日本国憲法の基本原理 | 17 経済的自由 | |
| 8 天皇 | 18 身体の自由 | |
| 9 戦争放棄 | 19 困窮請求権 | |
| 10 基本的人権 1 - 人権の主体 - | 20 参政権 | |

履修上の留意点

授業は予習してあることを前提に進めるので、かなりハイペースになると思われる。予習をしないと授業についていけないことを肝に銘じてほしい。

成績評価の方法

成績は学年末の定期試験で決定する。

教科書

赤坂昭二『法学の基本原理』成文堂 2,884円

参考書等

六法全書を常備していれば好ましい。

その他

ほとんど板書しないので、各自は自分で自分なりのノートを作成してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 (10) 〔法と国家〕	お 織 だ てる こ 織 田 晃 子	短国・短英	4

- 講義のねらい

①法とは何かに始まり、②私人間における基本的人権の尊重、③財産関係と法について講義する。
- 講義の内容・授業スケジュール

上記①の法とは何かでは、法と道徳、法と正義、法の解釈と適用等について。②の私人間における基本的人権の尊重では、例えば、私企業への入社に際しての身上書と基本的人権、私立学校(大学)の学則と基本的人権、安楽死と基本的人権等について。③の財産関係と法では、所有権の絶対性とその制限、権利概念の拡大と限界、契約自由の原則とその制限、権利侵害と損害賠償等について。
- 履修上の留意点

授業にはポケットサイズのもので十分であるが、六法を忘れないように持参し、講義中に条文がでてきたらそのつど面倒でも指摘された条文を見ること。
- 成績評価の方法

期末試験の成績と出席日数による。
- 教科書

開講時に指示する。
- 参考書等

『ポケット六法』有斐閣
必要に応じてプリント等を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学・憲法 (11) 〔法と権利〕	しげの たか はる 茂 野 隆 晴	短国・短英	4

講義のねらい

“法と権利”を学び、「法」というものを知ることによって、我々は社会生活をする上で、どのような目的を達成することが出来るのであろうか。それは大要、次の3点に帰着するのではなからうか。

- i 『抽象的な概念構成をする力』を身につけること
我々が社会生活を送るに当たって、様々な社会現象がそこに生じることになるが、そうした現象のなかで、どれが法的に意味をもつものであるか。それを抽出して、しかも法的価値判断にてらして、「有効」か「無効」か、或いは、「適法」か「違法」かを判断するには、「抽象的な概念構成をする力」を是非とも必要とするのである。法を学ぶことによって、それが得られるのである。
- ii 自分自身の見解をもつこと
我々の社会には、種々の考えをもつ人々が存在する。例えば、「死刑廃止」ということについて意見を訊ねれば、それを是認する意見と、否認する意見とに分かれることは、明らかである。人間の人生観・世界観というのが、人によって異なる以上、それは当然のことであり、止むを得ないことである。そうした社会であるから、事物の是非を判断するに際しては、客観的な証拠を裏づけとして処理することが必要である。即ち、法を学ぶことによって、事物を正確に把握し、客観的な裏づけをつかんで、判断する態度を身につけなければならないのである。日本人は、やもすれば、多数の意見に附和雷同する傾向が強いが、自分自身の見解をもつことによって、正しい判断を下すことが出来るようになるのである。
- iii 『妥当性をもった考え』を確立すること
法は本来、いかなる時でも、いかなる場所でも正しいものでなければならない筈である。それこそが「正しい法」といえるからである。従って、法を学んだ以上、その判断は、「正義」に立脚するものでなければならない。本人の利害による自分勝手な判断や、恣意的な行動は、厳に慎まなければならない。あくまでも「正義」に合致した「妥当性をもった考え」を身につけるように、努めなければならないのである。

講義の内容・
授業スケジュール

〔第1回〕◎「法と権利」を学ぶに当たって

本講を学ぶ際に最も肝要なことは、「法」というものが、いかなるものであり、また、いかなる特徴をもつものであるか、その本質をつかむことにあると思う。このことは、先ず最初に、しっかりとつかんでみたいところである。

〔第2回〕◎法と社会生活

社会そのものが維持されるためには、社会内部の秩序維持がなされなければならないことはいうまでもない。秩序が乱れ、個人がその生命などを自分で守らなければならないとするならば、その社会自体も危うい。従って、社会が成立するための要件の第一は、秩序維持である。そのためには、秩序を乱した者に対しては、死刑を含む制裁（現行法のもとでは）を科す必要が生じる。それは、当然のことながら、強制的に行わなければならない。

〔第3・第4回〕◎法と他の社会規範

社会の支配組織が確立するにつれ、社会規範は分化し、独自の領域を形成するようになった。即ち、あるものは、単なる流行に終わり、あるものは、儀礼や、風習、習俗、習慣といわれるものとなり、あるいは道徳や宗教として一領域を形成するようになり、こうしたもののなかから、やがて、法として宣言されるものが出てきたのである。

〔第5・第6回〕◎法の種類

法は社会生活が多岐となるにつれ、その内容も次第に複雑化し、その数も多くなったことから、さまざまな基準によって、法の種類がなされるのである。

〔第7・第8回〕◎法源（法の淵源）

法源とは、裁判官が裁判をするに当てる基準として用いられる法規範といえる。裁判所の恣意のままに裁判がなされないためにも客観的な基準となるべき法規範が必要である。

〔第9回～第13回〕◎法の生成

我国における法の発達を觀る。「上古法」、「中古法」、「中世法」、「近世法」、「近代法」、「現代法」の6期に分ち、各期の特徴を講述する。

〔第14回〕◎法と裁判①（裁判所の種類と仕組み）

〔第15回〕◎法と裁判②（裁判官・検察官・弁護士及び調停制度）

〔第16回〕◎国家

〔第17・第18回〕◎憲法①（日本国憲法の成立他）

〔第19・第20回〕◎憲法②（基本的人権の保障）

〔第21・第22回〕◎憲法③（国会）

〔第23・第24回〕◎憲法④（「内閣」と「裁判所」）

〔第25・第26回〕◎民法①家族法のⅠ（親族法）

〔第27・第28回〕◎民法②家族法のⅡ（相続法）

成績評価の方法

遅刻・退席・私語等、平素の学習姿勢も勘案し、試験の成績に出席度を加味する。

教科書

山口嘉三・大久保治男編『法学要説』 芦書房 ￥2,800

大久保治男・茂野隆晴共編『日本法制史板書』 芦書房 未定、それに小型の六法全書を揃えるように。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学・憲法 (12) 〔法と権利〕	みつだまさよし 光田督良	短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、「法学・憲法」と二つの標題を持ちますが、全体としては、「法と人権」というテーマのもとに講義をすすめます。

人権を保障している憲法も「法」の一つです。まず、「法とは何か」ということを検討します。そのためには、できるだけ多くの「法現象」を見聞することが必要です。それは、これらについての個別分野の専門科目が多く存在する事からも理解できます。しかし「法学」の講義が、それぞれの個別分野を概観するような内容であれば、中途半端な内容となってしまいます。したがって、講義では、これら個別分野の科目に共通する、法の一般的な、基礎的な考え方について検討します。

次に、憲法の内容に入ります。「憲法」の講義の目的は、日本国憲法の内容を、主として憲法解釈学の立場から理解することにあります。憲法の講座では、本来、日本国憲法全体を対象として検討しなければなりません。講義では、本講のテーマおよび時間的制約から、特に人権を中心に検討します。具体的には、人権の内容、限界、制限といった点が主たる内容となります。もっとも、その際、国会、内閣、裁判所などの統治（政治）機構についても、人権との関連において、人権をよりよく確保するための制度という観点から、必要に応じて、採り上げます。

「法の一般的な、基礎的な考え方」、「人権の内容、限界、制限」の検討というと、どうしても抽象的で、難解であると考えられがちです。しかし、抽象的な検討に終始すれば、十分な理解もできませんし、また学修する意欲、興味を損なうこととなります。そこで、講義では、できるだけ、判例など実際に起きた具体的事柄に例を求め、分かりやすく説明するつもりです。

また、人権をめぐる法現象は社会現象の一つですので、現実の社会において現在生じている事柄についても、「今」の法を考えるという意味において、関連性、必要性に応じて採り上げるつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、具体的には以下のようなスケジュールで行います。

序 法学・憲法を学ぶに当たって

I 法とは何か

- 1 法とは何か ― 法の定義
- 2 法と道徳（関係の歴史・区別の基準）
- 3 法の構造
- 4 法における強制（主体・方法・意味）
- 5 法の目的（正義・秩序）
- 6 法の効力
- 7 法の適用
- 8 法の解釈

II 憲法における人権

- 1 日本国憲法の基本原理
- 2 基本的人権の視角
- 3 包括的人権
- 4 法の下での平等
- 5 内心の自由
- 6 信教の自由と政教分離
- 7 表現の自由
- 8 経済的自由
- 9 身体的自由
- 10 社会権
- 11 立法と国会
- 12 行政と内閣
- 13 裁判と司法

履修上の留意点

講義では、「検討する」という姿勢を重視します。したがって、受講者も、講義を聞き、板書を写し、それを覚えるということではなく、常に「考える」という態度で望んでほしく思います。そのためには、少なくとも、教科書の講義該当部分を読んでおくことが必要です。

成績評価の方法

成績は、学年末に行う試験を中心に評価します。受講者数にもよりますが、出席をとった場合、それを平常点として評価することもあります。

教科書

- I の分野については、有沢知子・光田督良・山本悦夫著『法と社会生活』尚学社 2,060円
II の分野については、古野豊秋編『スタンダード憲法 テキスト版』尚学社 1,000円

参考書等

六法（用途に応じた種類等については開講時に紹介します）。参考書等は講義の進行に応じその都度紹介します。

その他

主として講義の形式ですすめます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治学 (1) 〔社会生活とデモクラシー〕	はやかわ よしき 早川 純 貴	短国・短英	4

講義のねらい

政治をよく知らないが興味を抱いている学生、あるいはテレビ報道や新聞の記事のおさまりのフレーズに飽き飽きしている学生、そんな諸君のための入門政治学である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 社会生活と政治
 - ①何が政治なのか：消費税は政治か／大学生はなぜ政治に関心がないのか
 - ②汚職／金権腐敗／スキャンダルと政治家の資質について
 - ③政治は必要か：しあわせをもたらしてくれる政治とは
- 2 民主主義とはなにか
 - ①代議制民主主義と直接民主主義／市場と民主主義
 - ②議員さんは一般庶民よりえらいのか／役所のお役人はなぜいばるのか
 - ③みんなにとって大事なことはみんなですべて決めるべきか：巻町の住民投票について
- 3 選挙と民主主義
 - ①小選挙区制と比例代表制を考える：その功罪について
 - ②民意の反映とは：民意はどの程度尊重されるべきか
 - ③世論とマスメディアのいいかげんさ
- 4 政治と価値／イデオロギー
 - ①価値観の変化と政治の変化
 - ②イデオロギーとは：保守主義と社会民主主義／あるいは自由主義と平等主義
 - ③若者の価値観と政治観：ネアカとネクラの政治
- 5 日本社会の変動と政治の変動
 - ①無党派層の出現／投票行動の変化：都市有権者＝新中間大衆の登場
 - ②産業構造の変化と政治：なぜ国鉄と電電公社は民営化されたか
 - ③高齢化社会と福祉政策
- 6 市民とはなにか
 - ①市民と庶民：山の手インテリ層 vs. 下町の魚屋のおじさん・八百屋のおばさん
 - ②市民運動の変容：NGO／反核平和からリサイクル運動へ
 - ③市民参加と行政：参加の重要性和難しさ
- 7 企業社会・会社人間について
 - ①なぜ過労死・サービス残業はなくなるのか
 - ②就職の際の男女差別はなぜなくなるのか
 - ③家庭生活と政治：なぜ『失楽園』はベストセラーになったのか
- 8 日本社会の国際化と政治
 - ①国際貢献と自衛隊：湾岸戦争の教訓とPKO
 - ②東京の国際都市化と行政の対応
 - ③共生の社会を目指して

履修上の留意点

政治の中心的要素は「権力」であり、政治学はその実態と制御を扱う学問である。つまり社会正義やモラルやヒューマニズムではなく、強制力を内在する「権力」というデーモンを科学する極めて特異な学問である。安っぽい平和主義者や理想論者ではなくクールな現実主義者こそこの学問を学ぶにふさわしい。

成績評価の方法

成績は中間試験と定期試験で判定する。また随時出席をとる。

教科書

河田潤一（編著）『現代政治学入門』ミネルヴァ書房 2,718円＋消費税

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 (2) 〔政治システムと政治参加〕	なかのゆうじ 中野裕二	短国・短英	4

講義のねらい

国民の政治的無関心が語られはじめて久しいが、前回の東京都知事選挙では、それが既成政党離れ、「新無党派層」という言葉で語られた。実際、私たちの日常感覚でも「政治」は非常に遠いものとして感じられる。それでは、政治は本当に私たちから遠い存在なのだろうか。本講義では、私たちにとって遠いものに思える政治は、実は身近な存在なのだという事を知ることが目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

そのために、「共生」「歴史」「現代」「思想」という4つのキーワードから、政治を再発見していく。具体的には「異文化と政治」「ジェンダー・ポリティクス」「日本の戦後」「アジアの戦後」「自由民主主義のゆらぎと民主主義のゆくえ」「噴出する民族問題」「核の時代と平和の思想」などの章を立てて、政治を考えていきたい。また、講義のなかで今の政治や社会の動きを「政治トピック」として紹介し、受講生とともに現代社会を理解し、その問題点について議論したい。

履修上の留意点

受講生の積極的な参加を期待する。

成績評価の方法

「政治トピック」等に関するレポート(数回)と学年末試験とを総合的に評価する。ただし、受講生の積極的参加(質問、意見など)は、これとは別に高く評価する。

教科書

石川捷治・平井一臣編『自分からの政治学』1996年 法律文化社 2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 (3) 〔国際社会と日本〕	うらたきなほ 浦田早苗	短国・短英	4

講義のねらい

21世紀を目前に迎え、新たな世界秩序が模索されている現在、世界は大きな転換期にある。国内では政治改革、行政改革、税制改革が政治経済の緊急課題となり、これまでの政治のありかたに変更が求められている。また、日本の急激な経済成長は経済摩擦、円高、体制的維持費の分担要求といった国際問題を引き起こしている。本講義では、世界における日本の位置を、国際化・情報化された現代社会の枠組みの内て考察し、今後の日本の進むべき方向を明らかにすることに視点が置かれている。

講義の内容・授業スケジュール

講義の冒頭では各自の政治への関心を高めるため、その週に起こった国内外の時事問題を取り上げ解説し、現代社会が抱える問題について考える。前期の講義では、日本の政治事情の比較対象として1980年代から現在に至るアメリカ、イギリス、ドイツ、フランスそれぞれの国の政治を概観する。スタグフレーションとレーガノミクスからクリントンの政治、サッチャー政権以後の保守党優位のイギリス議会政治、ドイツ統一と冷戦の終結過程、EUの成立とフランス、シラクの政治外交等が中心テーマである。後期は、例えばマキシミン戦略、多数決のパラドックス、公共性の理論といった政治理論をまず概説し、続いて現代日本社会の問題点を考察する。取り上げるテーマは、政官業のトライアングル、会社主義の変容、環境政策等である。

成績評価の方法

年5～6回行う小テスト(簡単な政治論評)は出席点代わりとし、学年末試験に加算する。試験はあらかじめ指示した5問から2題出題する(ノートの持ち込みは不可)。

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細に研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。参考書は必読でないが、常に新聞を「読む」ことが全員に義務づけられている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 (1) 〔現代社会と市場経済〕	あさ だ とういちろう 浅 田 統一郎	短国・短英	4

講義のねらい

本講義では、現代経済学において主流的な地位を占めるいわゆる現代経済学において主流的な地位を占める近代経済学の理論体系に基本的に依拠しながら、私達がその中で日々生活している現代の市場経済のしくみをわかり易く体系的に解説します。本講義は、それ自体、完結した現代経済学への入門になっていますが、経済学をもっと本格的に学びたい人にも役立つように工夫されています。具体的には、本講義は、「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得理論」、「財政政策」のような、経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡しとしても役に立ちますし、また、経済学を専攻しない学生諸君に教養として身につけておくべき経済学の必要最小限の知識を提供することを目的としています。特に、私達にとって身近な経済問題を解釈したり、その解決策を探るために経済学の考え方がいかに役立つか、ということをも具体例に基づいて明らかにします。とりあげるテーマについては、以下のようなものを考えています。

1. 経済学の課題
2. 市場経済のしくみ
3. 需要と供給の法則
4. 国民所得について
5. 財政・金融政策について
6. 景気の話
7. バブルとその崩壊について
8. 国際貿易と国際通貨体制の話

なお、教科書は、幸村千佳良『経済学事始』を使用しますが、経済学をもっと本格的に学びたい受講者のために、下記の「指定図書」を推薦しておきます。

成績評価の方法

成績は年2回（前期・後期）行う筆記試験によって評価します。

教 科 書

幸村千佳良著『経済学事始』 多賀出版

参 考 書 等

伊藤元重著『入門経済学』 日本評論社
林 敏彦著『需要と供給の世界』 日本評論社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 (2) 〔現代経済と人間〕	まつ い りゅう へい 松 井 柳 平	短国・短英	4

講義のねらい

経済学はしばしば、俗物的な関心に結びつけられ、誤解されている。経済学を修得したからといって就職したとき、その知識を直接、職場で活用できるとは限らないし、まして、「経済学を学ぶと金儲けができる」とかいうものではない。私たちの生活や仕事は社会の経済活動によって大きく左右されているが、経済学の知識があるからといって、仕事を要領よくこなせるとか、営業成績を向上できるとは限らない。本講義は、はじめて経済学を学ぶ方を対象に、経済学をできるだけわかりやすく紹介し、現実の経済現象を理解し論理的な筋道だった説明をするための手段としての、あるいは経済についての評価の基準としての、経済学の基礎理論の修得への導入をおこなう。

 講義の内容・
 授業スケジュール

ミクロ経済学とマクロ経済学の基礎理論を基本的な考え方に重点を置いて、平易に講義する。ミクロ経済学は個別主体の行動の動機づけにまでさかのぼって、経済全体を理解する。マクロ経済学は経済諸主体の活動を例えば1国全体に規模で集計した国民所得などの集計量を用いて分析し、さまざまな集計量相互の関係を考察する。講義は、ミクロ経済学から始め、マクロ経済学へ進むことにする。

履修上の留意点

毎回、授業の最後に次回の講義内容の範囲を指定するので、授業前に必ず予習をしてくること。授業後、熟考してもなお疑問点があれば積極的に質問するなどの姿勢が望まれる。
 なお、本講義では微分等の数学は一切使わない。小学校レベルの四則演算と通学校レベルの1次方程式程度の理解のみを前提とする。

成績評価の方法

期末試験で評価する。

教 科 書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 (3) (4) 〔現代経済理解へのガイド〕	お 小 の 野 と し お 夫 俊 夫	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

経済は現代社会の基本であり、経済学は現代経済を理解し、広く社会諸科学を学習し理解するためには必須の学問である。この講義では、現代経済社会の仕組みと運行の仕方を理解し、正しく分析し得る力を身につけるためには不可欠な理論の基本を、いわゆる近代経済学の立場から体系的に解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 講義は次のように進められる。
1. 経済学発展史要説：経済学への入門をかねて
 ミクロ経済学
 2. ミクロ的経済循環とミクロ経済学
 3. 消費者行動の理論
 4. 企業行動の理論（企業の生産技術と生産費、完全競争下の企業行動、独占企業の行動）
 5. 完全競争経済と独占
 6. 不完全・独占的競争の理論
 7. 現代企業と市場の理論
 - マクロ経済学
 8. マクロ的経済循環とマクロ経済学
 9. 国民所得の諸概念
 10. ケインズ有効需要の原理と理論体系要説
 11. ケインズ経済学体系（消費・貯蓄関数、国民所得の決定と投資乗数の理論、投資決定の理論、利子率決定の流動性選好理論、ケインズ理論体系とIS-LMモデル）
 12. 経済成長と景気変動
 13. 政府および外国貿易を考慮する一般的な分析

履修上の留意点

講義を理解するために経済に関する予備知識は必要としないが、学問はそもそも一つの体系であるから、常に出席して講義の順を追って理解して行かねばならない。

成績評価の方法

成績は学年末に行われる教場試験の結果によって評価する。しかし平素の出席率が好ましくない場合には、適宜行なう出欠調査、小テスト、レポート提出などの結果も考慮して、最終評価を行なう。

教 科 書

小野俊夫編著『現代経済学の基礎』学文社

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おお いし ゆう し 大 石 雄 爾	短国・短英	4

講義のねらい

現代の社会は複雑に入り組んだ多くの問題をかかえています。ME化・情報化の波が世界に波及する一方、アフリカ・アジアには部族間の対立による流血の惨事がくり返され、食料不足による餓死者もあとを絶ちません。地球環境の破壊は深刻さを増しています。また、「豊かな社会日本」には、長時間労働という現実があり、世界に例のない過労死現象まで生ずるに至っています。大国による核兵器の保有とたび重なる実験は、平和の推進ではなくその悪化に役立てられているようにも見えます。このような多岐にわたる諸問題は どうして生じたのでしょうか。人々はより豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。とすれば、社会科学には、これら難問の原因を探り出して、問題解決への展望をさし示すという重要な課題が課せられていることとなります。

社会科学はそれほど古い学問ではありません。大まかに見れば、それは17世紀におけるイギリスの資本主義経済＝商品経済の発展とともに芽ばえ、発展を始めることになりました。それには理由があります。1つには、資本主義経済そのものが一定の法則性を示すようになったこと、2つ目には、科学的な認識活動なしには社会関係の本質が見えにくくなってしまった、ということです。商品生産が発展してくると、人々が共同して社会を維持し再生産しているという社会の側面が見えにくくなるからです。

したがって、社会科学は、それが対象とする資本主義の経済関係、政治、法律、国家、思想などが発展するのに伴って発展していくことになりました。しかし、最も重要な課題は、資本主義的経済の一般原理を解明することにあつたのです。そして、資本主義の確立した19世紀のイギリスの社会を研究することによって、カール・マルクスが資本主義的生産の運動法則を体系的に明らかにすることができました。

しかし、資本主義はそこにとどまることなく発展を続け、現代に至っています。その社会が複雑化すれば一般理論だけを振りかざしても解明できない諸現象が次々に発生してきます。それとともに、社会科学はこれらの現象を解明するための研究にも取り組んできたのです。現代世界が高度に発展した資本主義社会であるとすれば、われわれは、資本主義の一般理論とともに、その特殊で複雑な展開についても認識を広げていく必要があるでしょう。

この講義では、資本主義経済とその法・国家の認識という点に焦点をあてて、その科学的把握を前進させる上で重要な意味をもつことになった社会科学者の思想と理論をとり上げ、現代的な意味について考えてみることにします。講義のテーマは、次のようになります。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 社会科学とは何か
2. 社会の歴史的発展
3. 社会科学の生誕——ホッブスとロック
4. 資本主義経済の法則的把握——スミスとリスト
5. 資本主義の経済と国家——マルクスとウェーバー
6. 現代資本主義の捉え方——レーニン・ケインズ・ガルブレイス
7. 資本主義と民族
8. 現代日本の社会と法

なお、社会科学の現代的な意義を明らかにすることも大事なことと考えますので、現代社会のかかえるナマの問題については随時講義していく予定です。

成績評価の方法

年に数回、授業時間中に小レポートを作成し、提出して頂きます。後期に定期試験（記述）を実施します。成績は小レポートと定期試験の合計点で評価する予定です。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』岩波新書 550円
平野喜一郎『社会科学の生誕』大月書店
八木紀一郎『経済思想』日経文庫

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 学 〔デス・エデュケーション〕	やなぎ ぼり 柳 堀 すが こ 素 雅 子	短国・短英	4

講義のねらい

死にかかわりのあるテーマに対して学際的に取り組もうとする学問である。死について哲学・医学・心理学・民俗学・文化人類学・宗教・芸術など、あらゆる学問分野から考えることが求められるが、とりあえずは自分の得意とする分野からアプローチすることが望ましいだろう。多方面にわたる分野なので、柔軟な思考力を持って取り組んでほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①現代医療と人間の死の問題
 1. 死生学とは何か
 2. 現代に死のあり方
 3. クオリティ・オブ・ライフ
 4. ホスピス、緩和医療
 5. 癌告知の問題
 6. 末期患者の心理
 7. ターミナル・ケア、ホスピス
 8. グリーフ・ワーク
 9. 老いと死の問題
 10. 安楽死、尊厳死
 11. 死への恐怖
 12. 自殺の問題 etc
- ②死生観の比較

東洋と西洋、仏教とキリスト教などにおける死生観、死に対する考え方、態度の違いを比較検討していく。さらに日本人の死生観、死に対する考え方、態度を見ていく。

履修上の留意点

授業の途中で、レポートの提出を求めることがある。

成績評価の方法

出席日数、平常のレポート、後期試験

教 科 書

アルフォンス・デアクン『死とどう向き合うか』NHK出版 1,100円

参 考 書 等

授業中、必要があればその都度提示する。

そ の 他

講義、ビデオ、スライド

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 心 理 (大学生の心理－教育臨床心理学の立場から－)	の 野 中 ひろ とし 敏	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

最近「こころの健康」なる言葉を耳にすることが多いようですが、人がいろいろな意味でより「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことのようです。そして様々ないきさつから、人が「心をつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの正解があるというわけでもなさそうです。

「心理学」とは一般に人間の心の動きや行動などを理解しようとする学問といえるでしょうが、その研究方法や目指す領域は多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心をつまずき」に対する広い意味での「心理療法」の実際と、心理的援助へ向けられる理論や技法を紹介したいと思います。また、心理療法の実際のあり方を通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきがこれまでの理論でどのような説明を与えられてきたか、などをお話できればと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

おおむね以下のトピックをとりあげます。

- ・主な心理学概念の概説
- ・臨床心理学的援助（広義の心理療法）の実際
- ・心理療法の理論と技法の概説
- ・心理療法を支える諸理論（人格・発達・精神力動論など）の概説

履修上の留意点

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

成績評価の方法

年度末の試験と共に、夏休みの課題を併せて考慮したいと思います。

参 考 書 等

一読をお勧めしたい本などは、その都度講義の中で紹介します。

そ の 他

講義形式が主体となると思います。可能ならばビデオ・スライドなどを用います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学（前期）	はし 橋 爪 さとし 敏	短放1選	2

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識の提供を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

社会学は、その名称の示すように「社会」を理解し明らかにしようとする。しかし、ここで言う「社会」とは、私たちから遠く離れた抽象的存在ではなく、きわめて身近な日常的な事実である。社会学は、学校社会、病院社会、地域社会といった社会の諸問題を、常に具体的、現実的な人と人との関係問題として考察、理解しようとする。この講義は、こうした社会学独自の社会現象の見方、考え方、知識の基礎を提供する。

授業のスケジュールは、まず、社会学とは何かについての概略を述べ、その後で、人間と社会との関わりについて、出来るだけ具体的な例を挙げて論じていきたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学期末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

講義開始後に相談の上決定。

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』 犀書房
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』 講談社学術文庫
安藤喜久雄編『人生の社会学』 学文社

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学（後期）	お 織 だ 田 て る 晃 こ	短放1選	2

講義のねらい

①法とは何かに始まり、②私人間における基本的人権の尊重、③財産関係と法について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

上記①の法とは何かでは、法と道徳、法と正義、法の解釈と適用等について。②の私人間における基本的人権の尊重では、例えば、私企業への入社に際しての身上書と基本的人権、私立学校の学則と基本的人権、安楽死と基本的人権等について。③の財産関係と法では、所有権の絶対性とその制限、権利概念の拡大と限界、契約自由の原則とその制限、権利侵害と損害賠償等について。後期のみであるから上記の予定すべてを終えることは不可能かもしれない。その際は受講生と相談の上、講義の順序を決める。

履修上の留意点

授業にはポケットサイズのもので十分であるが六法を忘れないように持参し、講義中に条文がでてきたらそのつど面倒でも指摘された条文を見ること。

成績評価の方法

期末試験の成績と出席日数による。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

『ポケット六法』 有斐閣
必要に応じてプリント等を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (前 期)	きた がわ こう し 北 川 公 路	短 放 1 選	2

講義のねらい

「心理学とは何か？」
 おそらく、ほとんどの講義内容の説明に、この一文が含まれているのではないのでしょうか。もちろん、学問を学ぶ以上、当然の「？」といえるでしょう。しかしながら、少しだけ違った意味もあるように思います。それは、「心理学」は「読心術」であるとか、マスコミなどで話題にされている一部の心理学が、全部だと思ってしまうのでは…という気持ちが少し入っているように思います。
 そこで、本講義では、心理学ではどのような研究がなされてきたかを説明し、正しく心理学を学んでもらいます。そして、「心理学とは何か？」という「？」に答えられるようになることをのぞんでいます。

講義の内容・授業スケジュール

心理学の領域は多岐に渡っています。そのため、半期の講義では消化しきれないのが事実です。そのため、心理学の基礎的知識をふまえた上で、主な領域について説明します。内容については、みなさまの興味があるところに、時間を割いていきたいと思っています。また、適宜、実習もしていく予定です。

履修上の留意点

4月の第1週に講義内容、進行日程、成績評価の方法を詳細に説明するとともに、質問に応じます。そのため、履修を考えている場合は、最初の講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

定期試験、レポートなどの提出物、出席状況など総合評価を行います。

教科書

授業時に指示します。また、参考図書も適宜案内していきます。

(3) 自然分野

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 (1) (2) 〔生態と進化〕	し みず よし かず 清 水 善 和	短国・短英	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しているわけであり、進化を抜きにして生物を理解することはできない。一方でこの地球上には現在1,000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを越すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所にいて独自の生活を築いている。この生物の多様性が生物を理解するもう一つのカギである。さらに、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。本講義では生物の進化や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義で取り上げる主な項目：進化と遺伝子、進化論と総合進化説、進化のタイムテーブル、系統と分類体系、種の定義と属性、種分化と絶滅、生物多様性、分子進化、動物行動学、人類の進化、生態系、食物連鎖と生態ピラミッド、物質循環、生態学的地位、生物地理区、植生帯、植生遷移、個体群の動態、共生、都市と生物、など。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席を勘案して評価する。

教科書

特に用いない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 (3) 〔生物と環境〕	なか むら とし え 中 村 敏 枝	短国・短英	4

講義のねらい

一つの卵と一つの精子があれば、顕微受精によって新しい生命を誕生させることができる。永久凍土に眠るマンモスの精子を冷凍保存された精子と考えれば、これとアフリカゾウの卵細胞を用いて混血個体をつくり、何世代も体外受精をくり返すことによって、絶滅したマンモスを復元することは可能であるといえよう。ところで、この20年以上、人間の精子が減少傾向にあり、このまま減少が続けば次世代の誕生が期待できない事態が数十年後に訪れるともいわれている。マンモスの再生よりも先に、人類が絶滅するという可能性もあるのである。

間違いなく、地球は将来人類絶滅の瞬間を用意している。人類にそれを避ける手段はない。できることは、その瞬間をどれだけ先に送るかだけなのだ。人類が救わなければならないのは「病んだ地球」、「傷ついた地球」ではなく人類自身である。守らなくてはならないのは、人類の生存が可能な現在の地球環境である。現在の私たちの生活のありかたが、人類史の長さを決定する。将来の世代のために私達はどうすべきなのか一緒に考えましょう。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 生物の生活：生命の維持・植物の物質生産・動物の個体群・社会・行動
2. 生態系：物質の循環・エネルギーの流れ
3. 人間による環境破壊：オゾン層の破壊・地球温暖化・酸性雨・熱帯雨林の破壊・化学物質汚染・ゴミ問題など（これらのうちの幾つか）

その他

意見発表の場を設けるので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。期末試験と平常点とで総合評価をします。教科書は未定。参考書はその都度紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 球 科 学 (1) 〔地球の歴史と未来〕	うわがわ まさひと 宇和川 正 人	短国・短英	4

講義のねらい

現在、私たち人類は「地球の支配者」として自負している。人類の能力が増え活動範囲が広がれば、考えなければならない環境問題は増大し、かつ、隣接する環境基質領域との総合的な考察が必要となってきた。

地球科学は、自然科学分野のなかで、地球に関するすべての領域を研究対象としている。その究極の目的は、水圏・大気圏を含めた地球の歴史と現状から、地球とそこに生息する生命の発展を理解し、その将来を的確に予測するところにある。

この講義では、私たち人類を主軸にして、現在に至る地球の自然システムの変遷をたどり、地球のあるべき将来像について考察する。あわせて、私たちの周囲（自然環境）の保全に関する諸問題について解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 水圏について：宇宙と水、地球と水、生命と水、治水と利水
 2. 大気圏について：大気の変遷、大気の汚染
 3. 岩石圏について：現代の地球観、開発による土地汚染
 4. 生物圏について：地球生態系（有機系と無機系の依存システムの認識）、生物汚染
 5. まとめ（地球白書）
- 前期に1. 2. 3. を、後期に4. 5. を予定している。

履修上の留意点

ノート、地図帳（高校で使った）を用意すること。出来れば、地球儀も。

成績評価の方法

テスト、レポートに出席を勘案して評価する。

教 科 書

教科書は使わない。

参 考 書 等

参考書はその都度紹介する。

そ の 他

講義を主とし、まとめてスライド、ビデオによる説明を入れる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地球科学 (2) (3) (4) 〔古環境の復元〕	い づ ぐ 郷 久 義 い づ ぐ 郷 久 義	短国・短英	4

講義のねらい

現在の地球上の自然環境は46億年に及ぶ悠久の地球史がたどった古環境の一断面である。まず現代の地球観を通してグローバル規模の自然環境全般と、災害・資源・環境の科学としての地学を考察する。次いで地球史の古環境を具体的に復元し、特に生物が関与してきた地球環境変遷史を探究し、今日の環境問題への関与について理解を深めると共に将来を展望する。

講義の内容・
授業スケジュール

現代の地球観（地球の姿、地球上に働く力、大陸移動説とプレートテクトニクス）
 災害と防災の地学（ハザードマップ、地殻変動、地震とその予知、火山災害と恩恵、海水面変動、気候災害と気候変動）
 資源の地学（観光の地学、アウトドアライフの地学、水資源の地学、鉱物資源、金属・非金属資源、化石燃料、資源の偏在性と将来性）
 古環境の復元法（地質・地形と古環境、地層と古環境、化石と古環境）
 古環境変遷史（地球史の編年、地球の誕生と生命の起源、原始地球の自然環境、二酸化炭素と酸素の起源、先カンブリア時代の生物進化、性の起源と多細胞生物の出現、無脊椎動物の発生と爆発的進化、進化の実験場、脊椎動物の発生と上陸、植物の上陸戦略、緑の大地の出現と石炭、古生代末の危機到来と生物大量絶滅、ジュラシックパークの自然環境、中生代末の危機と生物大量絶滅、哺乳類の繁栄、人類と氷河時代、縄文海進と縄文文化）
 地学と人間生活（環境・資源・防災の地学と21世紀の展望）

履修上の留意点

質疑応答や討論の時間を設け、活発な意見交換をする一方通行でない講義としたい。個々の学生が授業に積極的に直接参加するという意識をもって欲しい。

成績評価の方法

論述試験の予定。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

その都度指示し推薦する予定。

そ の 他

講義形式であるが、必要に応じてスライド、OHPを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地球科学 (5) (6) 〔自然景観の成り立ち〕	いちかわ きよし 市川 清 士	短国・短英	4

講義のねらい

「私たちが生活している周囲の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋はいつどのようにして出来てきたのであろうか？」この間に答えるために、地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちの理解を求める。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、気候変動やプレートテクトニクスなどの大きなスケールの話をしてゆく。後期は前期の内容をふまえて、南関東を中心とした、身近な自然景観の形成について具体的な話を行う予定である。

また、毎回の講義のはじめには、新聞に掲載されている自然環境に関する記事について解説・議論を行い、身近な環境の変化について考えて行く。

履修上の留意点

高校で使用した地図帳を用意すること。毎週、新聞を読んできるところを望みます。

成績評価の方法

授業への参加・レポート・学年末の試験を総合して評価を行う。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

参考書はその都度紹介して行く。

その他

講義を主体とし、スライド・OHP・ビデオによる説明を入れて行く。
また、可能であれば近くに自然観察（巡検）にゆく予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 (1) (2) (3) (4) (10) 〔自然と災害〕	うわがわ まさひと 宇和川 正 人	短国・短英	4

講義のねらい

「無人島には水害はない」。洪水があったからといって、必ず水害になるとは限らない。洪水が溢れても放っておけばよいのです。しかし、災害に脆い臨海地帯やデルタへの産業進出、人口集中によって、同じ異常自然現象を受けても、昔とは比較にならないほど大きい災害が発生するようになった。最近の自然災害は、科学・技術の進歩にも関わらず、さらに巨大化する傾向にある。加えて、大気汚染や水質汚染など新顔の災害の参入により、自然と人間の対応に根本的な見直しが必要されている。とくに、日本列島は「世界の災害国」といわれ、各種の自然災害が頻発する。自然災害研究の究極の目的は、防災・減災・制御の満足な策定にある。災害は自然現象と社会現象が絡み合って発生するものであるから、防災科学は、自然科学分野と社会科学分野を体系化した総合的なアプローチを必要とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 自然災害とは：災害の概念、典型的自然災害、災害誘因としての地象・気象・水象
2. 自然災害対策：非構造物的方法（予知、警報、避難）と構造物的方法（耐震設計、河川堤防、防潮護岸、防災・洪水調節ダムなど）
3. 自然災害の事例：台風、豪雨、噴火、地震、津波災害の実例説明
4. 環境破壊と自然災害：地球生態系のしくみ、防災のための環境保全、森の価値など
5. まとめ（自然災害白書）
前期に1. 2. 3を、後期に4. 5. を予定している。

履修上の留意点

ノート、地図帳（高校で使った）を用意すること。出来れば、地球儀も。

成績評価の方法

テスト、レポートに、出席を勘案して評価する。

教科書

教科書は使わない。

参考書等

参考書はその都度紹介する。

その他

講義を主とし、まとめて、スライド、ビデオによる説明を入れる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論(5) (6) (7) 〔環境と保全〕	うるし ばら かず こ 漆 原 和 子	短国・短英	4

講義の内容・
授業スケジュール

前期：我々を取りまく気候・地形・地質・河川などの自然環境のメカニズムについて説明する。これらの自然環境と人間の関わり方の歴史についてふれ、自然環境の受けた人間活動による不均衡について述べる。日本と中国、東南アジア、北米大陸、ヨーロッパを例に、人間活動による今日の環境問題を論じ、どのような保全をしているのか、どう保全すれば良いかを考える。

後期：次のような実例について述べる。オゾン層の破壊、酸性雨と森林・土壌・文化財、地球温暖化と海水準変動、石灰石利用と採石跡地の緑化、観光洞と二酸化炭素、洪水と河川改修、基盤整備事業と土壌流失、熱帯農業と土壌管理。

成績評価の方法

期末テスト、レポートによって行う。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

その都度指示する。

そ の 他

講義を原則とする。適宜スライドをとりいれ、プリントの配布をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論(8) (9) (11) 〔宇宙から見た地球環境〕	しの はら まさ お 篠 原 正 雄	短国・短英	4

講義のねらい

工場が周囲を汚染する公害問題から始まって、今日では全地球的な環境問題が議論されている。人類の活動が、物質循環においてもエネルギー循環においても惑星規模に達したことの当然の結果である。本講では個別の環境問題ではなく、「地球環境」とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを論じる。

太陽系の惑星の一つである地球の自然環境は46億年の太陽系の歩みの結果形成されてきた。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にある。また、過去30年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきた。本講では、現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち宇宙の視点から地球の自然環境を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、地球環境の支配的な要因である太陽放射とその役割について学ぶ。太陽放射の変動、地球軌道の変化、太陽放射を受ける側の大気、海、生物の役割を学び、金星などと比較しながら、オゾン層、地球温暖化の問題を考える。

後期は、太陽、地球磁場と自然放射線、月の影響、地球の過去と未来等のテーマを取り上げる。

成績評価の方法

学期末に行う筆記試験により、平常点を加味する。

教 科 書

『環境の科学』学会出版センター

参 考 書 等

講義の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然誌(1)(2) 〔現代の自然像〕	宇和川正人・漆原和子 篠原正雄・清水善和	短国・短英	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、ここにいるのか？ 大宇宙の中の人類の存在の意味を問う本質的には哲学的な問に20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が、100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、今世紀の科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。

本講義では自然科学教室の専門を異にする4人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。地球の未来に向けていかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

教養教育科目
自然分野

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員4人により、1人5～6回の輪講形式で行われる。

宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。

第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄

- (1) 宇宙の起源(自然の階層構造、膨脹する宇宙、ビッグ・バンと元素の起源)
- (2) 星の進化と物質の進化(星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域)
- (3) 太陽系と地球の起源(太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物)
- (4) 太陽と地球の進化(地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境)
- (5) 宇宙の中の地球(太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系)

第2講 生命の起源と進化 清水善和

- (1) 生命の起源(生物体を作る物質の内容と特徴、遺伝子とタンパク質合成、生命起源仮説)
- (2) 生物の進化と進化論(生物進化35億年史、現代進化論)
- (3) 生物の多様性(世界の生物、植生帯、動植物分布、分類体系)
- (4) 生態系(生態系と現存量、食物連鎖、物質循環)
- (5) 大洋島の生物たち(進化の実験場・大洋島における生物のユニークな姿の紹介)

第3講 大地の歴史と人類 漆原和子

- (1) 古生代～中生代以降のプレートテクトニクスによる陸域の運動
- (2) 第四紀の気候変化(氷期・間氷期)とそれに伴う自然現象
- (3) 人類の進化と気候変化
- (4) 第四紀から現代に至る日本列島の地殻変動と火山活動
- (5) 自然現象と人間活動との対応、人間活動により生じた現在の問題点

第4講 地球水圏のあらまし 宇和川正人

- (1) 宇宙と水；地球(Earth)という水惑星(Water Planet)
- (2) 地球と水、生命と水
- (3) 水の二相を考える；治水と利水の史的考察
- (4) 資源としての水；日本列島ウォータープラン
- (5) 現代人と水圏の関わり(スライド映写)

成績評価の方法

各担当者毎に最終日に小テストやレポート等の方法で評価し、最後に4人の採点を合算して成績評価とする。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (1) 〔微積分学入門〕	三好重明	短国・短英	4

講義のねらい

数学はすべての科学に対してその理論に記述のための言語を提供し、それらの科学理論が成立する基盤となっている。したがって、すべての科学と呼ばれる学問や、それらの応用を学ぶために数学の知識と技法、考え方を身につけることは必須である。しかし数学は他の科学に道具として提供されるためにだけあるのではない。むしろ科学の諸分野、さらには人間の営みのあらゆる側面に於いて、数学的構造は至るところにあるのであって、数学はそこから生まれ育ってきたものである。そして、数学の世界と言うものが存在する。それはあらゆる人間の営みに根を張りながらもなお独立した一つの世界である。そこには動機があり、問題が現われ、探究、実験が行われ、多くの失敗の後、様々な技法が開発され解決へと向かう。そしてさらに一般化や、関連した問題が認識され、それが探究されていく。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、他の科学のための道具としての準備だけでなく、この様な数学の世界を少しでも示してみたいと思う。具体的にはいわゆる解析学（微積分学）と呼ばれるものの入門部分を解説することになる予定である。解析学は変化の様相を捉えるための基本的な言語を与えるものであって、全ての諸科学の基盤であるばかりでなく、人類が発見した最も重要な文化の一つである。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

評価は前期末（中間試験）と後期末（期末試験）の2回の筆記試験及び授業時間中に適宜行う演習によって行う。

教科書

教科書は講義の初めに指定する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (2) 〔線型代数学入門〕	三好重明	短国・短英	4

講義のねらい

数学はすべての科学に対してその理論に記述のための言語を提供し、それらの科学理論が成立する基盤となっている。したがって、すべての科学と呼ばれる学問や、それらの応用を学ぶために数学の知識と技法、考え方を身につけることは必須である。しかし数学は他の科学に道具として提供されるためにだけあるのではない。むしろ科学の諸分野、さらには人間の営みのあらゆる側面に於いて、数学的構造は至るところにあるのであって、数学はそこから生まれ育ってきたものである。そして、数学の世界と言うものが存在する。それはあらゆる人間の営みに根を張りながらもなお独立した一つの世界である。そこには動機があり、問題が現われ、探究、実験が行われ、多くの失敗の後、様々な技法が開発され解決へと向かう。そしてさらに一般化や、関連した問題が認識され、それが探究されていく。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、他の科学のための道具としての準備だけでなく、この様な数学の世界を少しでも示してみたいと思う。具体的にはいわゆる線型代数学と呼ばれるものの入門部分を解説することになる予定である。線型代数は比例関係の概念を多次元量の間一般化したものと捉えることができ、全ての諸科学の基盤の一つとなっている。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

評価は前期末（中間試験）と後期末（期末試験）の2回の筆記試験及び授業時間中に適宜行う演習によって行う。

教科書

教科書は講義の初めに指定する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
数 学 (3) 〔現代数学入門〕	ふく だ りん いち 福 田 賢 一	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会現象に応用例を求め具体的事例から無理のない抽象化を計り、理論体系の理解、実的な応用力の養成を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 論理の基礎 2. 論理の応用 3. 線形代数 4. 線形計画法 5. 幾何学 6. 微分法
7. 積分法 8. 微積分法とその応用 9. 確率現象とその捉え方 10. 種々の応用

履修上の留意点

高校2年程度の平均的な学力があれば十分理解できるが、数学は系統性の強い学問であるから、基本的な事項を確実に理解する必要がある。

成績評価の方法

期末試験、レポート、小テスト等の結果を総合的に判定する。

教 科 書

教科書は使用しない、プリントを配布する。

参 考 書 等

参考書等はその都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 数 学 〔情報と論理〕	み よし いげ あき 三 好 重 明	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

この講義では、コンピュータ科学やコンピュータによる情報処理などについて学ぶ際の数学的部分の基礎について解説を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

したがって、基本的な数学の言葉の説明から始めて、論理代数と論理回路、アルゴリズムとその存在、計算量の問題、等を解説する予定である。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

評価は前期末と後期末の2回の試験によって行う。

教 科 書

教科書は講義の初めに指定する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
物 理 学 (1) 〔混沌と調和の世界〕	たけ だ よう いち 竹 田 洋 一	短国・短英	4

講義のねらい

我々は鮮やかな色とりどりの花々を見てはその美しさに嘆息し、心地よい音楽を聴けば無上の喜びを感じる。調和とは美の代名詞と言ってもよかろう。理路整然とした規則に従う天体の運行もまた然り。この自然界の調和とその美に物理学的な手法でメスを入れて探求せんとすることが本科目のねらいの一つである。従ってまず「音とは何か」、「光とは何か」、の基礎物理学の初歩知識を解説してから、力学、光学、音響学、色彩論、などに話を発展させて行くつもりである。これを前期の講義で扱う主題にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

もっとも自然の世界はハーモニーだけで片付くほど簡単ではないのが実状である。20世紀の科学の発展は目覚ましいものであったが、その中でも特に比較的最近になってとみにその重要性が認識されるようになった分野はカオスとフラクタル、つまり乱雑挙動と自己相似集合の理論である。およそ調和とは無関係であるかのように見えるこの概念は、まさに自然界の構造を理解する重要な鍵であることがわかり、人々に大きなショックを与えた。そして数学や物理学のみならず、天文学、地理学、建築学、更には美術や哲学の分野にさえも大きな影響を与えている。このテーマを本講義のもう一つの柱として後期に取り扱う予定である。あまり微細に入った理論的なことは避け、自然科学の世界や他の分野にも見出されるカオスとフラクタルの実例をわかりやすく紹介することを心がけたい。

履修上の留意点

履修については物理学や数学の特別な予備知識は要求しないが（基礎から説明するつもり）、若干の簡単な数式は使用せざるを得ないのでその旨了解されたい。また出席は毎回チェックしようと思っている。

成績評価の方法

評価については、①前期終了時に行う中間試験の成績、②年度末に行う定期試験の成績、③授業の出席率、の三要素を合わせて判定することとしたい。

教 科 書

教科書は使用しない。参考書は授業の中で折りに触れて紹介する。

そ の 他

最近では高機能のマルチメディアパソコンが情報教育センターに導入されているのでパソコンを用いた実習（色彩や音の合成、フラクタル図形のシミュレーションなど）も時折行う予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
物 理 学 (2) 〔 光 と 物 質 〕	しの 篠原 まさ お 雄	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

地上の天文学者は、天体から来る光を分析して、天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取る。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきた。本講では「光とは何か、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定されず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及ぶ。講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見るとはどのようなことを体験していただくことにある。数式は物理に不可欠な言葉であるが、大切なのは数式により表現された意味である。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識は必要としない。

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義する。

波としての光
光線 レンズ 蜃気楼 波の反射と屈折 光波 シャボン玉の色

電磁波としての光
電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気 電波望遠鏡 X線とガンマ線

色とは何か
色即是波長？ 虹は七色か 三原色 茶色い光の波長はいくら？ 目と光

光子としての光
熱と光 星の色 人の光 原子の構造と光 光波は粒子？ 電子は波

光と宇宙
光速 ブラックホール 光の旅・太陽発地球経由宇宙行き 生命：光の流れの渦

成績評価の方法

平常点で評価する。期末試験は行わない。

教科書

ファン・ヒール、フェルツェル『光とは何か』講談社ブルーバックス 本体価格¥951

参考書等

ニュートン『光学』岩波文庫 その他、講義の中で適宜紹介する。

その他

講義を中心とするが、理解を深めるために問題を考えてもらうこともある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
化 学 (2) 〔衣食住の化学〕	さいとう ゆうし 斉藤 佑 尚	短国・短英	4

講義のねらい

生活、特に食品、健康と関係の深い事柄を「化学」の言葉で理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

まず化学の基礎的な事柄を理解できるように、原子、分子、イオン、周期律表などに関する基礎的な知識を整理して、易しく解説する。また酸、アルカリ、酸化、還元、中和などの一般的な化学用語の平易な解説を行う。さらには主に私たちの体の中で実際に進行する化学反応を系統的にそしてなるべく簡単に且つ分りやすく解説する。その後、生体中の物質の化学的な性質を概説し、栄養、健康、さらには疾病に関する事柄を「化学」の言葉で解説する。その他には、遺伝子および遺伝に関しても「化学」の立場から理解を深めるよう解説する。さらに遺伝子の理解を通して、最近のバイオテクノロジーに関するトピックスについても適宜解説する予定である。とにかくこの授業を通じて、「化学」のことを身近に感じ、授業を楽しんでもらいたい。

履修上の留意点

化学に対する基礎的な知識を特別に必要としないが、単位を取得するのみが目的ではない熱心に積極的に授業に参加する学生を特に歓迎する。出席を取った直後に退室するような学生には絶対に履修して欲しくない。

成績評価の方法

出席点を重視する。さらに年間に複数回特定の課題に関してレポートを課し、それらを総合して評価する。

教 科 書

授業の参考になるプリントを適宜配布するので、教科書は特別に指定しない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

そ の 他

とにかく本授業に参加して、余り馴染みの無い「化学」と言う分野を身近に感じ、「楽しんで」欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宇 宙 科 学 (1) 〔宇宙像の歴史の変遷〕	たけ だ よう いち 竹 田 洋 一	短国・短英	4

講義のねらい

古人は毎夜星空を見上げることを常としていた。そして大理石に埋め込まれたかのように普遍に輝く恒星の印象的な並びには古来語り継がれてきた神話の主人公達をなぞらえ、その間を惑うが如く縫いつつ生き物のように不思議に滑り動く惑星こそ地上世界の運命を支配する神々に違いないと畏れ敬った。絵画を見るかのような調和の様式美に満ちた夢のような世界。こういった天界に対する素朴な驚きと信仰心こそが古代の人々の宇宙観を理解する鍵となる。

時代は流れて近代。人間の未知なものに対する限りない興味は宇宙を全く別のアプローチから探求するようになった。そして自然科学の発達と観測技術の進歩が明らかにした宇宙像は別の意味で驚異的なものであった。ビッグバンと膨張する宇宙。爆発する銀河。何物も吸い込んでしまうブラックホール。すなわち猛烈な爆発と極限状態の物質が主役のダイナミックな阿鼻叫喚の世界だったのである。

本科目のねらいとするところは、一方では古代の人々の純朴な感情を彼らと共有しつつ、他方では現代科学の立場から見た驚くべき宇宙像を知ってもらうことにある。一つのキーワードで言い表すとすれば「センス・オブ・ワンダー (sense of wonder)」であろう。つまり星空とこの我々の宇宙に対する素朴な驚きを自分自身で感じ取ってほしい。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期は太陽系の天体(月や惑星など)に関する天文学を中心に講義する。暦や占星術などの古典的な話題や古天文学にも触れたい。後期は星座と神話に関する歴史的话题も含めながら恒星の天文学を解説し、そして銀河宇宙の天体物理学的抽象について解説する。どちらかといえば前期よりも後期の方が自然科学的色彩の濃い話になる。

成績評価の方法

基本的には前期終了時に行う中間試験と年度末の定期試験の成績を合わせて評価する。また多少は出席状況(随時チェックする予定)も加味しようと思う。

教 科 書

教科書は使用しない。参考書は授業の中で折りに触れて紹介する。

そ の 他

講義が中心の授業になるが、スライドやビデオの視聴覚教材も機会に応じてなるべく用いてみたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宇宙科学 (2) 〔星と銀河〕	しの 篠原 まさ お 雄	短国・短英	4

講義のねらい

観測装置やコンピューターの発展に伴い、最近の宇宙の研究は急速に進展している。本講では、比較惑星論など地球物理学との境界領域も含めた広義の現代天文学の描く宇宙像を、研究の手法と併せて紹介する。

講義の目的は、宇宙がかつて考えられたような永遠不変、不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であることと、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただくことにある。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、恒星について講義する。初めに、恒星の一つである太陽をとりあげ、その構造、エネルギー源、進化を論じ、太陽活動の地球環境への影響に関する研究を紹介する。次に、恒星一般について、研究の方法、恒星の分類、その結果わかってきた恒星の進化についてのべる。最後に、太陽系の起源について最近の説を紹介する。

後期は、銀河系および宇宙の起源と進化について講義する。銀河系の中で、星間物質から星々が生まれては、再び星間物質へと戻っていくことを繰り返す中で、物質が進化してきた。この過程の重要な現場である星生成領域の研究を紹介しつつ、前期に触れた太陽系の起源の問題を星生成領域の研究の視点から捉えなおす。

最後に、宇宙の歴史と我々人類の存在との深いかかわりについて述べ、宇宙生物学や地球外文明探査の可能性について考える。

成績評価の方法

学期末の筆記試験による。平常点を加味する。

教科書

比田井昌英他『天文・宇宙のデータブック』東海大学出版会 本体価格¥1,500

その他

講義を中心とするが、天体のスライドなどを多用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (1) 〔コンピュータの実際〕	みよししげあき 三好重明	短国・短英	4

講義のねらい

コンピュータとは何かという問いから始めて、実習を交えながらコンピュータというものについて概説していく。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータとは何か、その構成要素は何か、シリコンや金属の塊に過ぎないコンピュータがどういう仕組みで計算できるのか、コンピュータの動作原理（アルゴリズム）はどういうものか、プログラム言語とは何であってどうして必要なのか、ハードウェアとソフトウェア及び応用ソフトウェアの役割、プログラム言語とプログラミング、等の簡単な解説の後に実際にコンピュータを操作する実習として、ホームページを記述するHTML言語の解説と演算及び簡単なプログラミングの演習をやりたい。時間が許せばワープロや表計算などの応用ソフトウェアの実習も行えるかもしれない。プログラミングにはJAVAを使ってみよう。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

評価は前期末（中間試験）と後期末（期末試験）の2回の筆記試験及び演習（授業時間中に適宜行う）によって行う予定である。

教科書

教科書は講義の初めに指定する予定である。

その他

実習のため計算機室で講義を行うが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (2) (3) (4) (6) 〔コンピュータの実際〕	うえはらりゅうへい 上原隆平	短国・短英	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理を学ぶ。実習を交えながら現在のコンピュータネットワークの上で実現されているさまざまな機能を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータとはなにか、どのようなもので構成されているか、という金物的な話から、そのうえで実現され、実行されるソフトウェアとはどのようなものか、という話、さらにはコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネット上ではどのようなサービスが利用できるのか、という話まで、実習を交えて行う。ソフトウェアの背景となるプログラミング言語とプログラミング、数学的バックボーンであるアルゴリズム論などにも途中で簡単にふれる。インターネット上のサービスとして、電子メール、オンラインニュース、WWWなどのサービスを（可能ならば）実際に利用する。最終的にはHTMLを用いたホームページの作成を通じて、構造を持った文とは何かを知る。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとす。また状況によっては、コンピュータの利用申請が必須になる場合もある。

成績評価の方法

評価は前期末（中間試験）と後期末（期末試験）の2回の筆記試験および演習（授業時間中に適宜行う）によって行う予定である。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (5) 〔コンピュータの原理〕	みよし けあき 三好重明	短国・短英	4

講義のねらい

コンピュータとは何かという問いから始めて、実習を交えながらコンピュータというものについて、その原理を概説していく。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータとは何か、その構成要素は何か、シリコンや金属の塊に過ぎないコンピュータがどういう仕組みで計算できるのか、コンピュータの動作原理は（アルゴリズム）はどういうものか、プログラム言語とは何であってどうして必要なのか、ハードウェアとソフトウェア及び応用ソフトウェアの役割、プログラム言語とプログラミング、論理代数と論理回路、情報の表現、等の簡単な解説の後に実際にコンピュータを操作する実習として簡単なプログラムを書き（プログラミング）、それをコンピュータに実行させることをやりたい。プログラミングにはJavaを使ってみたい。時間が許せばコンピュータネットワークに関する話題にもふれたい。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

評価は前期末（中間試験）と後期末（期末試験）の2回の筆記試験及び演習（授業時間中に適宜行う）によって行う予定である。

教 科 書

教科書は講義の初めに指定する予定である。

そ の 他

実習のため計算機室で講義を行うが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (7) 〔コンピュータの原理〕	うえはら りゅうへい 上原隆平	短国・短英	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理を学ぶ。実習を交えながら現在のコンピュータの上で実現されるソフトウェアについて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータとはなにか、どのようなもので構成されているか、という金物的な話から、そのうえで実現され、実行されるソフトウェアとはどのようなものか、という話まで、実習を交えて行う。コンピュータが動作するために不可欠であるソフトウェアがどのように構成されるかということを中心に学ぶ。具体的にプログラミング言語Javaをとりあげ、これを使った簡単なプログラミングを行う。このプログラミングを通じて、数学的バックボーンであるアルゴリズム論、論理代数などについても学ぶ。またインターネット上の各種のサービスについても簡単にふれ、最終的には動くホームページを作成する。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。また状況によっては、コンピュータの利用申請が必須になる場合もある。

成績評価の方法

評価は前期末（中間試験）と後期末（期末試験）の2回の筆記試験および演習（授業時間中に適宜行う）によって行う予定である。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する予定である。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人類学 (1) (2) 〔人類の進化〕	えん とう ばん り 遠 藤 萬 里	短国・短英	4

講義のねらい

人類の進化について理解するには、化石が多く発見されているが、それでも足りない。しかも化石は骨と歯しかなく、生きた身体がどのようなものであったかを推定するときは背景となる現生人に関する生物学的・基礎医学的知識がなければならない。したがって、その知識を解説したうえで、化石人類の進化史を述べる。

講義の内容・授業スケジュール

初めに、人類の特異性を話し、次いで人類の分類学的位置について述べる。それから現生人の諸器官系における他の哺乳類に比べての特徴について述べる。その知識の上に立って、化石人類の進化史を解説する。この部分は複雑でわかりにくい。そのため、この部分だけは教科書を用いるので、そのときは必ず持参すること。

履修上の留意点

スライドで具体的なイメージを理解してもらうので、できるだけ前の席にすわること。

成績評価の方法

年度末の試験で行なう。それ自体は難しい問題ではない。人類学に対して知的好奇心をもっていただきたい。

教科書

遠藤萬里著 『人類学百話一話』 てらべいあ
小さな出版社なので、一般の本屋では入手できないことが多い。そのときは下記に連絡すること。
てらべいあ 〒179-0072 東京都練馬区光が丘3-8-9-1001
電話 03-3939-3427

その他

できるだけ講義を面白くするつもりなので、できるだけ毎回出席していただきたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (1) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	たか ぼし よし ひろ 高 橋 良 博	短国・短英	4

講義のねらい

基礎的な心理学の概論を学ぶ人を対象にして、日常的な問題に即しながら、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間の行動生物学的研究や、環境心理学的研究などのトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の人間行動に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教科書

鈴木 清 編 『人間理解の科学 ― 心理学への招待 ―』 ナカニシヤ出版 ¥2,100

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (2) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	よこ 横 やま 山 つよし 剛	短 国・短 英	4

- 講義のねらい** 心理学の主要な領域・対象・方法について、基礎的な知識を解説し、人間の行動・心の動きの理解を深めるよう考えていく。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前半は、感覚知覚、学習、記憶、行動などを取り上げていく。そして後半は、感情とイメージ、パーソナリティ、成長と発達、心の健康などを取り上げていきたい（詳細な講義スケジュール・成績評価の方法については、最初の授業時に提示する）。
- 履修上の留意点** 授業中、感じたこと・体験したことを書いてもらうことも予定しています。“素人考え”ですので、積極的に参加して下さい。コミットしていくことで、自分の心の動きを察知できるということもありますから。履修しようとする方は第一回より必ず出席し、教科書を持参して下さい。
- 成績評価の方法** 平常点＋筆記試験
- 教科書** 山内宏太郎ほか『はじめての心理学』北樹出版
- 参考書等** 霜山徳爾編『臨床心理学』学術図書出版、中村昭之編『心理学概説』八千代出版
- その他** 他、プリント資料、VTR、スライドも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (3) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	やま 山 きし 岸 なお 直 き 基	短 国・短 英	4

- 講義のねらい** 人は夜明けまでテレビゲームにはまり、二日酔いになってもう酒は飲まないと後悔してもまた大酒を飲んでしまう。また、なぜか試験前にだけあわてて勉強をします。人はなぜこのようなことをするのでしょうか。心理学はこれまで人間およびそれ以外の動物の行動について膨大な基礎的、応用的研究を行ってきました。そこで得られた知見を利用することによって上記のような疑問に答えることができます。
本講義では人間およびそれ以外の動物についての研究を紹介するとともに、そこから得られた知見を日常生活にあてはめて考えることを目的とします。なお授業ではビデオやOHPなどを使用する予定です。
- 講義の内容・授業スケジュール** 1回目の授業時に授業スケジュールのプリントを配布する。
- 成績評価の方法** 小テストおよび年度末の試験により成績を評価する。
- その他** ビデオ、OHPを使用する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (4) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	かる へ部 幸 浩 <small>かる へ部 幸 浩</small>	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

「心理学」という分野は、皆さんが大学に入学してから初めて目にする科目だと思います。心理学という名称は一見魅力的に見えませんか？中にはこの科目を履修することで人の心が読めるようになったり、超能力や超自然現象の話が聞けるのではないかと考える人もいるのではないのでしょうか。残念ながら心理学はこれらの領域とは違います。では、どう違うのか？

心理学はヒトの、見る・聞く・感じる・考える・覚えるなどといった、日常生活におけるさまざまな行動について分析したり、あるいは認識のメカニズムを探るといったアプローチを通じて人間を理解しようとする学問だと言えます。

講義では、非常に広い範囲を持つ心理学の各領域について概観し、その基礎的知識を解説するとともに、心理学の採る「科学的アプローチ」とはどのようなものであるかを理解してもらいたいと考えています。

講義の内容・
 授業スケジュール

心理学の領域は多岐に渡っています。ですから、前期・後期を特に区別しません。基本的には通年で、心理学の代表的な各領域について、一領域あたり1～3回の講義時間でお話したいと思っています。

具体的には、初めて心理学に接する皆さんのために、まず「心理学とはなにか」といった項目から出発し、「史的概観」や「心理学の研究方法」などをまじえて講義します。次に、「外界を知るはたらき（感覚・知覚）」、「行動の変容（学習）」、「記憶の世界（記憶）」、ひとを動かすコントロールするもの（動機づけ・感情と情動）」、「ひととしてのまとまり（パーソナリティ・知能）」、「こどもは小さなおとな？（発達）」、「社会的行動（社会心理学）」、「認識のメカニズムを探る（認知）」といった各領域について解説します。主に従来研究成果をもとに、できるだけ私達の日常生活に関連づけながら解説したいと考えています。

また、講義の間に適宜、皆さんに実験を行ってもらい（年間で3～4回程度を予定）、心理学の研究方法にはかせない実験的研究も体験してもらおうと思っています。昨年度は、重さの弁別、鏡映描写、系列位置学習、記憶の変容などについて実験を行いました。

履修上の留意点

基本的には毎回の出席はとらないつもりです。しかし「学びたい人が学びに来る」という方針にするつもりですから、出席する以上は真剣に授業に参加してください。

成績評価の方法

原則として、学年末の筆記試験の成績によって評価します。しかし、実験への参加や実験レポートの提出、その他の提出物なども参考にして、総合的に評価します。

教 科 書

- ・中村 昭之編『心理学概説』八千代出版
- ・その他、授業中に配布するプリント類

参 考 書 等

参考書は必ず購入しなくてはならないということではありませんが、理解をより深めるために読んでみることをお勧めします。

- ・斎藤 勇編『心理学ビギナーズトピックス100』誠信書房
 初めて心理学を学ぶ人にも非常にわかりやすい入門書。日常生活の中での現象と心理学とがどう関係しているかを知るのによい。トピックを細分した他の『ビギナーズ』シリーズが複数ある。
- ・田島信元編『心理学キーワード』有斐閣双書
 ある一つのテーマについて、見開き完結型でわかりやすく解説した入門書。
- ・梅本堯夫・大山 正編著 新心理学ライブラリー1『心理学への招待』サイエンス社
 より深い理解のために。図やグラフ、写真などが多く示され、教科書としても優れている。

そ の 他

一般的な講義のほか、ビデオ教場の利点を生かし、ビデオやOHCなどを多く活用して皆さんが興味を持てるような授業を行おうと考えています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (5) (7) 〔人間関係を考える〕	たか はし よし ひろ 高 橋 良 博	短国・短英	4

講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教 科 書

鈴木 清 編『人間理解の科学—心理学への招待—』ナカニシヤ出版 ￥2,100

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (6) 〔人間関係を考える〕	すず き じゅん いち 鈴 木 順 一	短国・短英	4

講義のねらい

心理学全般の幅広い知識の概念学習は、個人的にできるので自宅でしていただきます。

授業では、主として性格心理学や臨床心理学を背景に、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いを鏡として自己を見つめ、自分や他人の性格を理解し、自己成長するための体験学習をしていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教 科 書

中村昭之編『心理学概説』八千代出版 1,500円

川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』

— 自己理解ワークブック — ナカニシヤ出版 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (8) 〔人間関係を考える〕	やま ぎし なお き 山 岸 直 基	短国・短英	4

講義のねらい

人は夜明けまでテレビゲームにはまり、二日酔いになってもう酒は飲まないと後悔してもまた大酒を飲んでしまう。また、なぜか試験前にだけあわてて勉強をします。人はなぜこのようなことをするのでしょうか。心理学はこれまで人間およびそれ以外の動物の行動について膨大な基礎的、応用的研究を行ってきました。そこから得られた知見を利用することによって上記のような疑問に答えることができます。

本講義では人間およびそれ以外の動物についての研究を紹介するとともに、そこから得られた知見を日常の人間関係や生活にあてはめて考えることを目的とします。なお授業ではビデオやOHPなどを使用する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

1回目の授業時に授業スケジュールのプリントを配布する。

成績評価の方法

小テストおよび年度末の試験により成績を評価する。

その他

ビデオ、OHPを使用する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (9) 〔心を科学する〕	たか はし よし ひろ 高 橋 良 博	短国・短英	4

講義のねらい

心理学を初めて学ぶ人を対象にして、なるべく日常的な問題に即しながら心理学の主な領域と、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。具体的には、心理学の課題／感覚・知覚／学習などの基礎的知識などを取り上げる。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の各領域に焦点をあててゆく。内容としては、記憶／思考／言語／動機づけ／情動／人格などの領域や治療心理学など臨床関係の説明にもふれたい。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを総合して評価を行う。

教科書

鈴木 清 編『心理学—経験と行動の科学 第2版』 ナカニシヤ出版 ￥1,950

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (10) (11) 〔心を科学する〕	ほり うち まさ ひこ 堀 内 正 彦	短国・短英	4

講義のねらい

人間理解のためのひとつの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは、一個人の性格や人格の理解も含むがそればかりではない。例えば、物の見えかたや判断の仕方など、われわれ人間が一般に持つ特性を知ることもそこには含まれる。この講義では、心理学の様々な研究の紹介を通して「人間にはこんな面白い一面があったのか」というような人間に対する科学的な理解の足がかりとなることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

心理学には多くの研究領域があるが、その中から感覚・知覚・記憶・学習・思考・動機・情動・発達・人格・社会・臨床などについて講義する予定である。講義の中では、心理学研究で扱う実験や調査（例えば、錯視図形・ハトのキーつき・推論課題・人格テストなど）を可能な限り多く取り入れ、実際に見たり、体験してもらおう予定である。

履修上の留意点

この講義だけでなく何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中では「当たり前」のことと捉えているようなことに対して、素朴な疑問とも言うべき問題意識を抱くが大切であると考える。このような問題意識を持って授業に臨むことを希望する。なお、講義中の私語は厳に慎しまれたい。

成績評価の方法

レポートと筆記試験を1回ずつ行う予定である。また、毎回の講義の最後に簡単な質問に答えてもらったり、感想や質問・疑問を記述してもらい、これを出席カードにかえることを検討している。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

講義の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (12) 〔心を科学する〕	なか まる しいる 中 丸 茂	短国・短英	4

講義のねらい

心理学は、人間の行動（言語を含む）を客観的に研究する学問である。心理学は、自然科学の一分野であり、行動の科学と定義され、行動の理解・説明・予測・制御を目的とする。本講義では、科学的観点より、日常場面での人間の行動を分析し、得られたデータの解釈の仕方といった科学的方法を身につけることを目的として行われる。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、科学論を中心に、心理学における中心的なパラダイムを紹介し、後期は、それらの日常生活への応用についての話を行う。また、講義は、下記のスケジュールにしたがって進めていく予定である。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. オリエンテーション | 心理学って何？ |
| 2. 血液型と性格 | 本当に関係あるの？ |
| 3. 科学としての心理学 | 科学って何？ |
| 4. 行動分析学Ⅰ | ラムちゃんの電撃 |
| 5. 行動分析学Ⅱ | バナナとリンゴ |
| 6. 行動分析学Ⅲ | 月に向かって吠える |
| 7. 認知心理学Ⅰ | マジカルナンバー |
| 8. 認知心理学Ⅱ | カクテルパーティ |
| 9. 認知心理学Ⅲ | 悩めるオマタかおる |
| 10. 心霊現象の心理学 | 幽霊は乗り物がお好き？ |
| 11. 社会心理学Ⅰ | 行動と心は一致するか？ |
| 12. 社会心理学Ⅱ | 他人を好きになる時 |
| 13. 無意識の心理学 | UFOは存在するか？ |
| 14. 人格心理学 | 社交的な人は朝に弱い |
| 15. 超能力の心理学 | 真実と解釈 |
| 16. 感情の心理学 | 本当の気持ちって何？ |
| 17. 所信の心理学Ⅰ | 知識は人類を駄目にする！！ |
| 18. 所信の心理学Ⅱ | マインド・コントロール |
| 19. 宗教の心理学 | 神社の石段 |
| 20. スポーツ心理学 | イメージトレーニング |

履修上の留意点

講義は、プリント中心に行い、毎回、参考文献や図書の紹介を行う。したがって、一冊の本を読むは本講義の内容を把握できるというのではなく、毎回の知識の積み重ねが必要である。

成績評価の方法

筆記試験とレポートの提出が、それぞれ年2回あり、成績はそれらの絶対評価により行う。試験への参加・不参加、レポート提出・未提出は、学生の自由であり、得点は累積データとして処理される。また、心理学の実験や調査に参加することも、心理学を学ぶために重要であり、得点として加算される。

教 科 書

なし

参 考 書 等

Super String SR21編 『あしたのジョー「心理学概論」』(1995) 中央公論社
 中村昭之編 『心理学概説』(1982) 八千代出版
 ジルバルド、P.G. 『現代心理学Ⅰ～Ⅲ』(1983) サイエンス社
 佐藤方哉 『行動理論への招待』(1976) 大修館書店
 ベネット、A.他 『認知心理学への招待』(1984) サイエンス社 その他

そ の 他

授業は、ビデオなどを使用し、簡単な実験を体験してもらいながら行っていく。
 学生-教師間のコミュニケーションは、講義終了後の感想文（悪口大歓迎！！）で行うので、出来るだけ提出しよう！！

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎物理学 (前期)	し み だ よ 清 水 忠 良	短 放 1 選	2

講義のねらい

この科目は新入生に向けて開講されるものである。最初に今まで学習した内容の復習をする。近代(20世紀)の物理学で特に著しく医療に係わりの深いX線の発見と原子構造(主に水素)についてを材料にする。とりあえず、これらの世界の言葉の渦の中に浸っていただく。特に、現象と実験の関係を実際の歴史から採用する。予備知識は特に必要はない。問題意識としては百科事典、その他のメディアの情報には、簡単な基礎概念に対しても様々な表現があり、独特の言い回しがあること、常識的に信用があるとされている情報にもピンからキリまであること、信頼できる情報とはなんだろうか?、などを身をもって体験してほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

先ず、数回にわたって、学生に担当を決めて、以下の質問事項について調べ、発表してもらおう。このときには何を参考にしてもよい。特に重視するのは、結果がどのような手段を用いて結果が得られたかを知ること。

- X線の発見
- 電子の発見
- 水素スペクトル
- ネオンの色
- 光電効果
- 原子核
- 周期律表と原子構造
- 単位系
- その他

履修上の留意点

特になし

成績評価の方法

筆記試験・レポートおよび出席により評価する。

教 科 書

特になし

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎化学(後期)	た じ ま 田 島 隆	短放1選	2

講義のねらい

昨今の高校における理科の教科の履修方法では「理科Ⅰ」で化学の初歩を学んでも、「化学」を履修せず、他の科目で単位を取得してもよいので「化学」を履修してこない学生が多々いる。これ等の学生にとっては必修科目「放射化学序論」の講義の理解が困難な者が多い。「放射化学序論」では、出来る限り初歩的な、基礎レベルから講義をしているが「化学」を履修してきた学生との格差を埋めるには充分とは言えない。

そこで、化学の学力が充分ではない学生、「放射化学序論」を聞いても理解のできない学生のために、その補習として演習形式により行う。化学の基礎的事項から「放射化学序論」で講義した重要事項についてまでを、問題として作成し、それ等の問題を解くことにより、これら基礎事項、重要事項を理解せしめ、応用力が身につくようにする。

講義の内容・授業スケジュール

a) 原子、分子、モルに関する問題

化学で量的に物質や化学変化を扱う時に基本となるモルの概念とその扱い方が十分に理解されていないと、化学そのものが理解できない。従ってモルを自由に使いこなせるようにする。

b) 化学結合に関する問題

分子軌道法の考え方について高校では殆んど扱っていない。物質の構造や性質を考える上では、この分子軌道法を導入することで理解しやすくなる。また水素結合も重要でありこれ等化学結合を詳細に理解できるようにする。

c) 化学平衡、電離平衡、pHの計算問題

質量作用の法則は不可逆反応でなければ広く通用する法則であって、それを十分に理解した上で、pHの計算法に関する問題を解く。緩衝溶液の緩衝能の計算も行う。

d) 酸化還元反応の式の作り方

酸化数についてのルールについては記憶して、その酸化数を用いて酸化還元反応の量的関係を電子の移動数として理解させる。

e) 標準電極電位と電位差の計算問題

酸化還元反応を電池と考え、その電位差を計算して、反応の進行について考える。

f) 反応速度と活性化エネルギーの計算

化学反応を理解する上でも、放射性核種の壊変についても、また生体触媒である酵素反応についても広く応用する計算であるから、基礎的事項として理解すべき問題である。

g) 化学熱力学

熱力学の第1、第2法則、エンタルピー、エントロピー、自由エネルギーの概念とその数量的扱い方、計算法の理解をする。

h) 吸光度の計算

比色分析をする上で必要な吸光度の計算法とその応用に関する理解をする。

履修上の留意点

高校で「化学」を履修しなかった学生、履修をしても学力が不十分だと自覚している学生を対象としている。また「放射化学序論」の講義を充分理解できない学生も選択履修をして欲しい。昨今の状況では、以上選択履修して欲しい学生は敬遠して選択せずに、逆に化学を得意とする学生が単位取得を目的のために履修するケースが目立つ。これはこの演習の目的から外れるものであって、好ましい傾向とは云えない。

問題は事前に配布するので、各自で問題を解いて欲しい。学生に解答して貰い、その解説を各問題ごとに行う。しかし、問題を解いて来ない学生、化学の出来る学生の解答を単に写してくる学生が居ると、演習の目的は達成できない。正解を写して事終われりとするならば、理解不十分のまま終わってしまう。

あくまでも自力で解く努力をして欲しい。例え間違っているとしても、それなりの解答を出す努力をして、正解を示されたのを見たら、自分がどの点の間違っていたのか、どの点の理解に不足があったのか、わかる筈である。こうした努力が学力を養成すると考えて欲しい。

どうしても判らない場合には質問に来て欲しい。ただ質問に来る場合には全く判りません全部教えて欲しいという場合には答えないことにしている。ここまで解いたが、その先が判らない、またどうしてここで $\frac{1}{2}$ にするのかと云った質問には、その解答を出すヒントを与えて考えて貰うことにしている。質問によっては、講義中に行った説明と同じ説明をすると納得する場合があるが、これは講義を聞いていなかったに相違ない。講義中には集中力が欠くことのないようにして欲しい。

成績評価の方法

(各時間小テストの平均+定期試験) × 1/2 = 成績

教 科 書

プリント

参 考 書 等

「放射化学序論」の教科書

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
計算機言語概論 (前期)	すぎ杉 田 とおる 徹	短放1選 (H8年以降入学生)	2

講義のねらい

診療放射線技師を目指す諸君にとって、コンピュータの基礎技術を習得することは必要不可欠な条件といってよい。まずキーボード操作に慣れること、次に応用ソフトが自由に利用出来ること、そしてプログラミング技術を自からのものとしていることである。この授業では、初心者向きの言語であるBASIC高級言語を学び、それを用いてプログラミングの実際を習得する。情報教育センターにおいて1人1台のコンピュータにより実習を行う。半期の授業である。

講義の内容・
 授業スケジュール

1. コンピュータの構成
2. コンピュータ言語の基本理論
3. BASIC言語
4. パーソナルコンピュータによる実習

履修上の留意点

キーボード操作に慣れること。
 アルゴリズム的発想の習得とその活用に心掛ける。

成績評価の方法

実習の結果と定期試験により成績評価を行う。

教 科 書

コンピュータ教育工学研究所編 ガイドブック『BASIC』サイエンス社 ¥1,854

そ の 他

選択科目であるが、2年次、3年次の専門科目に関係してゆくので出来るだけ受講してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎数学 (前期)	し清水 ただよし 清 水 忠 良	短放1選 (H8年以降入学生)	2

講義のねらい

放射線を数量的に扱うための基礎を学ぶ。この科目は高校での数学の微分・積分学を今までとは違った角度から学ぼうとするために開設された。

講義の内容・
 授業スケジュール

- いろいろな曲線
 曲線の表し方 (座標系のいろいろ)
 曲線を作る (パソコン使用)
 曲線を切る (微分)

履修上の留意点

特になし

成績評価の方法

筆記試験・レポートおよび出席により評価する。

教 科 書

矢野・石原共著『科学技術者のための基礎数学』裳華房

参 考 書 等

P.ラックス他『解析学概論』現代数学社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎生物学（後期）	し 清 みず 水 よし 善 かず 和	短 放 1 選	2

講義のねらい

地球上の生物はすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後の連綿と続く進化の過程を経て現在に至った歴史的産物である。体の構造、生理、生態、種の分布などあらゆる面に過去の歴史が反映されている。一方、すべての生物の基本単位となる細胞には生命の根元物質である遺伝子（DNA）が含まれ、この遺伝子の情報に基づいて体がつくられ、そのコントロールのもとに生命が維持されている。生命活動のどの部分をとっても、遺伝子と無関係なところはないといってよい。現代生物学は遺伝子という物質的な拠り所をえて、より厳密で実証的な学問に変わりつつあるといえる。そこで、本講義では生物の進化と遺伝子を二つのキーワードにして、現代生物学の各分野の基礎的な内容を解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義で取り上げる主な項目：生体を構成する物質、遺伝子とその発現の仕組み、細胞の構造と働き、多細胞生物の発生、神経系と脳、免疫と生体防御、性と生殖、遺伝、分類と系統、進化と進化論など。また、バイオテクノロジー、脳死、エイズ、生殖革命など各分野に関連する社会問題についても言及する。

履修上の留意点

テストと出席により評価する。

成績評価の方法

特に用いない。

教 科 書

適宜紹介する。

そ の 他

板書中心の講義形式。必要な図表は適宜プリントにして配布する。

(4) 総合分野

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 I (1) 〔 仏 教 と 自 然 〕	な ら や す あき 奈 良 康 明	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

私たちは動・植物や山川草木等の自然とさまざまに関わり、共に生きている。というより、人間は環境としての動植物、自然に生かされている。しかし、今日、人間の側からの自然の収穫は著しく、そのために自然破壊、生態系保全など多くの問題が生じている。私たちは今後、動植物、自然とどう付き合うべきなのだろうか。
こうした問題を仏教の自然観、人間観、世界観を中心に検討してみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、欧米の「西」の自然観と、インド、中国、日本を中心とする「東」の自然観の基本を比較検討する。私は「西」の自然観は「神→人間→動物→山川草木」のタテ系列であるが、「東」では人間、動植物、山川草木がすべて「自然なる存在」として同列にならぶヨコ系列ととらえ得ると考えている。東西の種々な誤解は、この差を相互に理解していないところに起因している。
さらに、インド、中国、日本における仏教伝承に見られるさまざまな問題を取り上げてみたい。例えば、輪廻的世界観における人間と動物の関係、植物の生命の有無、肉食と菜食、不殺生成の意義と適応の問題。放生会、鰻供養等である。日本人に特有の万物の「いのち」という発想には、中国の「万物同根」、「無情説法」などの影響もあると同時に、「悉有仏性」および「悉皆成道」思想との関係もあると考えられる。これらは現象すべてに肯定的価値を与えるすぐれて日本的な考え方であるが、広く仏教文化史の立場から光をあてると同時に、「自然との新しい関係の樹立」を迫られている今日的立場からの再検討をも試みたい。

履修上の留意点

適宜プリントを配布し、参考書を指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 II (1) 〔旅〕	なかむら 中村 和郎・桜井 邦夫 たけうち 竹内 啓一・富士 昭雄	短国・短英	4

講義のねらい

総合科目は複数の専門分野にまたがる内容で、すべての学部の学生に公開される新しい形の科目である。この講義は「旅」をテーマにして、竹内（地理学）、富士（国文学）、桜井（歴史学、大田区立郷土博物館）がそれぞれ得意の分野を講義する。

最近では海外に行く日本人が1年に1800万人にも達し、国内の旅を含めると何らかの形の旅をしない人はいないほど、旅が容易な時代になった。人はなぜ旅をするのだろうか。どんな旅があったのだろうか。旅の目的地や旅のルートはどうやって選ばれるのだろうか。旅をすることによって、何が得られるのだろうか・・・。

旅する人々は、身分や境遇をはじめ旅の目的も様々であり、旅に関する心情や感想も多種多彩である。旅は人々の心を豊かにするばかりでなく、地理学を生み、文学を生み、民俗学・生物学などの諸学問を成立させてきた。

専門を異にする3人の先生の講義を聞いて、新しい人生の旅が始まるとよい。

講義の内容・
授業スケジュール

竹内啓一（4、5月担当）

1. 旅の分類学：旅の考古学・旅の考現学
2. 巡礼・ガイドブック・マストゥリズム
3. 探検の変質：「地理的発見」から「科学的」探検へ
4. 旅される者（travelee）の立場
5. 日本人にとってのオリエンタリズム
6. ディアスポラの立場

富士昭雄（6、7月担当）

7. 万葉集・伊勢物語などの旅と文学。また歌枕にも論及。
8. 更級日記・十六夜日記などの女性の旅と文学。
9. 平家物語・太平記などの武将の旅と文学。
10. 西行・芭蕉など連歌師・俳諧師の旅と文学。また俳枕にも論及。
11. 東海道名所記・東海道中膝栗毛などの滑稽人物の旅と文学。名所記・名所図会にも論及。
12. 近代の鉄道の旅と文学。

桜井邦夫（後期担当）

日本の近世における旅
なぜ、この時代に旅が活発になったのか。
その背景をまず探る。
具体的な史料（旅日記）に基づき、机上に近世の旅を再現する。
旅をめぐる諸問題

成績評価の方法

担当者がそれぞれ授業時間内に筆記試験を実施し、3人の平均点をもって成績とする。

教 科 書

とくに用いない。
桜井邦夫
とくに用いない。随時資料を配布する。配布資料はA版を基本とするので、ファイルを用意されたい。また、必要に応じスライド等を用いる予定である。

参 考 書 等

授業中に資料を配布する。

そ の 他

主として講義形式で進める。必要に応じてビデオ、スライド、OHPなどを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅱ (2) [自然観察入門－ 富浦をめぐる人と自然]	<small>しみず</small> 清水 <small>よしかず</small> 善和・ <small>うるはら</small> 漆原 <small>かずこ</small> 和子 <small>うわ</small> 宇和川 <small>あつたか</small> 正人・ <small>おたか</small> 小高 <small>しょういち</small> 昭一 <small>しのはら</small> 篠原 <small>まさお</small> 正雄・ <small>はしづめ</small> 橋詰 <small>なおみち</small> 直道 <small>みよし</small> 三好 <small>しげあき</small> 重明・ <small>やなぎさわ</small> 柳澤 <small>のりお</small> 紀夫	短国・短英	4

総務教育科
総合分野

講義のねらい

平成10年度初開講：教場での通常の講義では、自然の現物を示せないもどかしさがある。自然を理解するためには、自然を観察し、データを取り、解析し、結果を出すという科学的な研究方法の一部を実体験することが重要だからである。一方、我々の身近に接する自然は生の自然ではなく人間の営みの内にある自然である。ある地域の自然を理解するためには、自然をめぐる歴史的・地理的な背景を知る必要がある。本講義では前期半期で植物、鳥類、岩石・土壌、天体の観察方法やデータ処理の方法、レポートのまとめ方等を紹介し、一部の講義では駒沢公園を利用した実習をおこなう。また、夏休み中に千葉県富浦町にある富浦セミナーハウスにて泊まり込みの集中講義と植生、地形・地質、歴史、地理の巡検をおこない、富浦周辺の自然をトータルに理解することを試みる。また、夜には天体観測の実習も行う。実習の最終日には印旛沼へのエクスカッションをおこない、人と沼の自然との関わり合いの歴史を見て回る。これらの講義・実習を通して、自然の見方、自然科学的な考え方を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容で前期の講義と富浦での実習をおこなう。内容に応じて、合計8名の教員が交代しながら講義と実習を担当する。

本校での講義（駒沢公園での実習を含む）：前期半期

- (1) ガイダンス
- (2) 自然観察の方法（図鑑の使い方等）
- (3) 植物の観察（駒沢公園）
- (4) 鳥類の観察方法
- (5) バードウォッチングの実際（駒沢公園）
- (6) 岩石の見方
- (7) 土壌の観察と分析方法
- (8) 天体観測の方法
- (9) 自然と人間活動
- (10) 房総半島の地形・地質
- (11) 房総半島の直物・植生
- (12) データ処理の方法
- (13) レポートの作成方法

富浦での講義・実習：7月21日（火）～7月24日（金）
講義

- (14) ガイダンス
- (15) 天体観測について
- (16) 富浦の地形・地質
- (17) 富浦の植物・植生
- (18) 富浦周辺の歴史
- (19) 富浦周辺の地理
- (20) 印旛沼開発の歴史

夜：天体観測（日の出、日の入り観測も含む）

巡検

- (1) 地形・地質と植物
- (2) 歴史と地理
- (3) 印旛沼

履修上の留意点

前期半期の講義と夏休みの実習の両者を合わせて単位を設定するので、実習に出られない人は履修できない。また、富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費は学生の自己負担とする（予約の都合上、宿泊費は事前に徴収する）。実習を伴う科目の性質上、履修人数の上限を30名とする。4月の初回の講義で詳しいガイダンスを行うので、履修希望者は必ず出席すること。

成績評価の方法

合計8名の教員が分担して講義と実習を行うので、各分担者が適宜、レポート、小テストなどを課してこまめな評価を行う。富浦の実習については現地での実習をふまえて課題に対するレポートを課す。以上を総合して最終的な判定を行う。なお、科目の性格上、追試、再試はない。

教科書

特になし。必要に応じて参考書を紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D. M.	短国・短英	4

講義のねらい

This English course is more difficult than any other English course you can find; I want you to experience studying something in English instead of studying English. The purpose is to prepare you for international study; I want you to experience taking a university-level course in a foreign country before you leave Japan to study in a foreign country. The experience will save you a lot of time and money, and you will have more success studying abroad. This course will not teach everyday English conversation or simple reading, but you will have a lot of practice in how to carry on an intellectual conversation in English. The lectures, your compositions, and your conversation practice will be about world-wide social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, money, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Although this course is your best chance to master an advanced level of English, it is more valuable than just that. The main purpose of my life is to teach problems such as these, and once you deal with these topics in this course, you will never be able to stop thinking about them for the rest of your life.

総合分野
英語教育科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おかざき 岡崎 寿一郎	短国・短英	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3000校、日本は、約1000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参 考 書 等

参考書・文献については適宜言及します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (3) 〔女性学・男性学〕	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

まず本講座では、日常生活において男女の意識や役割の区分が長い年月をかけて文化的につくられてきたことの歴史的経過を理解し、ジェンダー（社会的、文化的性差）の概念を正しく把握することにより、ジェンダーの視点から、社会的人間関係や、社会構造について新たな考察を展開したい。そもそも女性学とはこれまで男性中心に出来上がっている社会を女性の視点から新たに洗い直し、批判的に分析するための学問として成立した。従って女性学の主要な課題は男性によってこれまでつくりあげられたバイアス志向（男の視点によるもの見方の偏向性）による既成の社会や、政治、経済の仕組みや、道徳観、思考などにメスをいれ、批判的に解剖することであった。女性学のこの華々しい出現に対して、男性達も男性優位の社会のなかで必ずしもそれが自分達にとって都合のよいことではないということ、男性中心社会が、女性にとっても快適な社会でないのと同様に男性にとっても居心地がよくないということが、男性自身にも近年ようやく気づきはじめられてきた。現在日本でも遅ればせながら、男性社会を男性の目でもう一度読み直そうとする男性学研究の気運が年々高まってきているのである。本講座ではこれらの最新の情報を踏まえながら、女性学、男性学の基礎を学んでいきたい。

授業のやり方としては、以下の項目の問題点をまず教員が基本的に提議、説明し、そのあと具体的な問題点を各人にディベートしてもらい、問題の所在を明らかにする事により、お互いに切磋琢磨し、意識を高めあいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1)女性学、男性学とはなにか？
- 2)性差とはなにか？
- 3)男らしさ、女らしさとはなにか？
- 4)性のダブル・スタンダード
- 5)性の商品化
- 6)セクシュアル・ハラスメント
- 7)ジェンダー・ハラスメント
- 8)ジェンダー・トラブル
- 9)家庭と性別役割分担
- 10)現代日本の家族が抱える諸問題……非婚化、夫婦別姓、出生率低下と高齢社会
- 11)労働とジェンダー
- 12)まとめ

成績評価の方法

授業中に何回かにわけて小論文を書いてもらい、提出する。
また年一回課題を出し、レポートを提出する。

教 科 書

プリントその他を必要におうじて配布する。
場合によってはビデオ、映画などを見る。
参考書はその都度列挙する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 IV (1) 〔南アジアの宗教と社会〕	にしむら ゆうこ 西 村 祐 子	短国・短英	4

講義のねらい

インド、スリランカ、パキスタン、インドネシア、マレーシアなどの南アジア社会を、
 1. 前期は宗教と社会との関係を国家と宗教法とのかかわりを通して比較してみる。
 2. 後期は国家と家族との関わりを、宗教とジェンダーとの関係を中心に論じてゆく。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度に限り、内容把握をスピードアップさせるため、講義はその一部を日本語でおこなうことがあるが、課題として多くの資料をすべて英語で読み、英語でサマリーその他の宿題と発表を課する。基本的には高度な社会科学研究を英語で行うための手ほどきをする授業である。さらに、本講義を受講する学生のなかで相当高度な英語力を持ち、授業の内容把握が巧みな者には3カ月に一度程度、夜7時から約90分間1-201教場で開かれる予定のインターカレッジ・日英共同社会人類学セミナーへの参加が許可される。(英国の大学とテレビ会議システムによって現地の学生と同じ特別セミナーを受講し、高度な議論、質疑応答をおこなうもので、他大学からの学生、大学院生の参加も予定されている。)

履修上の留意点

英語力が TOEFL480以下では、数回でほぼ100パーセント脱落するので英語力がないものは履修届けをださないこと。

成績評価の方法

すべて平常点、提出物による。

教 科 書

授業で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 IV (2) 〔アメリカの黒人問題〕	なか お しゅん こう 中 尾 俊 光	短 国・短 英	4

講義のねらい

講座名を「アメリカの黒人問題」としました。アメリカの「黒人」が好む呼称の変化は次の通りです。

	1969	1979	1989	1993
アフリカン・アメリカン	—	—	23%	28%
アフロ・アメリカン	10%	1%	—	—
ブラック	19%	72%	66%	37%
カラード	20%	12%	—	—
ニグロ	38%	9%	—	—

(「ワシントン・ポスト」 1994.1.23より)

以上のような変化は「黒人」自身のアイデンティティの意識の変化を表わしているといえるでしょう。最近では日本でも「アフリカン・アメリカン」が採用されつつあります(「NHKラジオ英会話」1995.10月号)。それにもかかわらず、「黒人」を採用したのは、日本での現実認識を鑑みる時、この呼称が最も一般的と思われるからです。

アメリカの黒人は過去から現在に至るまで様々な重い問題を負わされてきました。そしてこのような黒人の現実、高々と掲げられてきた「アメリカ民主主義」の理念とどのような関係にあるのでしょうか。黒人が抱えている重い諸問題と、そのような現実を内部に抱えている「自由と平等の国・アメリカ」。このような観点をふまえて「アメリカの黒人問題」と題しました。

アメリカのいわゆる「黒人問題」は、1960年代に高まりを見せた公民権運動の多くの差別撤廃の成果にもかかわらず、今なお未解決のままに残されています。政治的、社会的、そして経済的諸権利について、黒人は法の下での平等をほぼ達成したと考えられますが、黒人大衆の経済状態は依然として改善されていないようです。「人権」や「肌の色」の問題としてというよりも、過去に遡る諸要因によって、アメリカの経済機構の中に差別された状態で組み込まれてしまっていることが、1つの明らかな状態——貧困——となって現われていると思われます(教科書、251頁)。1619年にアフリカ大陸から強制的に「引き剥ぐ」ように「20名の黒人」が初めてアメリカの地に連行されました。その時から「アメリカの黒人」の苦しみが始まり、現在に至っています。彼らの苦悩とそれからの解放を求める歴史を辿りながら、そこに見いだされる重要な出来事・事件の意味を、一方の「アメリカ民主主義の理念」と対照させながら考えたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の内容(プロローグと10項目)と順序(年代順)に従って、教科書では示されていない重要な事件(裁判等)や問題点をも取りあげ、その意味を考察します。各項目に2時限を当て、とくに重要と思われる「公民権闘争」及び「黒人革命」については、それ以上の時間を当てる予定です。なお、授業の方法は「講義」です。

履修上の留意点

本講座では、知識の修得ということばかりではなく、受講生自身の問題意識を大切に、「人間が共に生きること」の意味を自らに問い続けて下さい。参考書、とくに「アメリカの民主政治(中)」(A. トクヴィル)、「黒人はなぜ待てないか」・「良心のトランペット」(M. L. キング)に目を通して下さい。

成績評価の方法

前後期それぞれに2回(通年4回)のミニレポート提出、そして「学年末レポート」提出を求めます。以上の5点を総合評価します。

教科書

『アメリカ黒人の歴史』 岩波新書 ¥580

参考書等

1. A. トクヴィル著 『アメリカの民主政治(中)』 講談社学術文庫
2. M. L. キング著 『黒人はなぜ待てないか』 みすず書房
3. M. L. キング著 『良心のトランペット』 みすず書房
4. ベンジャミン・クウォールズ著 『アメリカ黒人の歴史』 明石書店
5. 中島和子著 『黒人の政治参加と第三世紀アメリカの出発』 中央大学出版部
6. 上坂昇著 『キング牧師とマルコムX』 講談社現代新書

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 IV (3) 〔ポスト・モダンの世界〕	まる こ てつ お 丸 小 哲 雄	短国・短英	4

講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の批判と自己組織の確立を目指すことにあります。
「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味を込めて解釈されています。ポストモダンという言葉には混乱があり、最大公約数的に言って、ポストモダンは、そのような学際的な知の最前線として、固有なものに出会うために批判の方法によって権力の座（特権化された場所）を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現として現代史を思想化（帝国主義と植民地化する力の露呈）することにあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者（＝文化）をどう捉え、どう身体的に受けとめて、主体性をどう確立するか、ということに尽きます。
そこで、自己回帰のパラドックスと自己言及のパラドックスを確認した後で、「ポストモダン」をキーワードに現実世界のテキストの解釈を目指しつつ、プレモダン（前近代）→モダン（近代）→ポストモダン（脱近代）→トランスモダン（横断的近代）を対照的に重層的に講義します。

講義の内容・授業スケジュール

（代表的な思想家の文献リストに従って）
講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読んでもらいます。講義の骨子は以下の通りです。

1. 前置：「変わるものと変わらないもの」について
2. 現代という時代の捉え方：「今ここ」における自己言及のパラドックス
3. 「モダン」の語源と定義について：ポストモダンの建築的特質とジェンダー論的特質
4. 言語について：ソシュールの言語観；言語の恣意性、ラングとパロールなどについて
5. テキストの遍在性とディスコースについて
6. 人間観・宇宙観・社会観の変化について：プレモダン（前近代：絶対王政と重商主義）；モダン（近代：生産資本主義の文化）；ポストモダン（脱近代：消費資本主義社会の文化）
7. 西洋の理性批判：アダム・スミスからヘーゲルとマルクスへ
8. マックス・ヴェーバーの問題性
9. ニーチェ、フーコ、デリタなどを中心とした近代化批判；ポストモダンの系譜学
10. トランスモダン（横断的近代：モダンとポストモダンの内から外へ）
11. レビュー：冷戦後における自己組織と反省的人間の特質について

成績評価の方法

平常点50%、前期・後期のチーム・ペーパー（レポート作成）50%。さらに、前期、後期に関連文献リストからそれぞれ1冊を選び、そのテキストの読み・解釈・批評を盛り込んだペーパーも提出。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

開講時に指示します。文献リスト配布。

参考書等

随時指示し、適宜コピーも配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 V (1) 〔イギリス文化探訪〕	かわ 川 また 股 よう た ろ う 陽 太 郎	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

ある民族の文化、ある国の文化を理解するのは、そうたやすいことではない。わたし達がわたし達の文化をどれほど知っているかを考えてみると、はなはだ心もとない思いを抱くことを考えれば、容易に察しがつくであろう。ここでは「イギリスとは、イギリス人とはなんであろう」ということを、ごく限られた時間で、しかし出来る限り様々な視点から見ていこうと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

現代のイギリス人、およびイギリスの文化を、現代から過去へ、過去から現代へ行きつ戻りつしながら、「イギリス」というものを文化的側面から眺めてみたい。一つの文化を理解しようとするとき、言語・風俗・習慣はもちろんのこと、政治・経済・文化を切り離して考えることはできない。それゆえ、原則として、たえず現代と関連させながら、様々な角度から「イギリス」というものを考察してみたい。

例えば、「イギリス」というものを、地理的な面と人種的な面から眺めてみるとしよう。イングランド地方・スコットランド地方・ウェールズ地方・コーンウォール地方という地理的側面と、イングランド人・スコットランド人・ウェールズ人・コーンウォール人という人種的側面から理解して見るのも一つのやり方である。一人の人間がどの部族に属するか、どの人種に属するかを決定するのは、土地と無縁ではありえないし、その地域の文化（言語、風俗、習慣）と無縁ではあり得ない。「血」もさることながら、それを決定するのはその人間の「所属意識」である。

ケルトの時代、キリスト教の普及、アングロ・サクソン人の侵入、ノルマン人のイングランド征服等、また封建社会の特異性とその崩壊過程、大英帝国の出現、産業革命、中産階級の出現等をテーマ別にみながら、今日のイギリスおよびイギリス人が持つ多様性を理解するように努める。

また、一つの文化を理解しようとするとき、同じテーマで比較・検討することによって、よりいっそう明確にその認識を深めることが可能となる。それは、自分の所属する社会形態と、ある社会が有する社会形態を比較することによって、それぞれの文化が持つ特性をよりいっそう明確に認識するようになるということである。

善し悪しは別にして、「日本の常識は世界の非常識」であることが多いことも事実である。これは己と他を比較して始めて認識できるものである。いわゆる「国際化」の時代にあって最も大切なことの一つは、己と他の違いを認識し、理解し、尊重できるように自己を訓練しておくことである。そのためにも自国の文化はいわずもがな、他国の文化を理解することが肝要である。偽政者と都市計画、町並みと生活権、古代ローマと今日の道路・交通機関、大学の置かれている現状等々、比べてみると面白いものが多々見受けられる。

履修上の留意点

イギリスの文化を含め、「文化」そのものに興味がある学生を歓迎する。「文明」と「文化」に関心のある学生に、この講座は特に向いていると思われる。

成績評価の方法

レポートによる。レポートはレポート用紙10枚～30枚程度ものを、年2回、9月初め、12月末に提出。

教 科 書

教科書は使用しない。レポートを製作するさい、少なくとも数冊の文献を参照すること。また「引用文」には（注）を付け、書名とページ数を記し、その他の参考文献名を記入すること。

そ の 他

講義形式をとる。その理解の一助として、視聴覚機材（オーバー・ヘッド・プロジェクター等）を用い、写真、絵図、資料（2,000～3,000枚）を提示しつつ講義を進めていく予定である。また、合理的に講義を進めていくために、必要と思われる資料を適宜配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (1) 〔 民 族 問 題 〕	はら じり ひで き 原 尻 英 樹	短国・短英	4

講義のねらい

みなさんご存知のことと思いますが、世界中で民族紛争や民族問題が噴出してきています。この講義では、単にこのような問題を生のままで論じるのではなく、学問的にこの問題にアプローチする方法について考察します。とはいえ、どこか遠くにある「民族問題」について考えるのではなく、我々の日常における「民族」に関わることもから検討します。この講義のねらいは、「我々の日常生活における『民族』現象理解」です。

講義の内容・
授業スケジュール

我々の日常的な生活に題材をとって講義をすすめ、毎回「読み切り」方式とします。ただ、カバーする「民族」に関する考察範囲は広く、日本、朝鮮半島、北米、中南米、アフリカなど多様な「民族」あるいは「民族問題」が検討されます。具体的な授業スケジュールは、最初の講義の際に配布しますが、たとえば、次のようなものです。

- 『『日本人』の名前は？』
- 『『日本人』とは何か？』
- 『ケビン・コスナーのルーツは何か？』
- 『安室奈美恵と羽賀研二の違い』
- 『君は名古屋の結婚式にたえられるか』

履修上の留意点

授業は時間どおりに始め、時間より少し早めに終わります（質問等を受けつけるため）。10分以上遅れて来る人は、私のギャグや冗談がわからなくなりますので、ご遠慮ください。

成績評価の方法

年二回の定期試験と時折ぬきうちでおこなう小テストで成績を決めます。

教 科 書

原尻英樹編『世界の民族'98』（放送大学テキスト） 日本放送出版協会

原尻英樹『在日朝鮮人の生活世界』 弘文堂

原尻英樹『日本定住コリアンの日常と生活』 明石書店

少しお金がかかりますが、この授業だけでなく、今後学生生活を続けていくうえで、それなりに役に立つ本だと思います。これらの本を直接使うのではなく、一年間を通して学習していけば、これらの本に書いてあることが結果的に理解できるようになる授業にしていきます。ですから、授業の合間や授業の後に参照すれば、授業の内容がよりよく理解できるようになります。

参 考 書 等

授業中プリントを配り、それによって伝えます。

そ の 他

授業の方法はウィットとユーモアを裏切る講義ですが、ビデオ教材も使い、具体的な画像や音声で理解を深めていきます。参加して楽しい授業にします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (2) 〔 イ ス ラ ム 〕	まつ だ とし みち 松 田 俊 道	短国・短英	4

講義のねらい

イスラーム文明史

講義の内容・
授業スケジュール

中東で勃興したイスラームは単なる宗教ではなく、一つの文明体系として理解される。その文明を生み出したイスラーム世界が、いかにして形成され発展して今日に至るかを様々な観点から講義する。その際、イスラーム文明が古代オリエントに発生した古代文明をどのように受け継ぎ、それを発展させ、西欧文明にどのような影響を与えたのかということに触れてみたい。また、とくにイスラーム文明が発展した12、13世紀におけるイスラーム世界の社会と経済、およびその社会や経済の発展を支えたイスラーム法に基づく諸制度をとりあげ、イスラーム社会の特徴を明らかにする。

履修上の留意点

イスラーム世界について報じられる報道に常に注意を向けておくこと。

成績評価の方法

筆記試験によって評価を行う。

参 考 書 等

佐藤次高編『都市の文明イスラーム』 講談社現代新書
鈴木董編『バクス・イスラミカの世紀』 講談社現代新書
坂本勉編『イスラームの復興はなるか』 講談社現代新書

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	あけ の ふ み え 上 野 富美枝	短国・短英	4

講義のねらい

ジェンダー論とは、これまでで自然的な領域にカテゴライズされることの多かった性を社会的なカテゴリーへ転換することによってみえてきた新しい人間論であると同時に、性を捨棄してきた従来の社会科学の枠組みを超えた新しい社会理論である。この講義では、ジェンダー論の総体を概括すると同時に、それと密接な関連領域であるフェミニズムの理論・思想についてもあわせて考察する。新しい学問にふさわしく、生命と生活を感じることでできる講義、受講生の生きる指針さがしに役立つ講義にしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に沿ってすすめる。
①ジェンダー論とはなにか
②ジェンダーと家族
③ジェンダーと労働
④性と生殖
⑤フェミニズムの理論と思想
⑥ジェンダーフリーへの道

履修上の留意点

最新のデータ・事象を素材に授業を進めるので、毎日の新聞に目を通していただきたい。

成績評価の方法

レポートおよび小論文形式の試験

教 科 書

浅野富美枝『生きる場からの女性論』青木書店 2,730円(税込み)

参 考 書 等

授業の中で随時必要に応じて指定する。

そ の 他

講義を中心とするが、ビデオ視聴、バズセッションもとりいれる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VII (1) 〔 ト ラ ブ ル と 法 的 解 決 〕	すまうら ともつぐ あめみや まさや 杉浦 智紹・雨宮 眞也 おかだ としひろ せまぐち まさお 岡田外司博・関口 雅夫 はやし こうじ ふじもと しげる 林 幸司・藤本 茂	短国・短英	4

講義のねらい

私達が日常生活をしていく上で、現在は様々な法的トラブルが生じている。善良な市民が時には泣寝入りし、時には逆に裁判にまで発展することも少なくない。

そこで法的トラブルが発生したらば、どのように解決したらばよいのか。またそうしたトラブルを未然に防ぐにはどのようにすべきなのかについてマクロ的またミクロ的に採り上げて分析し、法治国家の市民として知っておかねばならぬ、法的知識や解決への糸口を模索すると共に、幅広く資料を提供しつつ法的解決の在り方を知ってもらいたいと考えている。

全学共通教養科目の中、総合科目「法的トラブルと法的紛争の解決」というテーマで、法的トラブルの類型的発生形態と解決基準について、専門的な立場から、個別的に問題を採り上げて、法的解決に必要な実践的ノウハウを提供しようというのが開講意図である。

今回は民事法領域に限定しているが、次年以後には刑事法領域、あるいは憲法、行政法領域、公害法、医療法等の領域にも拡大し、更には、心理学、社会学的な分野の専門的立場の方にも加わってもらって、より実質的なものへと進展させるように努めたい。

本年は6人の法学部教員がそれぞれ、実質4回の講義を予定している。

講義の具体的内容については、担当教員が開講にあたって開示する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- ①「法的トラブルとその予防的手段及び解決への具体的対処法」杉浦智紹
- ②「財産関係・恋愛・結婚をめぐるトラブルと法的解決」林 幸司
- ③「職場（オフィス）をめぐるトラブルと法的解決」藤本 茂
- ④「消費者取引をめぐるトラブルと法的解決」岡田外司博
- ⑤「企業・有価証券等をめぐるトラブルと法的解決」関口雅夫
- ⑥「法的紛争の解決方法と具体的手段」雨宮眞也

履修上の留意点

担当教員1人の講義回数が実質4回であるため、講義には必ず出席すること。

成績評価の方法

各担当教員によるテストの成績を総合して評価する。

教 科 書

特に指定はしない。

参 考 書 等

講義に際して、その都度、具体的に開示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 VII (2) 〔都市論〕	はやかわ 早川 純貴・岩下 弘 えがみ 江上 渉・前田 英昭 みたけ 三竹 直哉	短国・短英	4

講義のねらい

日本人の多くが都市生活者となった現在、都市は今や、それ自体の意志と機能を有する政治・経済活動のアーナであり、常に刷新と否定を繰り返す文化・イベント創造の場である。あるいはまた欲望と情報の巨大な消費空間とも言えよう。人々は富と権力を求め流動し、新たなコミュニティの創造を試みる。

いま世界の大都市は多くの問題を抱えている。過密化と空洞化／住宅難／犯罪／貧困と失業／ホームレス／ゴミ問題／再開発、あるいは国際化／多文化主義 etc. しかしそれらは独自のダイナミズムを持ち、拡大と収縮を繰り返す都市社会が示す多様な表象にはかならない。そうした都市の現状を政治学や経済学そして社会学の観点から概観し、都市社会の将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義は5名の講師により、各々4～5回ずつ行われる。その順序と講義内容は以下の通り。

①江上 渉「都市とコミュニティ」——20世紀も残りわずかになった。20世紀は「都市の世紀」といわれるように、近代化、産業化が都市を中心に進んでいった100年であった。では飛躍的な経済成長も望めず、環境問題や高齢化・少子化といった問題を抱えてあまり明るい見通しの立たない21世紀の日本で、都市社会はどのようになっていくのだろうか？ 私たちの生活の基盤である地域社会（コミュニティ）を見直すという立場から、この疑問を考えてみたい。

②前田英昭「首都・東京と政治」——東京は首都でありその「巨大な首都圏」の中に3000万人から4000万人という人口が集積し、首都機能が数多く集中している。東京の顔は都知事である。首都圏東京の抱える多くの問題は、都知事と都議会が都民の声を聞きつつ処理しているのである。以下、首都機能とは何か／東京一極集中と首都機能移転／首都の顔・都知事選／都知事・都議会・国会——これらの点について考えてみたい。

③早川純貴「都市行政と住民参加」——都市の再開発（ex. 道路の拡幅や駅前の整備）やゴミ焼却場のようないわゆる「迷惑施設」の建設には地域住民の同意が欠かせない。その場合住民と行政側はどのようにして互いに歩み寄ることができるだろうか。あるいは行政の意思決定に住民はどの程度かかわることができるだろうか。このような問題をアメリカの場合と比較しつつ、いくつかの実例に基づきながら住民参加の可能性を探ってみよう。

④岩下 弘「『まちづくり』と流通」——最近「まちづくり」についての議論が盛んである。その一つとして流通をめぐるまちづくり論がある。これは都市空洞化に端を発するものである。都市計画の先進国であるヨーロッパ諸国では戦後すぐから「インナーシティ」問題として注目されてきている。日本では、郊外に大規模商業施設が立地し、モータリゼーションの進展と相俟って従来型の駅前中心商店街が衰退し、都市機能の分散と空洞化が発生している。ここでは都市の変容について流通の視点から検討する。

⑤三竹直哉「ヨーロッパ都市の苦悩と挑戦」——ベルギーの首都ブリュッセルの状況を通じて、多民族・多言語社会のあり方について考えます。日本の都市にはなかなか実感できませんが、世界には複数の民族や言語が存在する都市が数多くあります。そのような都市ではどのような問題が生じ、それを解決するためにどのような方法が採られるべきなのかを考えていきたいと思えます。

履修上の留意点

日本や欧米の都市政治／都市経済／都市社会に強い関心を持つ学生の聴講を歓迎する。もちろん諸君が「都市」に居住しているかどうかは問わない。

成績評価の方法

成績は中間試験と定期試験により判定する。

教科書

教科書は使用しない。参考書は講義の中で随時紹介する。

3 外国語科目

3 外国語科目

《必修・選択必修科目》

英語 I	〈短英〉	(高野秀夫)	123
英語 I	〈短英〉	(吉沢栄治郎)	123
英語	〈短放〉	(藤島喬樹)	124
英語	〈短放〉	(本間章郎)	125
ドイツ語 I	〈短英〉	(吾妻雄次郎)	126
ドイツ語 I	〈短英〉	(吉田文子)	126
ドイツ語	〈短放〉	(吾妻雄次郎)	127
ドイツ語	〈短放〉	(吉田文子)	127
フランス語 I	〈短英〉	(竹田正純)	128
中国語 I	〈短英〉	(弘兼加奈子)	129
スペイン語 I	〈短英〉	(佐藤紘子)	130

《再履修クラス》

英語 I〔再クラス〕	〈短国・短英〉	(前田脩)	133
英語〔再クラス〕	〈短放〉	(木村克彦)	133
ドイツ語 I〔再クラス〕	〈短国・短英〉	(五十嵐信子)	134
ドイツ語〔再クラス〕	〈短放〉	(百済勇)	134
フランス語 I〔再クラス〕	〈短国・短英〉	(加藤節子)	135
中国語 I〔再クラス〕	〈短国・短英〉	(波多野真矢)	135
スペイン語 I〔再クラス〕	〈短国・短英〉	(佐藤麻里乃)	136

《選択科目》

英文講読	〈短国・短英〉	(前田脩)	139
英文講読	〈短国・短英〉	(牧野輝良)	139
英文講読	〈短国・短英〉	(矢島直子)	140
時事英語研究	〈短国・短英〉	(宇都宮秀和)	140
時事英語研究	〈短国・短英〉	(河内賢隆)	141
時事英語研究	〈短国・短英〉	(林明人)	141
マルチ・メディア	〈短国・短英〉	(逢見明久)	142
マルチ・メディア	〈短国・短英〉	(大庭直樹)	143

マルチ・メディア	〈短国・短英〉	(西村 祐子)	144
英会話	Ⅱ 〈短国・短英〉	(ピアス, D. M.)	145
英会話	Ⅱ 〈短国・短英〉	(ベンディネリイ, P. A.)	145
英会話	Ⅱ 〈短国・短英〉	(ジグラー, P. M.)	146
英会話	Ⅲ 〈短国・短英〉	(ランダー, J. S.)	147
英会話	Ⅲ 〈短国・短英〉	(ウェルズ, J. K.)	147
英会話	Ⅲ 〈短国・短英〉	(デンドウ, G.)	148
英語 L L	Ⅱ 〈短国・短英〉	(ピアス, D. M.)	149
英語 L L	Ⅱ 〈短国・短英〉	(風間 則比古)	149
英語 L L	Ⅱ 〈短国・短英〉	(高柳 文江)	150
英語 L L	Ⅲ 〈短国・短英〉	(岩山 義春)	151
英語 L L	Ⅲ 〈短国・短英〉	(久保 ひさ子)	151
英語 L L	Ⅲ 〈短国・短英〉	(町田 尚子)	152
英語	I 〈短国〉	(高野 秀夫)	152
英語	I 〈短国〉	(本間 章郎)	153
英語	I 〈短国〉	(藤島 喬樹)	154
英語	I 〈短国〉	(吉沢 栄治郎)	155
英語	I 〈短英〉	(高野 秀夫)	155
英語	I 〈短英〉	(吉沢 栄治郎)	156
英語	Ⅱ 〈短国〉	(伊藤 幸一)	156
英語	Ⅱ 〈短英〉	(熊崎 久子)	157
英語	Ⅱ 〈短英〉	(滝 静寿)	157
ドイツ語	I 〈短国・短英〉	(吾妻 雄次郎)	158
ドイツ語	I 〈短国・短英〉	(吉田 文子)	158
ドイツ語	Ⅱ 〈短国・短英〉	(吾妻 雄次郎)	159
ドイツ語 I A (選)	〈短国・短英〉	(清水 修)	159
ドイツ語 I B (選)	〈短国・短英〉	(織田 繁美)	160
ドイツ語 Ⅱ (選)	〈短国・短英〉	(志真 斗美恵)	160
フランス語	I 〈短国・短英〉	(竹田 正純)	161
フランス語	Ⅱ 〈短国・短英〉	(前田 祝一)	161
フランス語 I A (選)	〈短国・短英〉	(井田 清子)	162
フランス語 I B (選)	〈短国・短英〉	(加藤 節子)	162
フランス語 Ⅱ (選)	〈短国・短英〉	(伊藤 なお)	163
中国語	I 〈短国・短英〉	(弘兼 加奈子)	164
中国語	Ⅱ 〈短国・短英〉	(天野 節)	164
中国語 I A (選)	〈短国・短英〉	(釜屋 修)	165
中国語 I B (選)	〈短国・短英〉	(小川 隆)	165
中国語 Ⅱ (選)	〈短国・短英〉	(曾根 博隆)	166
スペイン語	I 〈短国・短英〉	(佐藤 紘子)	166
スペイン語	Ⅱ 〈短国・短英〉	(丹羽 昌一)	167
スペイン語 I A (選)	〈短国・短英〉	(ナバローポロ, L. S.)	168
スペイン語 I B (選)	〈短国・短英〉	(瓜谷 アウロラ)	168
スペイン語 Ⅱ (選)	〈短国・短英〉	(ナバロ, ホワン J.)	169

3 外国語科目

必修・選択必修科目

必修・外国語
選択必修科目

[英 語]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	たか の ひで お 高 野 秀 夫	短 英 1 年	2

講義のねらい

英作文・スピーチ、口語的表現等の基礎を養い、書く、聞く、話す能力を身につける。…教養と実用の両面から読み書き話すこと、また…その国の文化、歴史、風俗、思考方法等を知ること。専門書を原書で読めるようになることを目標としています。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- ① Natural Speed で英語の読み、書き、聞く能力を高める。
- ②教科書を読み進める。

19世紀英国ヴィクトリア朝後期の作家 Thomas Hardy は、運命論者として知られ、「この宇宙には Immanent Will (内在された意志) があり、人は小我を持ち、これに立ち向かい破れる」という筋で主人公の皮肉な人生を描くのが得意である。

悲劇的運命を辿る主人公に焦点を当て、いろいろな視点から人生とは、文学とは何かを考えて行く。

後期

前期と同じ授業計画。

授業の進め方

- ①30～40分間 テープの英語
- ②50～60分間 教科書を逐字訳しながら、内容、文構造の基本理解を図り、19世紀英文学への理解を深める。

履修上の留意点

毎回教科書の逐字訳をするので必ず予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

- ①前期・後期一回づつテスト実施
 - a. テープの英語 b. 教科書
- ②課題のレポート提出

教 科 書

- ① *To Please His Wife And Other Stories* (成美堂)
- ② *Listening Capsules* (三修社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	よ し ざ わ え い し ろ う 吉 沢 栄 治 郎	短 英 1 年	2

講義のねらい

日常よく使われる言い方を口頭による練習で数多く覚えてもらう。中にはそんな言い廻しもあるかとおもわれるものも含み、意外な発見もあるでしょう。大事なことは、大抵のことは英語で言えるように、平素からこまめにノートしながら、或いは朗唱しつつ、積み重ねることに尽きる。

講義の内容・授業スケジュール

一つの言い方にとどまらず、できるだけ訳例を掲げます。それらの表現の妙を充分味わってほしい。一つの課 (A10題、B7題) のうち A を先に英訳していく。一回の授業で5題ずつこなしていく予定。A を終えた後 B へ進む。

履修上の留意点

和英辞典と英英辞典を併用することが望ましい。

成績評価の方法

1月の定期試験で評価します。

教 科 書

第1回の授業時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語	ふじ しま たか き 藤 島 喬 樹	短 放 1 必	2

講義のねらい

入学時の英語力を基盤とし、使用 TEXT により一層高度の読解力と聴解力の習得を志向する。尚、読解力向上に当っては、より高度な構文理解も含め、精読力充足に加え、速読力〔TEXT 各章、各段落等の大意把握〕の向上をも志向する。一方、聴解力向上に当っては出来るだけ日本語を介入させずに、英語を英語で理解する実力向上を志向する。

講義の内容・授業スケジュール

語学学習の読む、書く、聞く、話す四技能は知ってのとおり切っても切れない関係。中でも「読む力」は四技能中最も必要不可欠。その点を十分踏まえ、本講義では基本的には下記 TEXT を中心に授業を進める。又指定 TEXT 以外にも所謂使える英語志向のプリント類もその都度配布し、補充教材として併用する。各回90分授業前半45分間では四技能向上志向の MINI TEST (原則的に英検2級程度)を実施する。(所要時間は基本的には前半45分間を目安とするが、内容量如何によっては45分を越える場合もあり得る。

履修上の留意点

- ① MINI TEST は各回授業開始と同時に即実施するので、遅刻や欠席のゴマかしは絶対に出来ない。もし欠席不受験なら勿論その日の得点は0点。遅刻もその都度減点の対象となるので十分に留意の事。又出席者に関しても MINI TEST とは言え、ただ単に受ければ済むものではない。各回とも平均して全体の7割以上の Point 取得を心掛けて欲しい。
- ② 年間全授業回数の最低2/3以上の出席がなくてはならない。即ち欠席率が授業全回数の1/3を越えれば否応なくその時点で DROP OUT。
- ③ 必ず然るべく予習をして受講する事。
- ④ 受講の際は各自必ず英和辞典を用意する事。

成績評価の方法

- I 平常点 (具体的には以下の①～③)
 - ① 年間各回授業参加の度合い。(これは出席回数のみを意味するのでは決してない。大学生として本来あるべき実質的受講態度を意味すると心得よ。)
 - ② MINI TEST 各回の Point (授業各回前半実施。各回それぞれ百点満点で換算すれば各回共70Point 以上は取得するように。)
 - ③ 授業内での質疑応答並びに発表時の Point
 - II 前・後期両定期試験。(7月と学年末にそれぞれ実施)前後期いずれの定期試験も①～③のうち最も比重は大きい。両試験共各100点満点で最低60Point 以上獲得し、初めて CLEAR 出来たとする。
 - III 提出課題。(その都度課すが、いずれも然るべく解答の上、指定期日厳守で提出の事。)
- 以上 I・II・III三者を総合し、年間単位で評価を出す。

教科書

1. 土屋武久他編『リーディング・スキルの演習』(READING NAVIGATOR)
三修社発行 定価¥1,600
2. 熊井信弘他著『楽しく学ぶロックアンドポップ』(HIT PARADE LISTENING)
マクミラン・ランゲージ社発行 定価¥2,000

参考書等

必要に応じてその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語	ほん ま あき お 本 間 章 郎	短 放 1 必	2

講義のねらい

今まで勉強してきた英語の文法、構文の知識を確認しながら、ニュース英語を読むことを練習していきます。ニュース英語の構成、語法などの特徴を習得し、この授業が自分で実際の英字新聞を読む際の土台として役立つようになることを期待しています。

講義の内容・
授業スケジュール

さまざまな分野にわたるトピックを読んでいくために、いくつか専門的な用語などができますが、詳細な注がついているので、英語の苦手な方でも積極的に授業に参加できるのではないかと思います。

成績評価の方法

担当者だけでなく、できるだけ多くの出席者に質問をしていきたいと思しますので、受講者は予習をしてくることを期待します。また出席は毎回とります。

成績評価の方法

前期、後期に試験をおこなう予定です。試験の結果を基本として出席、および授業態度を考慮して評価します。

教 科 書

大月実編『News for You-1998/99 Edition- (やさしいニュース英語)』成美堂
¥1,700

英
語
学
習
の
こ
ろ

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I	あづま づま 妻 雄次郎	短英 1 年	2

講義のねらい

1週1回の授業をいかに有効に生かすかが課題です。簡単な文章を読み、耳で聞きとり、話すことができるように、基本的な文法をも修得するのがねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

英語に比べ、ドイツ語の文法はやや複雑です。従って最初少し油断したために分からなくなり、興味を失うことがあります。何事によらず初めが肝要です。教室での指示に従って、短い時間で結構ですから、集中して予習復習に時間を割き、いつも前向きに取り組んで欲しいと思います。

成績評価の方法

出席状況や理解度、その他年2回程のテストで評価。

教科書

近藤 弘他著『Dialog-ドイツ語へのキックオフ』¥2,400

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I	よし だ 田 文 子	短英 1 年	2

講義のねらい

最終的にはドイツ語の読解力をつけることが目的です。ドイツ語との出会いは初めてという方が殆どだと思いますので、文法の説明は必要最低限にとどめ、日常的な文章を読み、それを参考に簡単な文を書く練習をします。

履修上の留意点

語学は積み重ねですから、授業は休まないようにして下さい。辞書は小まめにひいて語い力をつけるよう努力して下さい。

成績評価の方法

授業中の態度、小テスト、前期後期の2回のテストを総合して成績評価を行います。

教科書

未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語	あづま ゆうじろう 吾妻 雄次郎	短放 1 必	2

講義のねらい

放射線科に与えられた、唯一の、一度だけのドイツ語の時間です。近ごろはこの貴重な時間を通じて、ドイツ語の初歩のすべてとまではいかなくとも、この言語を通じて、何かを学ぼうとする意欲の感じられる学生が見られるようになりました。簡単な文章から、基礎的な文法の初歩を学び、こちらの意志が相手に通じるような表現を身につけるところまでいきたいと思います。

履修上の留意点

ドイツ語の文法は英語に比べ、やや複雑です。はじめ少し油断すると、(休んだりしても)理解できなくなり、興味を失い、挫折のもとになりかねません。ブランクは自分の責任で埋めておくのが大学生の在り方です。教室での指示に従って、短時間、集中して、予習・復習に成果を見いだして下さい。

成績評価の方法

出席の状況や理解度、年2回程度のテストで評価。

教科書

在間 進/M.ゼッテコロン著『発見型ドイツ文法』朝日出版社 ¥2,000

参考書等

参考書は特に必要なし。独和辞典は必要。

必修
選択必修
ドイツ語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語	よし たかみ こ 吉田 文子	短放 1 必	2

講義のねらい

最終的にはドイツ語の読解力をつけることが目的ですが、煩雑な文法でドイツ語が嫌いになってしまわないための方法として、文法説明は最低限必要なものだけにし、簡単な日常文章を「聞き」「話す」ことを中心に授業を進めます。

講義の内容・授業スケジュール

ペアあるいはグループによる練習が多くなるとおもいます。積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

成績評価は平常の授業への参加の度合、小テスト、前期後期2回のテストを総合して行います。

教科書

教科書は「はじめて会うドイツとドイツ語」、朝日出版社 2,000円

〔フランス語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I	たけだまさずみ 竹 田 正 純	短 英 1 年	2

講義のねらい

フランス語を、文法に片寄らないで、バランスよく聴き・話すことを中心にすえて、総合的な力が身につくようになることを目指す。しかし、読解力の養成にも時間をさいていく。

講義の内容・授業スケジュール

コミュニケーションを中心にした教科書を使うので、読解を考慮した副教材（教室で配布）で不足部分を補う。

履修上の留意点

実践的な授業なので、指定するカセット・テープをよく聴き、実践力の向上に努めてほしい。

成績評価の方法

前・後期の定期試験には、基礎力のほか応用力のテストもおこなう。

教 科 書

嶋崎陽一「フランス語のひとつとき」(朝日出版社) ¥2,000

参 考 書 等

数江譲治「フランス語のABC」(白水社) ¥1,600

〔中国語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I	ひろ かね か な こ 弘 兼 加 奈子	短英1年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

教科書を中心に、多く聞き、話すことを主として学習を進める。特に発音に留意し、美しい中国語、通じる中国語を目指す。

〔ディクテーションが中心となるので発音や初期の段階でつまずくと、後半の授業は困難〕
になる。そうならないためにも自宅で必ずテープやCDを聞くことを要求する。

履修上の留意点

語学は日々の積み重ねである。休まないこと。特に私語は厳禁。

成績評価の方法

成績は年間4～5回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

相原茂『中国へのパスポート』朝日出版社・カセット込み 2,200円

〔スペイン語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I	さ とう ひろ こ 佐 藤 紘 子	短英 1 年	2

講義のねらい

1年間で、必要最低限の文法事項に一通り目を通し、辞書を片手に簡単な読み物を楽しむことができるように指導したい。

講義の内容・授業スケジュール

テキスト（全12課）の1課を2回の授業で学習する予定であるが、それはあくまで目安であって、受講者の能力や熱意に応じて、進度は調整できる。授業は、教師の文法事項の説明の後、受講者が練習問題をする形式で行われる。時には、スペインの文化に関する短い読み物を取り上げ、読解力を伸ばすだけでなく、録音テープを聞いて、発音やヒヤリングの練習も行う。

履修上の留意点

語学の習得は知識の積み重ねであるから、授業への出席は不可欠である。

成績評価の方法

前期・後期試験の成績に、1課が終る度に行う小テストの点数を合わせて評価する。

教科書

大岩勉，カルメン・パボン，高橋覚二『はじめて学ぶスペイン語』第三書房 ￥2,000

参考書等

最初の授業で指示する。

3 外国語科目

必修・選択必修科目
再履修クラス

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I 〔再 ク ラ ス〕	まえ だ おさむ 前 田 脩	短 英 2 年 H9以前入学生/短国2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

授業のはじめに30分程度のリスニングを行います。リーディングは毎回あてますので必ず予習してください。前期は英作文を主体に、後期はリーディングを主体に授業をすすめます。

成績評価の方法

授業中の発表等日常評価と出席、前期・後期のテストを総合評価します。

教 科 書

『トゥエンティーズ・センチュリー・ブリティッシュ・オーサーズ』金屋堂 ¥980
『エピソードリスニング』鶴見書店 ¥830

再
ク
ラ
ス

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 〔再 ク ラ ス〕	き むら かつ ひこ 木 村 克 彦	短 放 2 年	2

講義のねらい

やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォーチュン誌」の記事も訳読してゆきたい。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験に因るが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教 科 書

『Developing Reading Skills』朝日出版社 ¥1,700

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I 〔再クラス〕	い が ら し の が 五十嵐 信 子	短 英 2 年	2
		H9以前入学生/短英2年	

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な文法を理解し、これを身につける。一年間で一通りの文法をマスターすることによりドイツ語の世界への道がひらけ、ドイツ語圏のさまざまな文化現象への関心がひろがってゆく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) テープなどを聞き、ドイツ語の正しい発音を身につける。
- 2) ドイツ文法の基本を理解する。
- 3) 各文法の項目を例文、練習問題を読み解くことで覚えこむ。
- 4) やさしい会話ができる。
- 5) 辞書がひけるようになり、ドイツ文を自力で読めるようになる。

成績評価の方法

年2回の定期試験や時間内の小テスト、これに出席や授業参加態度などの平常点を加えて評価する。

履修上の留意点

学生諸君に望むこと。
新しい言葉を学ぶことは本来楽しいことです。しかし言語は、どの部分も欠くことのできない一つの建造物に似ています。柱一本抜けても傾いてしまう、それゆえにこの時間は休まず出席することが望まれます。
しかし、その時々幾らかの予習復習とともにこのような一年間を過ごした後、諸君はドイツ語世界への鍵を手に入れ、さらに一つの事をなしとげた自信を獲得されることでしょう。

教 科 書

在間進・納谷昌宏・清野智昭編著 『明るく楽しくドイツ語を！』三修社 ¥1,553 (本体価格)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 〔再クラス〕	も も ず み い さ む 百 濟 勇	短 放 2 年	2

講義のねらい

私の古巣のベルリン・ドイツ経済研究所に実習生として来ているドイツ人学生を見ていると、外国語を習得していることが前提となっている。その経験からも駒沢大学学生にも外国語は強くなって欲しい。勿論、週1回(放射線学科学学生)或いは2回程度の授業の時間数で習得は不十分である。だが、その条件のなかでもより効果的な授業をおこなう努力をする。その一つが、文法を中心とした用紙テストなどを原則として毎時間行うつもりである。テストは、毎回採点して学生に返却する。それを通じて、《外国語習得の感性》を養い、かつ《習得方法》をじっくり考えてもらう。教科書は使用するが、それ以外にも適時コピーによる資料を配布する。前期、後期の定期試験は行わない。平常点で採点する。そこでこの授業を受ける学生は、再履修クラスだけになおさら出席が前提となる。意欲的な学生の受講を望む。

教 科 書

丸本/滝野『ゆとりのドイツ語』郁文堂 ¥1,800

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語Ⅰ 〔再クラス〕	かとうせつこ 加藤節子	短英2年 H9以前入学生/短国2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは基本文、文法、練習問題、及び基本文を用いたスケッチという四つの部分から構成されている。絵を多く使って単語を覚えるようにしており、シャンソンもいくつか付されている。

履修上の留意点

予習・復習が不可欠である。

教科書

『F・コム・ファシル』白水社 ￥1,600

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅰ 〔再クラス〕	はたのまや 波多野真矢	短英2年 H9以前入学生/短国2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

正確な発音・ピンイン・簡体字の学習と、テキストに沿った基礎文法の学習を行う。

履修上の留意点

随時発音チェック等を行うので、授業時以外での練習・努力が必要。出席も重視する。

成績評価の方法

平常点・定期テスト・出席等により総合的に評価する。

教科書

関根謙著『基礎固め中国語』同学社 ￥1,648

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語Ⅰ 〔再クラス〕	さとう まりの 佐藤 麻里乃	短英2年	2
		H9以前入学生/短国2年	

講義のねらい	文法の基礎を習得し、スペイン語の構造や特徴を理解する。
講義の内容・ 授業スケジュール	毎時間、文法の説明の後、練習問題を各自やって提出してもらう。
履修上の留意点	教科書と辞書を必ず毎回持参すること。
成績評価の方法	出席率と平常点（提出物の点と授業態度）により評価する。
教 科 書	宮本博司著『簡約スペイン文法（改訂新版）』大学書林 ￥1,365
参 考 書 等	『プログレッシブスペイン語辞典』小学館

3 外国語科目

選 択 科 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 講 読	まえ だ おさむ 前 田 脩	短 国 ・ 短 英 1 ・ 2 選	4

講義の内容・
授業スケジュール

19世紀イギリス文化を扱います。とりわけヴィクトリア女王時代の庭園や建築に関するテキストを使って、同時代の趣味について見てゆきます。大庭園が小規模な現代の庭園に与えた影響を見てゆきたいと思います。

成績評価の方法

日常評価と後期テストを総合評価します。

教 科 書

庭園に関する本（未定）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 講 読	まさ の てる よし 牧 野 輝 良	短 国 ・ 短 英 1 ・ 2 選	4

講義のねらい

英語による著作の正確な内容把握を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

近年国際間の交流は盛んで、外国への人々の往来は増加の一途を辿っている。いかなる国も孤立しては存在し得ない。そこで各国間の、各国民間の交流の仕方が問題になってくる。ただ相手方の言葉を習得しさえすればよいという時代は終わった。特に工業技術は発達しているが天然資源の乏しい日本にとっては他の世界諸国との係わり方、すなわち真の交流、国際化が重要な問題である。ライシャワー元駐日アメリカ大使は日本の若者に期待を込めて日本の「真の国際化」について提言する。We must see ourselves as citizens of a world community of nations which cooperate with one another for their common goods. 博士は共存共栄の切実な事を訴えている。この一年間博士の提言を学んでいく。

履修上の留意点

受講はよく予習し、博士の主張を理解しておくこと。

成績評価の方法

授業中の読解と期末テストによって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 講 読	や しま なお こ 矢 島 直 子	短 国 ・ 短 英 1 ・ 2 選	4

講義の内容・
授業スケジュール

イギリス演劇界の大物 Harold Pinter の *The Birthday Party* を読む。Pinter は不条理の劇作家と言われているが、初期の作品はむしろきわめつけのリアリズムとも言える作品で、現実に日常交わされる会話を切り取ってみせているような作風である。それでいて、当作品は謎もある。

授業はなるべく学生諸君にやってもらう演習形式を取るため、ぜひ予習をしてほしい。到達目標は、演劇作品を自力で読めるようになることである。

成績評価の方法

平常点が20%、前期末試験と後期末試験とが80%である。

教 科 書

Harold Pinter "*The Birthday Party*" London : Faber and Faber

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語 研 究	う つ の み や ひ で か ず 宇 都 宮 秀 和	短 国 ・ 短 英 1 ・ 2 選	4

講義のねらい

我々の日常生活においてもちょっと気をつけてみると英語による情報はいくらかでも入手することができる時代になった。NHK 衛星放送、多重放送によるNHK ニュース、FM 放送、各新聞社による英字新聞などである。ところがこれらを利用している日本人は案外少ないようだ。特にヒアリングに関して、そのスピードがあまりにも速いので追いついていけない人が多い。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、授業の日になるべく近い上記の英語情報を材料にして、一年後には自分自身で英語による情報を手に入れることが出来ることを目的にしたい。そのためには毎授業かなり集中した勉強が要求される。従って1回1回の授業によって成績評価をするので前・後期の期末試験は行わない。

成績評価の方法

出席は3分の2以上。

教 科 書

テキストは授業毎にプリント配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語 研 究	かわ うち けん りょう 河 内 賢 隆	短 国 ・ 短 英 1 ・ 2 選	4

講義のねらい

現代は世界の出来事が発生と同時に地球全土に伝わる時代である。したがって、それを理解するには英語は不可欠である。本授業では、政治、経済、科学などさまざまなテーマを取り上げながら、時事英語を理解する力を高めていきたい。

履修上の留意点

授業に出る前に必ずテキストに目を通しておくこと。ときどき英字新聞なども目を通すことをすすめる。

成績評価の方法

出席点と発表点に、前期・後期の成績を加え総合的に評価する。

教 科 書

『世界ニュース展望 '98』金星堂 ￥1,600

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語 研 究	はやし あき と 林 明 人	短 国 ・ 短 英 1 ・ 2 選	4

講義の内容・
授業スケジュール

アメリカの abc news を用い、リスニングの向上およびニュース英語に慣れることを目的とします。授業の進め方は、まず教員が学生に少し難しいと思われる単語の説明をし、そのあと学生はテープを5回を聞き、ニュース全体を大まかに把握します。このとき学生には何も与えられません。ここで数名の学生に、どの程度把握できているかニュース全体の内容に関して質問をします。このあとニュースをもう一度始めから聞き、全文をディクテーションしながら内容を確認します。そして最後に教員からニュース文が手渡され、学生はそれを見ながらもう一度テープを聞き、どこが聞こえなかったか各自確認します。一つのニュースが10行くらいで、リスニング中心ということもあり内容（政治・経済に限らずあらゆる話題）は比較的簡単ですが、アメリカで放送されているニュースそのままですので聞き取りとしては少し難しいかもしれません。しかし、慣れるに従って1時限の間に数多くのニュースをこなせるようになると思います。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、小テスト、レポート、出席の総合評価です。

教 科 書

教員が作成したものを用いますので、市販の教科書は用いません。授業時にプリントを配付します。

参 考 書

Sanseido's Dictionary of News English (三省堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おの 逢 見 明 久	短 国 ・ 短 英 1 ・ 2 選	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語は表音文字である。つまり英語の文字は言葉の響きを伝える記号といえる。英語学習においては音は無視できない要素なのだ。音読の実践は、英語という言語形態を理解する上で、もっとも基礎的で重要な作業といえる。それは聞き取りの力のみならず、読解力、表現力にもつながってゆく。したがって、この授業では、英語の音読を出発点として、英語の表現法を考え、端的に簡単な英語で説明する力を養うことを目標にする。

成績評価の方法

授業中における発表と課題レポートから判断する。総合的な評価の割合は、授業における発表が50%、課題レポートが50%である。ただし、平常授業の欠席率が3分の1を越えた場合は、不合格とする。

教 科 書

プリント使用予定。

そ の 他

映画は生きた英語の表現法の宝庫である。映画の台本は、様々なジャンルの映画を網羅しているスクリーンプレイ出版社のテキストが入手しやすい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おお ば なお き 大 庭 直 樹	短 国・短 英 1 ・ 2 選	2

講義の内容・
授業スケジュール

このクラスでは、「知のコンピューター」活用を楽しむ。

第一の課題は、Office 97 を使いこなすことである。Office 97 は Word (ワープロ)、Excel (表計算)、Power Point (プレゼンテーション)、Schedule+ (スケジュール管理) を中心としたアプリケーションである。Word 95 と電子辞書を使いながら、論文、公式文書、ビジネス文、手紙、英文等の書き方を訓練する。また、このソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートを「思考の道具」として利用するノウハウを体得する。更に、Excelでの表、グラフ、データベースの作成、また、図形、画像、デザイン文字の作成を学び、それらをリンクさせた複合文書を作成する訓練をする。

第二の課題は、インターネット (マルチメディア) の世界を体験することである。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく。しかし、ネット・サーフィンで大切なことは、インターネットを一人歩きし、必要な情報探策ができるようになることである。したがって、このクラスでは、受講生が様々なサーチ・エンジンを使って、学術ネットワークの情報検索のための基本的なテクニックを身につけることに重点を置く。

第三の課題は、Windows 97 のネットワーク (リモートアクセス、ファイルの共有、Fax機能、電子メール、LAN) を理解して、それらの機能を活用することである。受講生は、コンピュータの操作と通信の知識を身につけ、時間と距離を超えて、居ながらにして情報の交換を可能にする方法を学ぶ。受講生は、各自全員がEメール・アドレスを取得し、電子メールの交換をする。

第四の課題は、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使いこなすことである。このソフトは、カード型のデータベースをつくることを目的とし、受講生は各自の研究、文献・資料整理等、それぞれの必要に合った「メモ・カード」の作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。

履修上の留意点

英語に特に興味がある学生は、マルチメディア語学教材「マイクロ・イングリッシュ Windows版」その他CDなど、インターネットの語学学習のホームページを使って、英会話、英文読解、英文作成、TOEFL、TOEICの問題に挑むことができる。教室では、コンピュータを使った語学教材を紹介していくので、受講生は、それらを自主的に利用することである。

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のドキュメントを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

教 科 書

受講者が購入するものは教場で指示する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて情報教育センターの自習室 (朝9時より夜9時まで開館) で補習すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	にしむら ゆうこ 西村 祐子	短国・短英 1・2選	2

講義のねらい

コンピューターの初歩的な技術を利用し、ビデオ、デジタルカメラなども併用しながらマルチメディアで英語を習得するために、以下のようなことを行う。

1. コンピュータ（マッキントッシュ）を用いて英語のCDを見ながらストーリーのサマリーを英語でおこなう。（タイプしてe-mailで提出する。）
2. インターネットで得られる情報を簡便にまとめて英語で提出（e-mailで）。
3. ビデオでみた内容を英文でまとめる。
4. 英文でホームページを作成する。
5. デジタルカメラで撮影したものをコンピューターで編集、英語の説明を加えてみる。

履修上の留意点

マッキントッシュコンピュータの台数がすくないので20名程度しか受講できない。

成績評価の方法

提出物のみで採点するのできちんと宿題をだすことが必要。

教 科 書

特にないが、受講にはあとで全員ZIP（¥1,000程度）を購入してもらう。

英 会 話 II

〈英会話 II の授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話 I のレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFLのスコア500程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間割表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	ピアス, D. M.	短国・短英 2 選	2

講義のねらい

This is an advanced class for English conversation, but if you are at the elementary level, it is still a good course for you. In this class we will continue the basic conversation practice of English Conversation I ; we will practice conversation patters for everyday situations and practice elementary dialogues. We will also spend some time reviewing grammar, particularly for TOEFL, EIKEN, etc., some time on English composition, and some time practicing listening comprehension. Most of all we will also practice advanced conversation. Every week we will have conversation practice for holding "intelligent" dialogues about interesting topics instead of simple everyday conversation. I will also give short lectures on the difference between Japanese and American culture, and you will have practice talking to each other about what you think about these topics. The advanced conversation practice will give you very good preparation for the English III classes in the next year. You will love the course ; please join in!

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	ベンディネリイ, P. A.	短国・短英 2 選	2

講義のねらい

This is an english conversation course for students who already have some confidence in communicating ideas and opinions orally in english. Each student wanting to take this course must sit for an interview the first week of class sefore being allowed to enroll.

講義の内容・授業スケジュール

We will try to use the english which you have already learned to discuss different topics every week. No text will be used but preparation for class will be required.

成績評価の方法

No formal exams will be given but students will be graded weekly depending on level of class participation.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	Ziegler, P. M. (ジグラー, P. M.)	短国・短英 2 選	2

講義の内容・
授業スケジュール

The focus of this course will be the comprehensive development of student English skills. The text to be used is a popular collection of thought-provoking short stories that will make this an enjoyable class. Students will gain a deeper understanding of American values and society in addition to improving their English skills.

成績評価の方法

Students will be assessed on attendance, notes, reports and presentations.

教 科 書

"A Third Serving of Chicken Soup for the Soul" Health Communications Inc.

英 会 話 Ⅲ

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFLのスコア500以上。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間割表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ランダー, J. S.	短国・短英2選	2

講義のねらい

Listening and Speaking skills

講義の内容・ 授業スケジュール

We will study the scenario and film of two movies, one different movie per semester. Challenging but interesting.

Each class will have exercises to develop students' vocabulary, listening ability, and speaking ability. Active class participation will be considered an essential part of this class. (This is not a lecture course).

There will be a final exam at the end of each semester, one in July, the other in December. In addition, there will be mid-term exams to help the teacher and student know his progress.

教 科 書

Sleepless in Seattle, Forrest Gump

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウェルズ, J. K.	短国・短英2選	2

講義のねらい

Hello Students,
English Ⅲ is a class where only English is spoken. You will be required to take part in all discussions in English! I will have some homework for you as well as two exams.

If you feel confident in expressing yourself in English, by all means, please attend my class.

I'm looking forward to meeting you. Come and see if my class is for you!

Regards,

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	デンドウ, G.	短国・短英 2 選	2

講義のねらい

This course will concentrate on developing the oral skills of students through discussion. This class is recommended for only those students who have a sincere desire to study challenging materials and work hard to improve their language skills.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will participate in discussions focusing on current events, controversial issues, and personal interests. Special emphasis will be put on the study of news and current events throughout the academic year. Students will study relevant vocabulary to assist in comprehension and discussion of class materials. Sources for class materials will include various textbooks, magazine and newspaper articles, as well as units developed by the teacher.

Details of class activities will be explained at the first class meeting.

履修上の留意点

Regular attendance and active participation are absolutely necessary. Students will be expected to keep themselves informed of news and current events as well as review materials on a regular basis.

成績評価の方法

Grades will be based on daily class performance and attendance.

教 科 書

No text will be used. Bringing dictionaries to class is highly recommended.

参 考 書 等

Various types of handouts will be used to facilitate discussion.

英 語 L L II

〈英語LLIIの授業内容と履修上の留意点〉

中級：LLI程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を習得します。英検準1級合格程度をめざします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	ピアス, D. M.	短国・短英2選	2

講義のねらい

This is an advanced class for English conversation, but if you are at the elementary level, it is still a good course for you. In this class we will continue the basic conversation practice of English Conversation I; we will practice conversation patterns for everyday situations and practice elementary dialogues. We will also spend some time reviewing grammar, particularly for TOEFL, EIKEN, etc., some time on English composition, and some time practicing listening comprehension. Most of all we will practice advanced conversation. Every week we will have conversation practice for holding "intelligent" dialogues about interesting topics instead of simple everyday conversation. I will also give short lectures on the differences between Japanese and American culture, and you will have practice talking to each other about what you think about these topics. The advanced conversation practice will give you very good preparation for the English III classes in the next year. You will love the course; please join in!

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	かざま のりひこ 風 間 則 比 古	短国・短英2選	2

講義のねらい

この科目の目的は、英語によるコミュニケーション能力を向上させ、英検かTOEFLの問題にも対応出来るように、その基本であるリスニングの能力を強化することです。

授業は、「テーマ」や「大意」の推測や、「音」をつかむトレーニングに重点を置いて、英語のまま理解出来るように毎回その日の内容を繰り返して練習する方法で進めます。また、随時、トピックの練習問題を行います。

成績評価の方法

成績評価は、授業内での復習テストや定期テストなどの結果を総合して判断します。尚、出席が全授業の3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教 科 書

“Communication Through English” 英宝社
“Challenge ToEIC” 成美堂

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	たか やなぎ ふみ え 高 柳 文 江	短国・短英2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

LLIに続く中級レベルとして、英語国でのさまざまな実際場面で意思疎通ができる英語力の習得を目的とします。前期は、主にリスニング中心に行い、後期では、状況に応じて自分の意見を自由に表現できるようなコミュニケーション能力の向上をめざします。
授業を理解していくには、必ず予習をして下さい。授業の性質上、出席点が重視されます。

成績評価の方法

成績は、日常点（50％・出席点を含む）試験（40％・前期試験、後期試験、小テスト）提出物（10％）で評価します。

教 科 書

使用教科書、その他は開講時に指定します。

そ の 他

テープレコーダー、ビデオ教材使用

英 語 L L III

〈英語LLⅢの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LLⅡを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL550点以上を目指した訓練コースです。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	いわ やま よし はる 岩 山 義 春	短国・短英2選	2

講義のねらい

この科目では授業の前半はテープの会話を聞き、アウトラインを英文で書く練習をする。テープは種々の話題を数人で議論する内容を選んだ。テープは長く、早口なので前の週に次にやる所を渡すので予習をすること。

授業の後半は英国や米国のビデオ・レクチャーを見て、種々の問題に答えてもらう。

成績評価の方法

全評価のうち、毎回提出する英文のアウトライン等を50%、前・後期末の試験（口頭発表）は50%とする。出席が全授業のうち3分の2に満たない場合は不合格となる。

教 科 書

テキストはプリントを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	く ほ ひ さ 子 久 保 ひ さ 子	短国・短英2選	2

英 語
選 択 科 目

講義のねらい

lecture が聞きとれ、議論できる程度をめざしたい。
LLⅡレベルを修得していることを前提とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

テキストをヒアリング、ディクテーション、スピーキング等で訓練する。

履修上の留意点

LLは、実習授業のため、ラボによる練習を、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

前期試験50% 後期実習授業50%

教 科 書

“Michigan Action English Step 6” World Times of Japan

そ の 他

前期はスピーチ、後期はディスカッションを含む。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L III	まち だ なお こ 町 田 尚 子	短国・短英 2 選	2

講義の内容・
授業スケジュール

このコースはLL応用(上級)編として、次の2点を中心に展開します。
 (1)人文、社会、科学分野の問題に関する英文講義を聴き取り、大要をまとめる練習。講義内容は広い視野にたった一般概論的なものを選びます。
 (2)Cambridge Preparation for the TOEFL Test から選んだテスト。

成績評価の方法

毎授業の口頭発表と提出する英文概要(エッセイ)の評価(A-D)を主とし、それに(2)のテスト成績を加味して評価点を出します。

教科書

必要な場合はプリントを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	たか の ひで お 高 野 秀 夫	短国 1 選	2

講義のねらい

英作文・スピーチ、口語的表現等の基礎を養い、書く、聞く、話す能力を身につける。教養と実用の両面から読み書き話すこと、またその国の文化、歴史、風俗、思考方法等を知ること。専門書を原書で読めるようになることを目標としています。

講義の内容・
授業スケジュール

前期

- ① Natural Speedで英語の読み、書き、聞く能力を高める。
- ② 教科書を読み進める。

19世紀英国ヴィクトリア朝後期の作家Thomas Hardyは、運命論者として知られ、「この宇宙にはImmanent Will(内在された意志)があり、人は小我を持ち、これに立ち向かい破れる」という筋で主人公の皮肉な人生を描くのが得意である。

悲劇的運命を辿る主人公に焦点を当て、いろいろな視点から人生とは、文学とは何かを考えて行く。

後期

前期と同じ授業計画。

- ① 30~40分間 テープの英語
- ② 50~60分間 教科書を逐字訳しながら、内容、文構造の基本理解を図り、19世紀英文学への理解を深める。

履修上の留意点

毎回教科書の逐字訳をするので必ず予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

- ① 前期・後期一回づつテスト実施
 - a. テープの英語
 - b. 教科書
- ② 課題のレポート提出

教科書

- ① *To Please His Wife And Other Stories*
- ② *Listening Capsules*.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	ほん ま あき お 本 間 章 郎	短 国 1 選	2

講義のねらい

今まで勉強してきた英語の文法、構文の知識を確認しながら物語を読んでいます。日本語で書かれた小説を楽しむように、英語で書かれた小説を楽しむきっかけになればと期待しています。

講義の内容・
授業スケジュール

『のっぽのサラ』という作品を読んでいます。この作品は数年前、NHKで『潮風のサラ』という題で放送されたので知っている方も何人かいるのではないかと思います。一人称の少女の視点から語られる物語で、彼女の揺れ動く心情を読んでいます。平易な文体に加えて、詳細な注がついているので、英語の嫌いな方でも取り組みやすいのではないかと思います。

履修上の留意点

担当者だけでなく、できるだけ多くの出席者に質問をしていきたいと思しますので、受講者は予習をしてくることを期待します。また出席は毎回とります。

成績評価の方法

前期、後期に試験をおこなう予定です。試験の結果を基本として出席、および授業態度を考慮して評価します。

教 科 書

Patricia Maclachlan 著、西出公之編注『Sarah Plain and Tall (のっぽのサラ)』成美堂
¥980

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	ふじ しま たか き 藤 島 喬 樹	短国1選	2

講義のねらい

入学時の英語力を基盤とし、使用 TEXT により一層高度の読解力と聴解力の習得を志向する。尚、読解力向上に当っては、より高度な構文理解も含め、精読力充実に加え、速読力〔TEXT 各章、各段落等の大意把握〕の向上をも志向する。一方、聴解力向上に当っては出来るだけ日本語を介入させずに、英語を英語で理解する実力向上を志向する。

講義の内容・授業スケジュール

語学学習の読む、書く、聞く、話す四技能は知ってのとおり切っても切れない関係。中でも「読む力」は四技能中最も必要不可欠。その点を十分踏まえ、本講義では基本的には下記 TEXT を中心に授業を進める。又指定 TEXT 以外にも所謂使える英語志向のプリント類もその都度配布し、補充教材として併用する。各回90分授業前半45分間では四技能向上志向の MINI TEST (原則的に英検 2 級程度) を実施する。(所要時間は基本的には前半45分間を目安とするが、内容量いかんによっては45分を越える場合もあり得る。

履修上の留意点

- ① MINI TEST は各回授業開始と同時に即実施するので、遅刻や欠席のゴマかしは絶対に出来ない。もし欠席不受験なら勿論その日の得点は 0 点。遅刻もその都度減点の対象となるので十分に留意の事。又出席者に関しても MINI TEST とは言え、ただ単に受ければ済むものではない。各回とも平均して全体の 7 割以上の Point 取得を心掛けて欲しい。
- ② 年間全授業回数の最低 2 / 3 以上の出席がなくてはならない。即ち欠席率が授業全回数の 1 / 3 を越えれば否応なくその時点で DROP OUT.
- ③ 必ず然るべく予習をして受講する事。
- ④ 受講の際は各自必ず英和辞典を用意する事。

成績評価の方法

- I 平常点 (具体的には以下の①～③)
 - ①年間各回授業参加の度合い。(これは出席回数のみを意味するのでは決してない。大学生として本来あるべき実質的受講態度を意味すると心得よ。)
 - ②MINI TEST 各回の Point (授業各回前半実施。各回それぞれ百点満点で換算すれば各回共70Point 以上は取得するように。)
 - ③授業内での質疑応答並びに発表時の Point
- II 前・後期両定期試験。(7月と学年末にそれぞれ実施) 前後期いずれの定期試験も①～③のうち最も比重は大きい。両試験共各100点満点で最低60Point 以上獲得し、初めて CLEAR 出来たとする。
- III 提出課題 (その都度課すがいずれも然るべく解答の上、指定期口厳守で提出の事) 以上 I・II・III 三者を総合し、年間単位で評価を出す。

教科書

1. 土屋武久他編『リーディング・スキルの演習』(READING NAVIGATOR) 三修社発行 定価¥1,600
2. 熊井信弘他著『楽しく学ぶロック・アンド・ポップ』(HIT PARADE LISTENING) マクミラン・ランゲージ社発行 定価¥2,000

参考書等

必要に応じてその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	よし ざわ えい し ろう 吉 沢 栄 治 郎	短 国 1 選	2

講義のねらい

心の糧となるような様々なエッセーを読んでいます。エッセーに親しむことによって物事は「角度」を変えれば意想外な面を見せることに気がつくでしょう。諸々のことを、より広く、深くとらえるよすがとしてエッセーはよんで益するところ大といえる。少しでもそうした物の見方・考え方を涵養する機会となればとおもっています。

講義の内容・授業スケジュール

重厚な調子のもの、軽妙な筆致、あるいは物語風といったバラエティに富ませて、エッセーのだいご味を堪能していただく。中にはかなりむづかしいものも含んでいるけれど、反復熟読してゆけば、しだいに眺望も開けよう。前期は重厚なものを中心に、後期は軽妙な文体をメインにしてゆく予定。

履修上の留意点

英和辞典を有効利用したいものだ。

成績評価の方法

1月の定期試験で評価します。

教科書

プリントを随時、配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	たか の ひて お 夫 高 野 秀 夫	短 英 1 選	2

講義のねらい

英作文・スピーチ、口語的表現等の基礎を養い、書く、聞く、話す能力を身につける。教養と実用の両面から読み書き話すこと、またその国の文化、歴史、風俗、思考方法等を知ること。専門書を原書で読めるようになることを目標としています。

講義の内容・授業スケジュール

前 期

- ① Natural Speedで英語の読み、書き、聞く能力を高める。
- ② 教科書を読み進める。

19世紀英国ヴィクトリア朝後期の作家Thomas Hardyは、運命論者として知られ、「この宇宙にはImmanent Will (内在された意志)があり、人は小我を持ち、これに立ち向かい破れる」という筋で主人公の皮肉な人生を描くのが得意である。

悲劇的運命を辿る主人公に焦点を当て、いろいろな視点から人生とは、文学とは何かを考えて行く。

後 期

前期と同じ授業計画。

- ① 30～40分間 テープの英語
- ② 50～60分間 教科書を逐字訳しながら、内容、文構造の基本理解を図り、19世紀英文学への理解を深める。

履修上の留意点

毎回教科書の逐字訳をするので必ず予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

- ① 前期・後期一回づつテスト実施
 - a. テープの英語
 - b. 教科書
- ② 課題のレポート提出

教科書

- ① *To Please His Wife And Other Stories*
- ② *Listening Capsules.*

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	よし ざわ えいじ ろう 吉 沢 栄 治 郎	短英 1 選	2

講義のねらい

日常よく使われる言い方を口頭による練習で数多く覚えてもらう。中にはそんな言い廻しもあるかとおもわれるものも含み、意外な発見もあるでしょう。大事なことは、大抵のことは英語で言えるように、平素からこまめにノートしながら、或いは朗唱しつつ、積重ねることに尽きる。

講義の内容・授業スケジュール

一つの言い方にとどまらず、できるだけ訳例を掲げます。それらの表現の妙を充分味わってほしい。一つの課（A10題、B7題）のうち A を先に英訳していく。一回の授業で5題ずつこなしていく予定。A を終えた後 B へ進む。

履修上の留意点

和英辞典と英英辞典を併用することが望ましい。

成績評価の方法

1月の定期試験で評価します。

教科書

第1回の授業時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II	い とう こう いち 伊 藤 幸 一	短国 2 選	2

講義の内容・授業スケジュール

受講生は、大凡、進学希望である、と聞く。協力できればと思うが、本年度は、連続を目差す。積極的に参加して貰えると思うが、着席順に当てる。予習だけでなく、復習のために、宿題レポートを3回、課し、更に、まとめとして、最後にペーパーテストの予定。評価は、以上、3点による。詳細は、最初の授業時に。

教科書

The Silver Sword (桐原書店)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II	くまざき ひさこ 熊 崎 久 子	短 英 2 選	2

講義のねらい

戦後華やかにアメリカ文壇に登場し、1990年代後半に数多くの作品を発表したトルーマン・カポーティの中期の代表作「ティファニーで朝食を」を読みます。方言、俗語などもしばしば出てきますが、内容、表現を楽しめるよう、読解力の向上を図ります。愛着を込めて描かれているニューヨークの風物、都会的なスマートな雰囲気味わえるよう期待します。

講義の内容・授業スケジュール

- ① ヴィデオ・テープを用いてアメリカ映画 "Breakfast at Tiffany's" を観賞し、hearing の訓練を行う。
- ② 内容について意見の交換をする。内容の理解を深める。
本文内容についての意見の発表、その他問題点についての討論など、いずれの場合もクラス全員の自発的発表、参加を主体に授業を進めます。

履修上の留意点

活発な発言と意見の交換を求められますので出席者は十分な予習が必要です。あらかじめ内容を把握し、また語句の下調べ、英語表現に関しても事前に必ず独自の意見をまとめておいて欲しい。質問に対しては即答できるようにしておくこと。

成績評価の方法

前期、後期各一回行う試験の評価 ……………60%
平常点 ……………40%

教 科 書

"Breakfast at Tiffany's" (Penguin Books)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II	たき せい じゅ 滝 静 寿	短 英 2 選	2

講義のねらい

英文科2年の基礎英語であることを念頭におき、速読を主としたドリルを行う。西洋の文化・芸術の背景となる『ギリシャ神話』をとり上げ、輪読しながら教養を身につける一助にしたい。また読み終えたら、日本の昔話を英作してみる時間を作る予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期・後期前半：ギリシャ神話概説と速読。
後期後半：日本の昔話の英作と発表。

履修上の留意点

輪読するが、慣れるにしたがいテキストを見ないで聞く訓練をするので、朗読する者は聞く者が理解できる読み方をするのが肝要である。後期後半は、自分で英作した日本の昔話を話して聞かせることになるので、英作文の力をつけなければならない。

教 科 書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I	あづま ゆうじろう 吾妻 雄次郎	短国・短英 1 選	2

講義のねらい

1 週 1 回の授業をいかに有効に生かすかが課題です。簡単な文章を読み、耳で聞きとり、話すことができるように、基本的な文法をも修得するのがねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

英語に比べ、ドイツ語の文法はやや複雑です。従って最初少し油断したために分からなくなり、興味を失うことがあります。何事によらず初めが肝要です。教室での指示に従って、短い時間で結構ですから、集中して予習復習に時間を割き、いつも前向きに取り組んで欲しいと思います。

成績評価の方法

出席状況や理解度、その他年 2 回程のテストで評価。

教科書

近藤 弘 他著『Dialogードイツ語へのキックオフ』¥2,400

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I	よしだ ふみこ 吉田 文子	短国・短英 1 選	2

講義のねらい

最終的にはドイツ語の読解力をつけることが目的です。ドイツ語との出会いは初めてという方が殆どだと思いますので、文法の説明は必要最低限にとどめ、日常的な文章を読み、それを参考に簡単な文を書く練習をします。

講義の内容・
授業スケジュール

履修上の注意

語学は積み重ねですから、授業は休まないようにして下さい。辞書は小まめにひいて語い力をつけるよう努力して下さい。

成績評価の方法

授業中の態度、小テスト、前期後期の 2 回のテストを総合して成績評価を行います。

教科書

未定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II	あづま けいすけ 吾 妻 雄 次 郎	短 国 ・ 短 英 2 選	2

講義のねらい

1年次に修得したドイツ語の基本構造を復習し、確認する場にしたい。従って少し複雑な文章の読解力、それから会話の原点としての聞き取り・表現力を養うことに力点をおきたいと思いません。

履修上の留意点

この『ねらい』をより効果あらしめるためには、これまでの到達点の確認、そして新しい分野に備えての予習を怠りなく、この繰り返しの習慣化して欲しいと思います。

成績評価の方法

出席の状況や理解度、年2回程のテストで評価。

教 科 書

大谷弘道著「CD付き、新・問いかけるドイツ語」三修社 ¥2,500

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I A (選)	しみず おさむ 清 水 修	短 国 ・ 短 英 1 ・ 2 選	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を、特に日本語および英語と比較対照しながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。ドイツ語の学習においても、実際の言語の応用においても「話す・聞く・書く・読む」という要素のバランスが重要であることはいうまでもない。しかし、初めて、しかも第二外国語としてドイツ語を学ぶには、まず文法と語彙を学ぶことが重要である。この授業においては「書く読む」に重点をおいて授業を進める。

また、ほとんどの学生が大学生になって、初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということを考慮して、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語に対する理解をさらに深める契機になると思います。

成績評価の方法

年に2回実施する試験等で総合的に判断する。

教 科 書

早川東三『完全ドイツ文法（改訂版）』朝日出版社

参 考 書 等

ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破 単語集』三修社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅠB(選)	お 織 た しけ み 織 田 繁 美	短 国 ・ 短 英 1 ・ 2 選	2

講義のねらい

今日大学では入試の多様化とカリキュラムの改変が進み、一般社会では住専の破綻に端を発し、銀行、証券会社の破産という金融機関の信用不安がまき起こり、国外では東南アジア、韓国の貨幣価値の下落というように、社会全体が大きく変化しているのが感じ取れます。二十年、三十年以前の文化系の学生なら、銀行への就職は垂涎的であったでしょうが、バブル崩壊後の今では金融機関に対する一般社会の考え方も大きく様変わりしています。このような世の中の変化の中で世の中の情勢を的確に把握するにはどうすればよいか、将来をどのように見極めるべきかなかなか難しいことと思います。証券会社一つの破産にしても世界市場に直に影響を及ぼすので、国内情勢だけで世の中が動く時代ではなく、世界的な視野から日本の動きを見るという見地に立たなければなりません。このような観点からも、外国語の重要性はますます高まっていると思われるのです。

履修上の留意点

この授業では最初一箇月は発音の規則をしっかりと勉強します。ドイツ語の発音は英語よりずっと系統立っているので、これを勉強することによって言葉の把握の仕方がずっと楽になります。新しい言語は最初が大切なので、五月、六月の授業をしっかりと乗り切るように努めて下さい。

成績評価の方法

前期末、後期末の試験及び平常点による。

教 科 書

信岡資生『ドイツ語四重奏』同学社 ￥2,000

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語Ⅱ(選)	し ま と み え 志 真 斗 美 恵	短 国 ・ 短 英 2 選	2

講義のねらい

ドイツ語初級を終えた方たちが対象のクラスですが、最初は初級文法をしっかりと復習しながら授業をすすめていきます。

かならず自分で辞書をひいて、まず文の構造を確認すること、一方で内容について考えを深めることを念頭において予習して下さい。

テキストは、〈人間が人間としてどう生きていくのか〉〈集団としてどう生きていくのか〉〈地球とどう共存していくのか〉という三つの今日的な問題を取り扱ったものです。ドイツ語の力をつけていくと同時に、ヨーロッパ社会、さらに日本のわたしたちをとりまく現状についても考えてゆきたいと思っています。

履修上の留意点

成績は、平常点、定期テストで総合的に評価します。

成績評価の方法

山川和彦・橋本兼一編著『テーマで学ぶ ドイツ語圏の社会』(白水社) ￥1,854

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I	たけ だ まさ すみ 竹 田 正 純	短国・短英1選	2

講義のねらい

フランス語を、文法に片寄らないで、バランスよく聴き・話すことを中心にすえて、総合的な力が身につくようになることを目指す。しかし、読解力の養成にも時間をさいていく。

講義の内容・
授業スケジュール

コミュニケーションを中心にした教科書を使うので、読解を考慮した副教材（教室で配付）で不足部分を補う。

履修上の留意点

実践的な授業なので、指定するカセット・テープをよく聴き、実践力の向上に努めてほしい。

成績評価の方法

前・後期の定期試験には、基礎力のほか応用力のテストもおこなう。

教 科 書

嶋崎陽一『フランス語のひとつき』（朝口出版社）¥2,000

参 考 書 等

数江譲治『フランス語のABC』（白水社）¥1,600

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 II	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	短国・短英2選	2

講義のねらい

フランス語Iの延長上で、さらなる能力の発展を目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

中世フランスの歌物語の劇画版を少しづつ読み進めますが、会話の勉強にもなるでしょう。

履修上の留意点

欠席しないこと。積み重ね以外に向上はないと心得ること。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストを主にして成績評価をするが、授業中の課題・出席状況も考慮する。

教 科 書

『オーカッサンとニコレット』（第三書房）¥1200

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A (選)	井 田 清 子 い だ きよ こ	短 国 ・ 短 英 1 ・ 2 選	2

講義のねらい

フランス語を初めて学ぶ学生のための文法中心の授業です。文章を理解するための基本的な文法事項の動詞、名詞、冠詞、形容詞の用法などを、一年間で習得して、生きたフランス語を、無理なく正確に学ぶのが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

文法を中心にしながら、できるだけ総合的にフランス語を習得できるように、パリを中心とする生活情景を主題とした日常的な会話や、わかりやすい興味のある文章も同時に学びます。こうして身につけた文法知識を実際に例文の中で応用しながら、各種の文章を理解できるようにしましょう。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜まずに、自分で面白さを味わって下さい。

成績評価の方法

前期・後期の定期試験を中心に、通常点も加味します。

教 科 書

教科書は、『パリのどこかで』（第三書房）を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B (選)	加 藤 節 子 か とう せつ こ	短 国 ・ 短 英 1 ・ 2 選	2

講義のねらい

テキストは基本文、文法、基本的な単語を学びつつ、練習問題、基本文を用いたスケッチという四つの部分で一課が構成されている。絵を多く使って単語を覚えるようにしており、シャッソンもいくつか付されている。

履修上の留意点

必ず予習復習すること。

教 科 書

『F・コム・ファシル』（白水社）¥1,600

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語Ⅱ(選)	伊 藤 乃 お	短国・短英2選	2

講義のねらい

今日のフランスが抱えるさまざまな問題（失業、人種差別、結婚、離婚、青少年の不安、教育、政治状況等）を扱った文章を読み、初歩的な時事フランス語を習得するとともに、フランスの社会についての理解を深めます。

講義の内容・
授業スケジュール

分かり易い平易な文章で綴られた時事的なテキストの抜粋や青少年向けの新聞記事を読みます。また読んだテキストの理解度をチェックする簡単な問題も併せてやって貰う予定です。文法に関しては、「フランス語Ⅰ」で学んだことの復習、新しい事項の学習を随時行います。当然のことですが、テキストがスムーズに読めるよう、発音の矯正にも力を入れます。

履修上の留意点

初級文法を終えたばかりの皆さんでも充分取り組める平易なテキストを用意します。辞書を用いて必ず予習をし、指示された課題は必ずしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

前・後期の試験、「履修上の留意点」の要望が満たされたかどうかを踏まえて、成績評価を行います。

教 科 書

テキストは随時コピーを配付します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅰ	ひるかねかなこ 弘兼加奈子	短国・短英1選	2

講義の内容・
授業スケジュール

教科書を中心に多く聞き、話すことを主として学習を進める。特に発音に留意し、美しい中国語、通じる中国語を目指す。

ディクテーションが中心となるので、発音や初期の段階でつまづくと、後半の授業は困難になる。そうならないためにも、自宅で必ずテープやCDを聞くことを要求する。

履修上の留意点

語学は日々の積み重ねである。休まないこと。特に私語は厳禁。

成績評価の方法

成績は年間4～5回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

相原 茂著『中国語へのパスポート』朝日出版社 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ	あまのせつ 天野節	短国・短英2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

正確な発音が修得できるよう初級中国語の基礎を更に発展させ、長文を読み味わいつつ中国語で表現する力も養いたい。

前15課を2回で1課(1回)を終わる速さで進める。

履修上の留意点

予習復習を必ず行い、特に読む練習を念入りにすること。

成績評価の方法

授業態度(出席、課題、小テスト)及び期末テストの総合で評価する。

教科書

山下輝彦『北京恋情』同学社 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	かまや 釜屋 おさむ 修	短国・短英 1・2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

全15課(65ページ)の教科書に沿って、発音、発音記号としてのピンイン(ローマ字表記)、基本語法の習得をめざす。本文、文法のポイント、Let's try、練習問題を追いつながら進める。

履修上の留意点

ひとつひとつをじっくり正確に覚えながら学習すること。週一回の授業なので一回の欠席がもつ重みをしっかり理解しておくこと。欠席は学習権の放棄とみなし、受講資格の喪失につながる。

成績評価の方法

平常の学習成果、小テストおよび期末試験の成績、出席率などを総合的に判定する。

教科書

山下輝彦『初めての中国語』郁文堂 1,800円

参考書等

辞書等開講後に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I B (選)	おかわ たかし 小川 隆	短国・短英 1・2選	2

講義のねらい

必修のワク以外に自発的に中国語を学ぼうとする人のための初級クラス。この一時間で中国語の発音と文法の最低限の基礎を一通り学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめ数回ピンインとよばれる中国語独自のローマ字表記法を学ぶ。その後1日1課平均のペースで基礎的な文法項目とそれを使った易しい会話・文章を学んでゆく。毎回、新しい内容を学び、それが次の項目の基礎になってゆくの、休まず出席し、その課の内容は必ずその週のうちに身につけてしまうよう努めてほしい。

履修上の留意点

週1コマのこの時間内でもとにかく一通りの基礎を学べるよう進めるが、これだけでは練習量が絶対的に不足である。時間が許すかぎり、I A (選)と併せて履修するようにしてほしい。またテレビ、ラジオの講座なども利用して中国語にじかに触れる時間をなるべく多く確保してほしい。

成績評価の方法

成績評価の方式その他は一般のI A - I Bクラスに準ずる。

教科書

興水優『ワンポイント初級中国語』郁文堂 1,648円

参考書等

上野恵司『標準中国語辞典(第二版)』白帝社 2,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 II (選)	そ ね ひろ たか 曾 根 博 隆	短国・短英 2 選	2

講義の内容・
授業スケジュール

使用する教科書には、さまざまな状況において使われる800句の中国語会話文が収められている。授業では口頭練習、基本的文法の復習、練習問題などを通して、中国語の会話表現力の養成をめざす。

履修上の留意点

履修者は予習・復習をして、積極的に授業に参加して欲しい。

成績評価の方法

成績は平常点と試験を総合して判定する。

教 科 書

三野昭・『実用中国語八百句』同学社 2,400円

参 考 書 等

辞書は必要である。最初の授業で説明をするので、まだ持っていない者は説明を聞いてから購入して欲しい。すでに持っている者はそれを最初の授業に持参して欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 I	さ とう ひろ こ 佐 藤 紘 子	短国・短英1選	2

講義のねらい

1年間で、必要最低限の文法事項に一通り目を通し、辞書を片手に簡単な読み物を楽しむことができるように指導したい。

講義の内容・
授業スケジュール

テキスト（全12課）の1課を2回の授業で学習する予定であるが、それはあくまで目安であって、受講者の能力や熱意に応じて、進度は調整できる。授業は、教師の文法事項の説明の後、受講者が練習問題をやる形式で行われる。時には、スペインの文化に関する短い読み物を取り上げ、読解力を伸ばすだけでなく、録音テープを聞いて、発音やヒヤリングの練習も行う。

履修上の留意点

語学の習得は知識の積み重ねであるから、授業への出席は不可欠である。

成績評価の方法

前期・後期試験の成績に、1課が終る度に行う小テストの点数を合わせて評価する。

教 科 書

大岩勉、カルメン・パボン、高橋寛二『はじめて学ぶスペイン語』第三書房 ￥2,000

参 考 書 等

最初の授業で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 II	に わ しょう いち 丹 羽 昌 一	短国・短英2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

一学期の前半は、一年次の復習にあてる。

履修上の留意点

動詞の活用など、一年次にくらべて文法内容がさらに難しくなるので、履修者諸姉のより積極的な努力を期待したい。

成績評価の方法

期末テストの結果と同様、平常の学習態度も重視する。

教 科 書

最初の授業時に相談して決めるが、基本的にはプリントを主にする予定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A (選)	Navarro-Polo L. S. (ナバローポロ, L. S.)	短国・短英 1・2選	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞(不定冠詞・定冠詞)・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞ESTAR・SERとESTARの相違点・HAYとESTARの相違点・指示詞・否定文
5. 動詞TENER・所有詞・TAMBIÉNとTAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞(AR動詞・ER動詞・IR動詞)・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞I・TENER QUEとHAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞II・IR A+不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・天候や天気
の表現・SABERとCONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞GUSTAR
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞・比較の表現・最上級
12. 再帰動詞・再帰代名詞の位置・過去を表す時制

履修上の留意点

定期試験－7月と1月－

教科書

佐々木克実『スペイン語との出会い』芸林書房

参考書等

辞書、参考書については、最初の授業のとき紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B (選)	うり 瓜 たに 谷 アウロラ	短国・短英 1・2選	2

講義のねらい

スペイン語の初級文法をベースに会話表現を覚えます。必要に応じてプリントによる練習も行います。

成績評価の方法

前期、後期末に試験を行い、評価の基準とします。授業中の態度、宿題も成績の対象として考慮します。語学の修得には継続的な訓練が欠かせず、欠席は減点とします。とくに7回以上欠席したものは、期末試験の受験資格を失いますので欠席には十分注意して下さい。

教科書

宮本博司『ようこそスペイン語の世界へーミニ会話と初級文法一』大学書林 ¥1,648

参考書等

『スペイン語中辞典』(小学館)、『プログレッシブ・スペイン語辞典』等。
『現代スペイン語辞典』(白水社)『新スペイン語辞典』(研究社)、『スペイン語ミニ辞典』(白水社)等。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語Ⅱ(選)	ナバロ, ホワン J.	短国・短英 2 選	2

講義のねらい

この一年を通じ、卒業後も実用可能なスペイン語の基礎学力を修得する。

講義の内容・
授業スケジュール

動詞の過去形(不完了過去・不定過去)を中心に勉強する。各一課は、短い文章や会話及び練習問題で構成されている。

履修上の留意点

予習として単語の意味などは辞書で調べて頂きたい。

教 科 書

この講義の初回授業時間に教室にて配布するプリントを使用する。

4 保健体育科目

4 保健体育科目

《必修科目》

スポーツ実技〔ソフトボール〕	(田中佳孝)	179
スポーツ実技〔室内球技〕	(村松誠)	180
スポーツ実技〔テニス〕	(高橋俊介)	181
スポーツ実技〔ゴルフ〕	(三幣晴三)	182
スポーツ実技〔卓球〕	(秋田浩一)	183
スポーツ実技〔屋外球技〕	(田中佳孝)	184
保健理論(前期)	(吉田稔)	184
スポーツ実技〔再クラス〕	(竹田幸夫・牧野茂・宮沢栄作)	185
スポーツ実技〔再クラス〕	(長濱友雄)	186
スポーツ実技〔再クラス〕集中授業コース〔卓球〕	(前期:長濱友雄) (後期:高橋俊介)	187
スポーツ実技〔再クラス〕集中授業コース〔バドミントン〕	(前期:牧野茂) (後期:秋田浩一)	188
スポーツ実技〔再クラス〕集中授業コース〔ソフトボール〕	(前期:松村誠) (後期:舘岡儀秋)	189

《選択科目》

スポーツ実技〔室内球技〕	(秋田浩一)	193
スポーツ実技〔テニス〕	(高橋俊介)	194
スポーツ実技〔ゴルフ〕	(三幣晴三)	195
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(前期・基礎)〔バドミントン〕	(長濱友雄)	196
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(後期・基礎)		
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(前期・基礎)〔トレーニング&ニュースポーツ〕	(大石武士)	197
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(後期・基礎)		
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(前期・基礎)〔簡化太極拳〕	(大石武士)	198
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(後期・基礎)		
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(前期・基礎)〔室内球技〕	(宮沢栄作)	199
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(後期・基礎)		
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(前期・基礎)〔卓球〕	(長濱友雄)	200
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(後期・基礎)		
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(前期・基礎)〔室内球技〕	(牧野茂)	201
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(後期・基礎)		
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(前期・応用)〔バドミントン〕	(長濱友雄)	202
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(後期・応用)		
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(前期・応用)〔トレーニング&ニュースポーツ〕	(大石武士)	203
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(後期・応用)		
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(前期・応用)〔室内球技〕	(宮沢栄作)	204
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(後期・応用)		
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(前期・応用)〔卓球〕	(長濱友雄)	205
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(後期・応用)		

生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ（前期・応用）〔室内球技〕（牧野 茂）	……………	206
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ（後期・応用）		
生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）〔テニス集中〕（江口 淳一）	……………	207
生涯スポーツ実習（集中前期・応用）		
生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）〔テニス集中〕（江口 淳一）	……………	208
生涯スポーツ実習（集中後期・応用）		
生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）〔ゴルフ集中〕（三幣 晴三）	……………	209
生涯スポーツ実習（集中後期・応用）		
生涯スポーツ演習（シーズン前期・基礎）〔ゴルフ〕（館岡 儀秋 他）	……………	210
生涯スポーツ演習（シーズン前期・応用）		
生涯スポーツ演習（シーズン後期・基礎）〔スキー〕（光永 吉輝 他）	……………	212
生涯スポーツ演習（シーズン後期・応用）		
保健体育理論〔前期〕	（秋田 浩一）	…………… 214
保健体育理論〔前期〕	（田中 佳孝）	…………… 215

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4 保健体育科目

必修科目

スポーツ実技（必修）開講種目一覧

（於：玉川校舎）

		金	曜	日
1時限				
2時限	短英	※田中		ソフトボール
		村松		室内球技
		高橋		テニス
		三幣		ゴルフ
		秋田		卓球
3時限				
4時限	短放	田中		屋外球技
		※村松		室内球技

※は科目の主担当者

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔ソフトボール〕	た な か よ し た か 田 中 佳 孝	短 英 1 必	2

講義のねらい

ソフトボールの基本技術を習得し、ルールを理解することにより、見るスポーツから参加するスポーツに発展させる。また、模擬試合をすることにより、戦術的なことを理解し、より楽しくゲームが行なえ、野球観戦にも違った視野を持つことができるようになる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明と諸注意
- 2時限目：用具の説明と使い方、キャッチボールの基本、ゴロ補球の基本、ルールの説明と実際
- 3時限目：キャッチボール&ゴロの補球、バッティングの基本、ルールの説明と模擬ゲーム
- 4時限目：ゴロの補球と1塁送球、トスバッティング1、ルールの説明と模擬ゲーム
- 5時限目：フライボール補球の基本、紅白ゲーム
- 6時限目：トスバッティング2、ゲーム
- 7時限目：ルートバッティング、ゲーム
- 8時限目：W-up、リーグ戦（スローピッチ）
- 9時限目：W-up、リーグ戦（スローピッチ）
- 10時限目：W-up、リーグ戦（スローピッチ）
- 11時限目：W-up、リーグ戦（ファーストピッチ）
- 12時限目：W-up、リーグ戦（ファーストピッチ）
- 13時限目：W-up、リーグ戦（ファーストピッチ）
- 14時限目：W-up、順位決定戦（ファーストピッチ）
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装でよい。運動シューズを用意する事。帽子は、自由。用具は全て大学で用意する。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔 室 内 球 技 〕	むら 村 まつ 松 まこと 誠	短英・短放 1 必	2

講義のねらい

バスケット・ボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフ・コート2対1、ゲーム(1次リーグ)
- 4 時限目：ハーフ・コート3対2、ゲーム(1次リーグ)
- 5 時限目：ハーフ・コート4対3、ゲーム(1・2次リーグ)
- 6 時限目：ハーフ・コート3対3、ゲーム(2次リーグ)
- 7 時限目：実技テスト、ゲーム(2次リーグ)
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム(リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム(リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム(リーグ戦)
- 11 時限目：実技テスト、ゲーム(トーナメント)
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。時間配分は多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技テスト(20点)、態度点(10点)、60点以上を合格とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔 テ ニ ス 〕	たか はし しゅん すけ 高 橋 俊 介	短 英 1 必	2

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目指す。さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り社会性を養うと共に、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ミニラリー
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4 時限目：バックハンド “ ”
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目： “ ” （戦術と応用）
- 10 時限目： “ ”
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジションニング
- 12 時限目：ダブルスのゲームを楽しむ
- 13 時限目：ダブルスのゲームを楽しむ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説及び分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔 ゴ ル フ 〕	み ぬ さ はる み 三 幣 晴 三	短 英 1 必	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔 卓 球 〕	あき た こう いち 秋 田 浩 一	短 英 1 必	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングル、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時 限 目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時 限 目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時 限 目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時 限 目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時 限 目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時 限 目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時 限 目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時 限 目：シングルスゲーム
- 10 時 限 目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11 時 限 目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12 時 限 目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13 時 限 目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14 時 限 目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15 時 限 目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔 屋 外 球 技 〕	たなかよし たか 田 中 佳 孝	短 放 1 必	2

講義のねらい

屋外球技は、自分の能力や技術に合わせてテニス、ソフトボールを中心に行なう授業である。テニスもソフトボールも生涯を通じて楽しく行なえるスポーツで、身体を通して体力、健康を積極的に充実させ、豊かな情操の発達と精神活動を賦活させるものである。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明と受講上の諸注意（ソフトボール）
- 2 時限目：キャッチボールの基本、ゴロ補球の基本
- 3 時限目：キャッチボールとゴロの補球、バッティングの基本
- 4 時限目：補球と送球、バッティング
- 5 時限目：紅白ゲーム
- 6 時限目：紅白ゲーム
- 7 時限目：紅白ゲーム（テニス）
- 8 時限目：テニスのラケットティング、グラウンドストロークの基本
- 9 時限目：ボレー、サーブ
- 10時限目：ラリーの応用とミニゲーム
- 11時限目：半面でのシングルスゲーム
- 12時限目：シングルスゲームを楽しむ
- 13時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 14時限目：トーナメント型式の試合
- 15時限目：トーナメント型式の試合

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装でよい。運動シューズを用意する。帽子は、自由。用具は全て大学で用意する。

成績評価の方法

成績評価は出席点を重視し、実技と平素の受講態度を加味して評価する。

そ の 他

雨天時は教室にてビデオ教材を用いた解説、分析などテニスに必要な技術を学びまたは、トレーニングルームで基礎体力づくりを行なう。

必修科目
保健体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 健 理 論 （ 前 期 ）	よしだ 吉 田 稔	短 放 1 必	2

講義のねらい

「健康とは、肉体的に、精神的および社会的に完全に良好（well-being）な状態であって、単に病気に罹患していないとか、病的ではないということではない」。これはWHO憲章によって定義された健康の概念である。今や我が国の平均寿命が世界一となり、健康状態は諸外国に比べ極めて良好といえる。しかしながら、我が国は21世紀には本格的な高齢化社会を迎えようとしており、老人問題が重要な課題となっている。今や時代のニーズに対応した保健活動のみならず将来を展望した保健活動が重要視されて来ている。ここでは現在そして将来の健康の確保に必要な諸問題について考える。

教 科 書

石川哲也他著『新編公衆衛生学（第2版）』東京教学社

参 考 書 等

『国民衛生の動向』（厚生指標 臨時増刊）厚生統計協会

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔 再 ク ラ ス 〕	たけ だ やま お 竹 田 幸 夫	短 大	2
ス ポ ー ツ 実 技 (前期)(後期)〔再クラス〕	まき の しげる 牧 野 茂	(H10以降入学生) 短 国 除 く	各 1

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目： " (サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目： " (シングルスゲーム)
- 5 時限目： " (シングルスゲーム)
- 6 時限目： " (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目： " (ダブルスゲーム)
- 8 時限目： " (まとめと評価)
- 9 時限目：バドミントン (ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10 時限目： " (ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11 時限目： " (ルール解説、シングルスゲーム)
- 12 時限目： " (ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13 時限目： " (ダブルスゲーム)
- 14 時限目： " (ダブルスゲーム)
- 15 時限目： " (まとめと評価)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目： " (アタックとブロッキングの技術、ルール解説)
- 4 時限目： " (フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目： " (ゲーム)
- 6 時限目： " (ゲーム)
- 7 時限目： " (ゲーム)
- 8 時限目： " (まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目： " (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目： " (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目： " (ゲーム)
- 13 時限目： " (ゲーム)
- 14 時限目： " (ゲーム)
- 15 時限目： " (まとめと評価)

履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔 再 ク ラ ス 〕	なが はま とも お 長 濱 友 雄	短 大 (H10以降入学生) 短 国 除 く	2
ス ポ ー ツ 実 技 (前期)(後期)〔再クラス〕			各1

講義のねらい

- (1) できるだけ授業に出席することを心掛ける。
- (2) 準備運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高めるよう努力する。
- (3) バスケットボール・卓球・バドミントンの技術やルールを習得し、将来様々なスポーツに取り組むことができる基本的能力を身につける。
- (4) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で協調性を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
バスケットボール
- 2時限目： }
3時限目： } ドリブル・パス・シュートの練習
4時限目： }
5時限目： } 総合練習・ゲーム
6時限目： }
7時限目： }
卓 球
- 8時限目： 卓球の説明・サーブ・ラリー
9時限目： サーブ・レシーブ・ラリー
10時限目： }
11時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
12時限目： }
13時限目： }
バドミントン
- 15時限目： }
16時限目： } バドミントンの説明・ラケットとシャトルを使った遊び
17時限目： }
18時限目： } サーブ・レシーブ・スマッシュ
19時限目： }
20時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
21時限目： }
22時限目： }
23時限目： }
24時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
25時限目： }
26時限目： }
27時限目： }
28時限目： }
29時限目： }
30時限目： }

履修上の留意点

- (1) 実技は本校第1体育館で行う。
- (2) 服装はできるだけ身軽に動作できるものがよい。
- (3) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (4) 自分の荷物は各自で十分管理する。

成績評価の方法

出席80%、総合評価20%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔 再 ク ラ ス 〕 集 中 授 業 コ ー ス 〔 卓 球 〕 (前 期 ・ 後 期)	前 期 : <small>なが はま とも お</small> 長 濱 友 雄 後 期 : <small>たか はし しゅん すけ</small> 高 橋 俊 介	短 大 (H10以降入学生) 短 国 除 く	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 日目午前：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明。ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形。
- 1 日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2 日目午前：バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム。
- 2 日目午後：カットの打ち方と返球の方法。シングルスゲーム。
- 3 日目午前：シングルスゲーム。ダブルスゲームのやり方。
- 3 日目午後：ダブルスゲームの練習。
- 4 日目午前：ダブルスゲーム
- 4 日目午後：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 5 日目午前：トーナメント形式の試合。
- 5 日目午後：まとめ。

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は、授業を受けることはできない。
30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

成績評価の方法

評価は出席点70点。実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1)実施期間：（前期）7月19日（日）～23日（木）
（後期）12月20日（日）～24日（木）
7月19日及び12月20日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2)実施時間：午前 10：00～12：00
午後 13：00～15：30
 - (3)実施場所：玉川体育館
 - (4)申込方法：生涯スポーツ実習と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
 - (5)備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スポーツ実技 〔再クラス〕 集中授業コース 〔バドミントン〕(前期・後期)	前期：まきの野 ^{しげる} 茂 後期：あきたこういち ^{浩一}	短 大 (H10以降入学生) 短国除く	2

講義のねらい

バドミントンを教材とし、ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：ラケットティング、ストロークの基本技術(回内、回外)
- 1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク①(スマッシュ、ドロップ)、コート半面のシングルス・ゲーム
- 2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク②(スマッシュ、クリアー、ドライブ)、サービス
- 2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク①(クリアー、ヘアピン・ショット)、サービス、コート半面のシングルス・ゲーム
- 3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク②(ロブ、クロスネット・ショット)、シングルスゲーム
- 3日目午後：サイド・ハンド・ストローク(ドライブ、クリアー)、サービス、シングルスゲーム
- 4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク③(カット、プッシュ)、総合練習、ダブルスのゲーム
- 4日目午後：総合練習、ダブルスのゲーム
- 5日目午前：総合練習、ダブルスのゲーム
- 5日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

履修上の留意点

- (1)服装は、一般的な運動服装とする。
- (2)体育館シューズを用意すること。
- (3)ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1)実施期間：(前期)7月19日(日)～23日(木)
(後期)12月20日(日)～24日(木)
7月19日及び12月20日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2)実施時間：午前 10:00～12:00
午後 13:00～15:30
- (3)実施場所：玉川体育館
- (4)申込方法：生涯スポーツ実習と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
- (5)備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔 再 ク ラ ス 〕 集 中 授 業 コ ー ス 〔 ソ フ ト ボ ー ル 〕 (前 期 ・ 後 期)	前 期 : 村 松 誠 後 期 : 館 岡 儀 秋	短 大 (H10以 降 入 学 生) 短 国 除 く	2

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

第1日目午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスパッチング、走塁練習、その他）
午後：同上
第2日目午前：ゲーム
午後：“
第3日目午前：“
午後：審判法・ゲーム
第4日目午前：“
午後：“
第5日目午前：“
午後：“

履修上の留意点

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

(1)実施期間：（前期）7月19日（日）～23日（木）

（後期）12月20日（日）～24日（木）

7月19日及び12月20日更衣の上、午前10時に玉川グラウンド集合

(2)実施時間：午前 10：00～12：00

午後 13：00～15：30

(3)実施場所：玉川グラウンド

(4)申込方法：生涯スポーツ実習と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。

上曜日・8時限

(5)備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

4 保健体育科目

選 択 科 目

スポーツ実技（短国）開講種目一覧

（於：玉川校舎）

		金 曜 日	
3 時 限	短 国 (選 択)	※秋田	室 内 球 技
		高 橋	テ ニ ス
		三 幣	ゴ ル フ

※は科目の主担当者

生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ開講種目一覧

（於：本校体育館）

		月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日		
1 時 限								
2 時 限	長	前期・基礎	大	前期・応用 トレーニング& ニュースポーツ※	宮	前期・応用	牧	前期・応用
		バドミントン				室内球技		室内球技
	濱	後期・基礎	石	後期・応用 トレーニング& ニュースポーツ※	沢	後期・応用	野	後期・応用
		バドミントン				室内球技		室内球技
3 時 限	長	前期・応用	大	前期・基礎	宮	前期・基礎	牧	前期・基礎
		バドミントン				簡化太極拳※		室内球技
	濱	後期・応用	石	後期・基礎	沢	後期・応用	野	後期・基礎
		バドミントン				簡化太極拳※		室内球技
4 時 限	大	前期・基礎		前期・基礎	宮	前期・応用		
		トレーニング& ニュースポーツ※				室内球技		
	石	後期・基礎		後期・基礎	沢	後期・応用		
		トレーニング& ニュースポーツ※				室内球技		

※は本校第2体育館にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔 室 内 球 技 〕	あき 秋 田 浩 一	短 国 1 選	2

講義のねらい

バスケット・ボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、グループ分け
- 3時限目：ハーフ・コート2対1、ゲーム(1次リーグ)
- 4時限目：ハーフ・コート3対2、ゲーム(1次リーグ)
- 5時限目：ハーフ・コート4対3、ゲーム(1・2次リーグ)
- 6時限目：ハーフ・コート3対3、ゲーム(2次リーグ)
- 7時限目：実技テスト、ゲーム(2次リーグ)
(バレーボール)
- 8時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：実技テスト、ゲーム(トーナメント)
(バドミントン)
- 12時限目：ラケットング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技テスト(20点)、態度点(10点)、60点以上を合格とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔 テ ニ ス 〕	たか はし しゅん すけ 高 橋 俊 介	短 国 1 選	2

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標としている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自立的にスポーツを生活化する態度を養うことを目指す。さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り社会性を養うと共に、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ミニラリー
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4 時限目：バックハンド “ ”
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目： “ ” （戦術と応用）
- 10 時限目： “ ”
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジションニング
- 12 時限目：ダブルスのゲームを楽しむ
- 13 時限目：ダブルスのゲームを楽しむ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説及び分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔 ゴ ル フ 〕	み ぬ さ はる み 三 幣 晴 三	短 国 1 選	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合があるので掲示板を確認すること。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	短国・短英 1 選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・基礎) 〔バドミントン〕		短国・短英 2 選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。
また、技術課題として、以下の点に留意して行なう。
(1)フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2)ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4時限目：半面での簡易ゲーム
- 5時限目：〃
- 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8時限目： }
 } 総合練習・シングルスゲーム
- 11時限目： }
- 12時限目： }
 } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装はできるだけ身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意すること。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・基礎) (後期・基礎)	おお いし たけ し 大 石 武 士	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ 〔トレーニング& ニュースポーツ〕		短国・短英2選	

講義のねらい

体力づくりは、トレーニングマシンがなくてもできるメディシンボールやユニットダンベル等、簡単な器具で行う体力づくりを正しく行い、現在及び将来の健康・体力の維持増進を目的とする。また、ニュースポーツとして現在静かなブームをおこしている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやバウンドテニス等を余暇ゲーム感覚で行い、楽しみながら生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：応用打法
- 6時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ゲーム
- 8時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：〃
- 9時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：〃
- 10時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：〃
- 11時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：〃
- 12時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：〃
- 13時限目：まとめ
- 14時限目：まとめ
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：第二体育館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・基礎)	おお いし たけ し 大 石 武 士	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・基礎) 〔簡化太極拳〕		短国・短英2選	

講義のねらい

太極拳は中国古来の武術であるが、筋骨を鍛えるものではなく、屈伸運動・円運動を基本とした一種のバランス運動であり、呼吸法にのっとっておこなう健康体操である。起勢から収勢までの24の動作を行い、現在および将来の健康・体力の維持増進を目的とする。また、太極拳動作の活発性や反応能力、技術水準を高めるためにゆっくり円滑に二人で対になって行う一定の対抗性を具えた太極推手と組み合わせ、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式深呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右捩膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左擺雀尾・右擺雀尾
- 6 時限目：第四組 單鞭・雲手・單鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。
- 3) 教場：第二体育館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・基礎) (後期・基礎)	みやざわ えい さく 宮 沢 栄 作	短国・短英 1 選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ 〔室内球技〕		短国・短英 2 選	

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境を改善して、出来るだけ身体を動かすことが心身の健康につながることを認識させ、その実践をはかる。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：実技各種目の競技の性格、ルールの説明
- 3 時限目：バスケットボール競技の構成基礎技術実習
- 4 時限目：3：3の簡易ゲーム
- 5 時限目：3：3の簡易ゲーム
- 6 時限目：バレーボール競技の構成基礎技術実習
- 7 時限目：簡易ゲーム
- 8 時限目：簡易ゲーム
- 9 時限目：卓球の基本技術
- 10 時限目：シングルス、ダブルスでのゲーム
- 11 時限目：シングルス、ダブルスでのゲーム
- 12 時限目：バドミントンの基礎技術実習
- 13 時限目：シングルス、ダブルスでの簡易ゲーム
- 14 時限目：シングルス、ダブルスでの簡易ゲーム
- 15 時限目：評価（全種目を通して）

履修上の留意点

- (1)定員は50名とする。
- (2)本校第1体育館で行う。
- (3)服装は一般的な運動服装とする。体育館用シューズを用意すること。
- (4)用具は貸与する。

成績評価の方法

出席点70%、実技点30%とする。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・基礎) 〔卓 球〕		短国・短英2選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1)フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2)スマッシュを打つことが出来る。
(3)ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ラケットの持ち方、サーブ
- 3時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
- 4時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
- 5時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
- 6時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
- 7時限目：シングルスゲームの練習
- 8時限目：
- 9時限目： 総合練習、シングルスゲーム
- 10時限目：
- 11時限目：
- 12時限目：
- 13時限目： 総合練習、ダブルスゲーム
- 14時限目：
- 15時限目：

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎)	まき の 野 牧 野 しげる 茂	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	〔室内球技〕		短国・短英2選	

講義のねらい

バスケットボールとバドミントンを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：授業内容の説明（バスケットボール）
- 2時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2メン・ダッシュ
- 3時限目：ランニング・パス、ハーフ・コート2対1、ミニゲーム
- 4時限目：ランニング・パス、ハーフ・コート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 5時限目：レイアップ・シュート・ドリル、フル・コート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6時限目：初歩的なマンツーマン・オフェンス①、ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7時限目：初歩的なマンツーマン・オフェンス②、ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 8時限目：実技テスト、ゲーム（トーナメント）
- 9時限目：（バドミントン）ラケットティング、ストロークの基本技術（回内、回外）
- 10時限目：オーバー・ヘッド・ストローク（スマッシュ、ドロップ、クリアー）
- 11時限目：アンダー・ハンド・ストローク（クリアー、ヘアピン）
- 12時限目：サービス、ストロークの応用とミニゲーム、ダブルスのルール
- 13時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 14時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 15時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

- (1)定員は50名とする。
- (2)実技は本校第1体育館にて行う。
- (3)服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) [バドミントン]		短国・短英2選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1)スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る
(2)ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4 時限目：総合練習
- 5 時限目：総合練習
- 6 時限目：
 - } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10 時限目：
 - } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 11 時限目：
 - } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15 時限目：
 - } 総合練習・ゲーム（ダブルス）

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用)	おお いし たけ し 大 石 武 士	短国・短英 1 選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(トレーニング & ニュースポーツ)		短国・短英 2 選	

講義のねらい

体力づくりは、トレーニングマシーンがなくてもできるメディシンボールやユニットダンベル等、簡単な器具で行う体力づくりを正しく行い、現在及び将来の健康・体力の維持増進を目的とする。また、ニュースポーツとして現在静かなブームをおこしている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやバウンドテニス等を余暇ゲーム感覚で行い、楽しみながら生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。基礎の反復を行いながら応用動作に移行する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ゲーム
- 8 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：〃
- 9 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：〃
- 10 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：〃
- 11 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：〃
- 12 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：〃
- 13 時限目：まとめ
- 14 時限目：まとめ
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：第二体育館 2 階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	みやざわ えい さく 宮 沢 栄 作	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) 〔室内球技〕		短国・短英2選	

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境を改善して、出来るだけ身体を動かすことが心身の健康につながることを認識させ、その実践をはかる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：バスケットボール競技の基本応用技術の全般についての実習
- 3 時限目：正式ゲーム
- 4 時限目：正式ゲーム
- 5 時限目：バレーボール競技の基本応用技術について
- 6 時限目：正式ゲーム（6人制）
- 7 時限目：正式ゲーム（6人制）
- 8 時限目：卓球の基礎応用技術について
- 9 時限目：シングルス、ダブルスのゲーム
- 10 時限目：シングルス、ダブルスのゲーム
- 11 時限目：バドミントン技術について
- 12 時限目：シングルス、ダブルスの正式ゲーム
- 13 時限目：シングルス、ダブルスの正式ゲーム
- 14 時限目：まとめとして、希望種目の実施
- 15 時限目：評価（全種目を通して）

履修上の留意点

- (1)定員は50名とする。
- (2)本校第1体育館で行う。
- (3)服装は一般的な運動服装とする。体育館用シューズを用意すること。
- (4)用具は貸与する。

成績評価の方法

出席点70%、実技点30%とする。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) 〔卓 球〕		短国・短英2選	

講義のねらい

- (1)補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2)卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3)クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3時限目：サーブ、ラリー
- 4時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 8時限目： }
- 9時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13時限目： }
- 14時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1)定員は50名とする
- (2)実技は本校第1体育館で行なう。
- (3)服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4)シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5)その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	まきの野 しげる茂	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) 〔室内球技〕		短国・短英2選	

講義のねらい

バスケットボールとバドミントンを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：授業内容の説明（バスケットボール）
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート・ドリル、ハーフ・コート2対1
- 3 時限目：シューティング・ドリル、フル・コート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 4 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 5 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：モーション・オフENSE・ドリル①ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：モーション・オフENSE・ドリル②ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：実技テスト、ゲーム（トーナメント）
- 9 時限目：（バドミントン）ストロークの基本技術（回内、回外）
- 10 時限目：オーバ・ヘッド・ストローク（スマッシュ、ドロップ、クリアー、ドライブ、カット）
- 11 時限目：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、シングルのゲーム
- 12 時限目：アンダー・ハンド・ストローク（クリアー、ネット・ショット）、シングルのゲーム
- 13 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 14 時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

- (1)定員は50名とする。
- (2)実技は本校第1体育館にて行う。
- (3)服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）	え くち じゅん いち 江 口 淳 一	短国・短英選	1
生涯スポーツ実習（集中前期・応用）			

テニス集中

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

（基礎）…初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

（応用）…エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High to Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 日目午前：ラケットティング、フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術
- 1 日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ
- 2 日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 2 日目午後：ラリーの応用とミニゲーム
- 3 日目午前：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 3 日目午後： “ ” （戦術と応用）
- 4 日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 4 日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ
- 5 日目午前：トーナメント形式の試合
- 5 日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説及び分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月19日（月）～23日（木）、7月19日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：午前 10：00～12：00
午後 13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：生涯スポーツ実習（Ⅰ・Ⅱ）と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限（前期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	短国・短英選	1
生涯スポーツ実習（集中後期・応用）			

テニス集中

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど応用技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスは、打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

（基礎）…初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

（応用）…エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら Hight で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1 日目午後：ラリーの応用練習
- 2 日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2 日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指して
- 3 日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3 日目午後：ダブルス（平行陣への移行）
- 4 日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 4 日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 5 日目午前：団体戦形式の試合
- 5 日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説及び分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月20日（日）～24日（木）、12月20日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：午前 10：00～12：00
午後 13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする
- (5) 申込方法：生涯スポーツ実習（Ⅰ・Ⅱ）と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎)	み ぬ さ は る み 三 幣 晴 三	短国・短英選	1
生涯スポーツ実習 (集中後期・応用)			

ゴルフ集中

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的のスポーツになりつつある。本講義は、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、すでに体験している学生までを対象として実施する。

ゴルフの技術的な上達は、本講義の主たるねらいとなるが、それ以外のゴルフのもつ重要なねらいとしての、マナーやエチケット、さらに練習仲間とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいである。

生涯スポーツ実習として、大学卒業後もゴルフの良さを十分に楽しみ、かつ社会人としてゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基本を学んでほしい。

基礎：初心者を対象として、ゴルフスイングの基本を理解させる。

応用：経験者を対象として、ゴルフスイングの応用を理解させる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目：オリエンテーション・打席練習（7番アイアン／グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義・ビデオ：ゴルフスイングの基本
- 2日目：打席練習（7番アイアン・9番アイアン）、アプローチ練習、打席練習（ウッド）、バッティング練習
講義・ビデオ：マナーとエチケット
- 3日目：打席練習（5、7、9番アイアン、ウッド）、アプローチ練習（PW、7番アイアン）、バッティング練習
講義：ゴルフルール
- 4日目：打席練習（5、7、9番アイアン、ウッド）／近隣のゴルフ練習場での打席練習
講義：ゴルフラウンドの基礎知識
- 5日目：グラウンドでのコースラウンド（6ホール）

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要）
シューズ：運動靴（ゴルフシューズは禁止する）

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月20日（日）～24日（木）、12月20日更衣の上、午前10時に玉川グラウンド集合
- (2) 実施時間：午前 10：00～12：00
午後 13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 費 用：練習場での打席練習代として、¥1,000が必要である。（4日目に持参すること）
- (5) 定 員：40名とする。
- (6) 申込方法：生涯スポーツ実習と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎)	たて おか よし あき 館 岡 儀 秋 他	短国・短英選	2
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・応用)			

ゴ ル フ

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。本講義は、大学内で行われているゴルフ授業を一步進めて、自然の中での実際のゴルフを基本からラウンドまで体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、すでに大学内の授業やその他で体験している学生までを対象として実施する。

ゴルフの技術的な上達は、本講義の主たるねらいとなるが、それ以外のゴルフのもつ重要なねらいとしての、マナーやラウンドにおけるエチケット、さらに同伴競技者(パートナー)とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいである。生涯スポーツ演習として、大学卒業後もゴルフの良さを十分に楽しみ、かつ社会人としてゴルフをとおして良き人間関係を作っていくための基本を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①事前講義：5月8日(金)PM12:10~12:50 2研-101教場「オリエンテーション、ゴルフの基本的知識1」
7月20日(月)PM1:00~3:30 玉川-101教場「ゴルフの基本的知識2」
※上記の事前講義は、オリエンテーションを兼ねるので必ず出席すること。

②実習内容

- 1日目<<9月7日(月)>> PM.2:00~5:00オリエンテーション・打撃練習(7番アイアン/グリップ・アドレス・スイングの基本練習)
講義PM.7:00~9:00 <<ゴルフスイングの基本>>
- 2日目<<9月8日(火)>> AM.9:00~12:00/PM.1:30~4:30打撃練習(7番アイアン・9番アイアン)、アプローチ練習、打撃練習(ウッド)、パッチング練習
講義PM.7:00~9:00 <<ゴルフのエチケット・マナー>>
- 3日目<<9月9日(水)>> AM.9:00~12:00/PM.1:30~4:30打撃練習(5、7、9番アイアン、ウッド)、アプローチ練習(PW、SW、7番アイアン)、パッチング練習
講義PM.7:00~9:00 <<ゴルフルール・ラウンドについて>>
- 4日目<<9月10日(木)>> AM.9:00~12:00/PM.1:30~4:30ラウンド(本コース・ショートコース)
講義PM.7:00~9:00 <<ラウンドの反省と総括>>
- 5日目<<9月11日(金)>> AM.9:00~11:00/PM.12:30~2:30ラウンド(本コース・ショートコース)

履修上の留意点

- (1) 服装：一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
シューズ/グローブ：練習は運動靴でもよいが、ラウンドはゴルフシューズが必要。特に経験者は、正式の本コースをラウンドするので、ゴルフシューズ及びグローブは、必ず各自で用意すること。
※ゴルフクラブ・キャディーバッグ・ボール・ティは大学で用意するが、自分のもの持参してもよい。
- (2) 場所：宿 泊：軽井沢スケートセンターホテル ☎0267-46-1111
練習場：軽井沢ゴルフ練習場(アプローチ練習場を含む) ☎0267-48-1211
コース：馬越ゴルフコース/和美パー3コースその他
- (3) 期日：平成10年9月7日(月)~11日(金)4泊5日
- (4) 募集人員：30名(定員になり次第締め切る)
- (5) 集合/解散：現地(軽井沢スケートセンターホテル) / 詳細(時間：道順など)は下記のオリエンテーションで説明するので必ず出席すること。
- (6) 費用：49,000円(ラウンド費用を含む)※交通費は含まれない。(現地集合・解散)
- (7) 納入方法：上記49,000円を、経理部窓口で、平成10年5月11日(月)~5月22日(金)までに納入すること。
- (8) オリエンテーション：上記の事前講義5月8日(金)、7月20日(月)で実習の説明を行うので必ず出席すること。

- (9) 生涯スポーツ演習（基礎）（応用）の区分
生涯スポーツ演習（基礎）：初心者を対象とする。ゴルフの基本的知識を理解し、ゴルフスイングの基本的運動を実習してショートコースをラウンドする。
生涯スポーツ演習（応用）：既にゴルフラウンドを2～3回経験した者を対象とする。ゴルフの全般的な知識を理解させ、さらにゴルフスイングの実際のラウンドでのさまざまな応用を実習し、ラウンドを主体にして体験させる。
- (10) 申し込み・期日：教務部窓口／事前登録受付期間

成績評価の方法

単位数は、事前講義と実習の参加で2単位。出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

その他

都合で参加できなくなった場合には、早急に保健体育部（☎03-3709-0717）に連絡すること。尚、実習に不参加の場合、受講料の一部は、返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎)	みつなが よし てる 光 永 吉 輝 他	短国・短英選	2
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・応用)			

ス キ ー

講義のねらい

現在、わが国においてスキーは国民のスポーツといわれるまでに普及し、「生涯スポーツ」として楽しむことのできる種目として定着している。将来においても、スキーを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、並びにゲレンデにおけるマナーについての理解を深めていきたい。

実習は、スキー技能レベルに応じて、1班10名程度にグループ分けをして実施する。各班とも本学教員、および全日本スキー連盟指導員の指導によって行う。

コース内容は、基礎コースではシュテムターンの習得、応用コースではウェーデルンと斜面に応じた総合滑降技術の習得、および完成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 生涯スポーツ演習 (基礎) (応用) の区分
 - 生涯スポーツ演習 (基礎) : 初心者・初級者を対象とする。
歩行、直滑降、プルーク、プルーク・ボーゲン、斜滑降、横滑り、プルーク・ターン、シュテム・ターン
 - 生涯スポーツ演習 (応用) : 中級者・上級者を対象とする。
斜滑降、横滑り、シュテム・ターン、パラレル・ターン、ウェーデルン、様々な斜面へ対応する総合滑降技術
- 事前講義: 5月8日(金) 12:10~12:50 2研-102教場「オリエンテーション、スキーの基本的知識1」
12月21日(月) 13:00~15:30 玉川-306教場「スキーの基本的知識2」
- 実習内容

1日目<2月15日(月)> 10:30	軽井沢スケートセンターホテル集合
14:00~17:00	班別の実習
19:00~21:00	講義(スキー場におけるマナー)
2日目<2月16日(火)> 9:00~12:00	各班毎の実習
13:30~17:00	〃
19:00~21:00	講義(スキーの基本技術)
3日目<2月17日(水)> 9:00~12:00	各班毎の実習
13:30~17:00	〃
19:00~21:00	講義(スキーの応用技術)
4日目<2月18日(木)> 9:00~12:00	各班毎の実習
13:30~16:30	〃
19:00~21:00	講義(スキー実習の総括)
5日目<2月19日(金)> 9:00~12:00	各班毎の実習・評価
	軽井沢プリンスホテルスキー場解散

履修上の留意点

シーズンコース・スキーの授業は、下記の要領で実施する。

- 日程: 平成11年2月15日(月)~2月19日(金)の4泊5日
- 場所: 実習 軽井沢プリンスホテルスキー場
宿泊・講義 軽井沢スケートセンターホテル ☎(0267)46-1111
- 受講料: 49,000円 ※尚、現地集合・解散の為、交通費は含まれない。
※受講者は、費用を納入期間の平成10年5月11日(月)から5月22日(金)までに経理部窓口で納入すること。
- 定員: 100名
履修希望者は、教務部窓口にて事前登録受付期間に手続きを済ませること。
定員になり次第締め切る。
- 『履修届(事前登録)』に関する注意: 教務部窓口に提出する『事前登録申請書』には、シーズンコース用に設定された『土曜日8時限(後期)』で記入すること。
- オリエンテーション: 上記の事前講義(5月8日(金)・12月21日(月))で実習の説明を行うので、必ず出席すること。
- スキー用具とウェア: スキー用具は、現地でレンタル可能(有料)。ウェアは、各自で事前に準備しておくこと。

8)学部及び短大卒業年次生：成績発表及び再試験申込み受付・成績質疑応答期間と重なるので、学部及び短大の卒業年次生は卒業取得単位を十分に考慮して履修すること。

成績評価の方法

事前講義および実習（5日間）に参加終了し、2単位が認められる。成績評価方法は、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びにスキーマの基本技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

教科書

DSK（大学スキー研究会）編『スキー教本』¥1,155

その他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部（☎03-3709-0717）に連絡すること。尚、実習に不参加の場合、受講料の一部は、返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保健体育理論（前期）	あき 秋 田 浩 一	短国・短英 1 選	2

講義のねらい

健康を保持することは、人間の願望である。健康は心と体の両面が大切である、現代社会において心の問題は深刻である。学生時代は、生涯の健康生活を築くチャンスである。心の悩みや体の悩みを解決する方法を考え、自己を確立し自立できる環境（人的、物的）を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康の成立条件
- 3 時限目：人間の健康（心と体）
- 4 時限目： " (心の問題)
- 5 時限目：学生健康（心の問題）
- 6 時限目： " (日常生活)
- 7 時限目： " (栄養と食事)
- 8 時限目： " (〃〃)
- 9 時限目： " (エイズと性の問題)
- 10 時限目： " (酒とたばこ)
- 11 時限目： " (酒とたばこ)
- 12 時限目： " (精神的自立)
- 13 時限目： " (自立について)
- 14 時限目：運動障害と救急法（突き指、捻挫、脱臼、骨折等）
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

- ①「小テスト、レポート」を3、4回講義中に実施提出する。
- ②「レポート」提出

成績評価の方法

「小テスト」70%、「レポート」30%で総合評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』
『学生の健康学』小学館

その他

授業は主に講義形式で行うが、ビデオ等も活用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 健 体 育 理 論 (前 期)	た 田 な 中 よ し た 佳 孝	短 国 ・ 短 英 1 選	2

講義のねらい

健康を保つ為に必要な栄養素と正しい食生活の知識を学び、肥満のメカニズム・ダイエットの原則と正しい方法を識る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：身体に必要な栄養素（糖質・脂質・蛋白質について）
- 2 時限目：身体に必要な栄養素（ビタミン・ミネラルについて）
- 3 時限目：ビタミンの欠乏症と薬理作用
- 4 時限目：タバコの悪害とビタミン
- 5 時限目：妊婦時の栄養と肥満
- 6 時限目：人間は何故肥満するのか？（肥満とは）
- 7 時限目：ダイエットの基本
- 8 時限目：減食に依るダイエット、運動に依るダイエット
- 9 時限目：リバウンドと拒食・過食症
- 10時限目： }
 } ダイエット法各論
- 13時限目： }
- 14時限目：まとめ
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

遅刻・早退・私語は認めない。携帯電話、ポケベル等のスイッチは切っておくこと。

成績評価の方法

毎時間出席をとり、2/3以上の出席者が学期末テストを受験できる。出席点を50点満点とし、テスト点（50点満点）を加点して評価とする。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

授業中に発表する。

そ の 他

講義の補助としてビデオを使用することがある。

Ⅱ 全学共通科目

(仏教科 - 夜間開講 -)

仏教科 (夜間開講)	宗教教育科目
	人文分野
	社会分野
	自然分野
	外国語科目
	保健体育科目

1998 (平成10) 年度 学年暦

■は全学休業日

日	月	火	水	木	金	土
4月 (平成10年)						
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		
5月						
				1	2	
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						
6月						
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				
7月						
		1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
8月						
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					
9月						
	1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

6日・7日 在校生成績発表・在籍確認
8日 入学式
9日～11日 新入生オリエンテーション
13日 前期授業開始
13日～18日 在校生成績質疑応答
20日・21日 履修届受付
30日 特別研修日 (全学休業)

1日・2日 特別研修日 (全学休業)

11日～15日 履修届訂正期間

13日～18日 中間試験および
前期終了科目定期試験
※授業平常どおり
18日 前期授業最終日
21日 夏季休業開始 (～9月15日)
23日 前期終了科目定期試験欠試験
(追試験申込) 受付締切
27日～29日 全学休業

8日～18日 全学休業

31日 前期補講期間 (～9月4日)

7日～11日 生涯スポーツ演習 (シーズン前期)
16日 後期授業開始
17日・18日 前期終了科目定期試験成績発表
成績質疑応答および再試験申込受付
28日 前期終了科目追再試験
(～10月3日)
※授業平常どおり

日	月	火	水	木	金	土
10月 (平成10年)						
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
11月						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					
12月						
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		
1月 (平成11年)						
				1	2	
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						
2月						
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						
3月						
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

15日 第116回開校記念日

4日～10日 編入学試験願書受付

10日～13日 転部・転科試験
(第2部から第1部、第2部内) 願書受付
19日・20日 教職課程受講登録ガイダンス

6日 編入学試験、転部・転科試験
21日 冬季休業開始
(～11年1月7日)
21日・22日 後期補講日

8日 後期授業再開
14日 後期授業最終日
16日～22日 定期試験 (専門・教職科目)
23日～29日 定期試験 (全学共通科目)

3日 定期試験欠試験 (追試験申込)
受付締切
15日～19日 生涯スポーツ演習
(シーズン後期)
16日・17日 成績発表および再試験申込受付・
成績質疑応答
(学部4年次生・短大生)
20日～26日 追・再試験

18日 卒業生名簿発表
25日 卒業式
26日～31日 春季休業

1 宗教教育科目

1 宗 教 教 育 科 目

仏 教 と 人 間	(大 西 龍 峯)	1
仏 教 と 人 間	[再 ク ラ ス]		
仏 教 と 人 間	(前 期)		

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間	おおにしりゅうほう 大西龍峯	短仏1必	4
仏教と人間 〔再クラス〕		H8年度以降入学生 短 仏	
仏教と人間（前期）		H7年度以前入学生 短 仏	2

講義のねらい

仏教の教えが、現代人にとってどんな意味をもち、またどんな役割をはたしうるかについて考えていくことが、本講座の目的であります。

講義の内容・
授業スケジュール

できるだけ現在われわれの身のまわりに起こっている問題を取りあげ、それに対し仏教がどう
いう考え方を示し、対処をなしうるかを検討し、あわせて仏教の基本的教義や、その宗教的特質
を明確にしていきたいと思ひます。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教 科 書

テキスト、資料等は、授業の中で配布します。

2 教養教育科目

2 教 養 教 育 科 目

(1) 人 文 分 野

宗 教 学 (1)〔聖と俗〕	(菅 原 壽 清)	9
宗 教 学 (2)〔比較宗教文化〕	(田 中 かの子)	10
文 学 (1) (3)〔日本文学－古典－〕	(山 下 哲 郎)	12
文 学 (2)〔日本文学－近代－〕	(大 泉 政 弘)	12
歴 史 学 (1)〔日本近代史〕	(林 彰)	13
歴 史 学 (2)〔中国古代史〕	(茂 沢 方 尚)	13
歴 史 学 (3)〔中国古代思想史〕	(茂 沢 方 尚)	14
哲 学 (1)〔西洋思想の源流〕	(河 谷 淳)	14
哲 学 (2)〔近代の人間観と世界観〕	(伊古田 理)	15
哲 学 (3)〔現代文明と人間〕	(寺 田 誠 一)	15
論 理 学 (1) (2)〔科学方法論と現代論理学〕	(丸山 豊樹・山本 敦之)	16
倫 理 学 (1) (2)〔西洋倫理学〕	(末木 恭彦・河谷 淳)	16

(2) 社 会 分 野

法学・憲法(1)〔法と権利〕	(光 田 督 良)	19
法学・憲法(2)〔法と社会生活〕	(長谷川 日出世)	20
社会科学論(1)〔社会認識の思想〕	(阿 部 弘)	21
経 済 学 (1)〔現代経済と人間〕	(明 瀬 政 治)	22
社 会 学 (1)〔現代社会を考える〕	(橋 爪 敏)	22
社 会 学 (2)〔現代文化を考える〕	(橋 爪 敏)	23
統 計 学 (1)〔社会現象の統計的決定〕	(日 下 泰 夫)	23
文化人類学(1)〔文化と人間〕	(川 上 新 二)	24
文化人類学(2)〔諸民族とコスモロジー〕	(杉 井 純 一)	25
政 治 学 (1)〔政治システムと政治参加〕	(宝 利 尚 一)	26

政治学(2)〔国際社会と日本〕		
	(山田 敦)	26

(3) 自然分野

心理学(1)〔ヒューマン・ウォッチング〕		
	(鈴木 順一)	29
心理学(2)〔人間関係を考える〕		
	(鈴木 順一)	29
生物学(1)〔生態と進化〕	(清水 善和)	30
生物学(2)〔生物と環境〕	(中村 敏枝)	30
コンピュータ基礎(1)		
	〔コンピュータと情報〕	
	(竹田 洋一)	31
コンピュータ基礎(2)		
	〔コンピュータと情報〕	
	(上原 隆平)	32
地球科学(1)(2)〔自然景観の成立ち〕		
	(漆原 和子)	32
自然環境論(1)〔宇宙から見た地球環境〕		
	(篠原 正雄)	33
自然環境論(2)〔環境と自然保護〕		
	(清水 善和)	33
情報数学(1)〔情報と論理〕	(二好 重明)	34

(1) 人 文 分 野

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (1) 〔 聖 と 俗 〕	すが わら とし きよ 菅 原 壽 清	短 仏	4

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「聖と俗」というテーマで、人びとの暮らしと宗教について、その宗教的営みを宗教人類学の視点から明らかにして行きたいと考えております。

授業は講義形式とし、前半は宗教学・宗教人類学についての基礎的な問題を、後半は具体的な事例を基にしなが、聖と俗、アニミズム、シャーマニズムを手がかりに、現代社会との関わりや人びとの暮らしと宗教について考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

〈宗教人類学入門〉

1. 宗教と宗教人類学（宗教をとらえる視点）
2. 宗教人類学の研究領域（多様なアプローチ）

〈宗教の多様性〉

3. さまざまな宗教形態（その多様な形態）
4. 宗教の分類方法（現代の分類方法）

〈聖なるコスモロジー〉

5. 聖と俗
6. アニミズムの世界
7. シャーマニズム
8. 東南アジア・稲作の人びとの暮らしと宗教

成績評価の方法

試験・その他

教科書

指定なし

参考書等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他

ビデオ・スライドなども使用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 (2) 〔比較宗教文化〕	たなかかのこ 田 中 かの子	短 仏	4

講義のねらい

宗教は、人間が自他の生命（いのち）をより善くまっとうするための究極的な拠りどころと生き方を提示する。

諸宗教の興起し発展してきたこの世界において、わたくしたちはいま、宗教を比較し宗教をそれぞれの現代的意義と役割を見出すべき時機を迎えている。

以上の視点から観ると宗教学とは、諸宗教における生命（いのち）や人間性の普遍的価値を追究し、人間相互の理解と協調への道を拓くいとなみであるといえよう。

本講は、1) 宗教学の基本構造を理解し、2) 諸宗教の思想・文化を正しく把握することで、3) 国際的視野における「他者」理解の眼を養うことをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 宗教学とは何か
 - 1) 宗教学の基本的立場。
 - 2) 「宗教学」成立のいきさつ。
 - 3) 宗教学のさまざまな方法。
- II. 宗教生活の原初形態
 - 1) 生への畏敬、死への畏怖。
 - 2) 洞窟壁画の思想。
 - 3) アニミズム説、プレアニミズム説、原始一神教説、「起因者」説。
- III. 科学・呪術・宗教
 - 1) 呪術の原理と諸類型。
 - 2) 科学と呪術。
 - 3) 呪術と宗教。
 - 4) 宗教と科学。
- IV. 宗教の類型論
 - 1) 人格的「神」の啓示にもとづく予言者の宗教と非人格的「法」の自覚にもとづく神秘主義の宗教。
 - 2) 自然宗教と創唱宗教。
 - 3) 民族宗教と世界宗教。
 - 4) 「救い型」・「悟り型」・「つながり型」の三類型。
 - 5) 「宗教進化の五類型」説。
- V. 宗教を構成するもの
 - 1) 聖なるものは目に見えない。
 - 2) 人格的「神」にもとづく思想、非人格的「法」にもとづく思想（教義）。
 - 3) 神の祀り方、法の祀り方（儀礼）。
 - 4) 神や法に向かって祈り・集う者たち（教団）。
 - 5) 教義・儀礼・教団の中核としての宗教体験。
- VI. 宗教的人間観
 - 1) 人類の起源神話。
 - 2) 人間というものの二元的構造。
 - 3) 自己とは何か。
 - 4) 宗教的人格の理想像とその形成過程。
- VII. 宗教的世界観
 - 1) コスモロジー。
 - 2) 「この世」と「来たるべき世」。
 - 3) 時間と空間。
- VIII. I. ～VIIをふまえながら、現代も生きつづける諸宗教の思想と文化について解説する。また、異なる宗教の間に生じる誤解や偏見を指摘し、正しい平和友好的な「他者」理解とはどうあるべきかを考える。
 - 1) ゴロアスター教。
 - 2) ユダヤ教。
 - 3) キリスト教。
 - 4) イスラーム教。
 - 5) シーク教。
 - 6) ヒンドゥー教。
 - 7) ジャイナ教。
 - 8) 仏教。
 - 9) 儒教。

- 10) 道教。
- 11) 神道。

履修上の留意点

- 1) 教科書や参考書から知識を得るだけでなく、旅行・音楽の鑑賞、テレビ・ラジオの番組、美術館・博物館の展示物などをおして見聞できる諸宗教の思想・文化にも関心をもってほしい。
- 2) 講義内容はもちろんのこと、自分自身の見方・考え方をしっかりとおさえながら、工夫あるノートづくりを心がけてほしい。教室での私語は、自他の妨げになるので慎むこと。

成績評価の方法

期末試験、及び出席状況と受講態度。

教科書

脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）

参考書等

水野弘元・柴田道賢（監修）『宗教学ハンドブック』（世界書院）
岸本英夫編『世界の宗教』（大明堂）その他は、必要に応じて紹介する。

その他

毎回、いくつかのキー・ワードを設けて、講義の骨子を明示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 (1) (3) 〔日本文学－古典－〕	やま した てつ ろう 山 下 哲 郎	短 仏	4

講義のねらい

本年度は、中世随筆文学の代表的な作品、兼好法師の『徒然草』を読む。わが国の古典文学に親しみ、その作品世界を愉しみながら読み進めていくことを目標とする。古典作品を原文で読解していくため、内容の理解にはやや努力を要するが、年間を通してできる限り多くの章段の読解を期したい。作品の時代的背景や、各章段の関連事項など、特に問題となる事柄に関しては、時間をかけて、じっくりと考えていきたいと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

前・後期を通じて作品の講読を行うが、前期のはじめの数講において、作品の兼好法師や『徒然草』という作品についての概説を行う予定である。

履修上の留意点

履修にあたっては、各自必ずテキストを用意すること。関連資料等は随時配布する。

成績評価の方法

成績評価はレポートと出席状況で行う。レポートは原稿用紙(400字詰)5枚以上で、年度末に提出すること。なお、レポートの課題等の詳細については開講時に指示する。

教科書

テキストは以下のものを使用する。
木藤才蔵校注 新潮日本古典集成『徒然草』(新潮社 昭和52年) 2,500円

参考書等

参考書については授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 (2) 〔日本文学－近代－〕	おお いずみ まさ ひろ 大 泉 政 弘	短 仏	4

講義のねらい

本年度は、時代と文学の関わりについて考えて行く予定である。明治から現代へ、時代の流れの中で、現在も我々もこの社会に影を落としている問題が存在する一方で、時代の波の中に埋没していった問題もある。それは、時代という奔流の中であって、今に生きる文学作品と埋没し姿を消して行った作品があることと無関係ではない。「戦後」が遠のきつつある中で、時代と文学の関わりを考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期 「文学」という概念の説明から入り、日本の文学思潮とその特殊な流れの背景や明治日本固有の近代概念について 大まかに講義する。明治初期の作品はなかなか読むことが出来ないとと思われるが、読める物については必ず読んでから講義に出てほしい。
後期 北村透谷・島崎藤村・夏目漱石と現代作家を比較しつつ読むことに主眼をおいて進めたい。

成績評価の方法

前期のレポート・期末試験・講義への参加等で総合的に評価する。

教科書

教科書は特に定めないが、講義の中で指示した作品は必ず講義の前に読んでほしい。参考書についても講義の中その都度で指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴史学 (1) 〔日本近代史〕	はやし 林 あきら 彰	短 仏	4

講義のねらい

今日、我々は激しくゆれうごく時代に生きている。こうした時代に確信をもって生きていくためには、過去の激動の時代に、人々がどのような生き方をし、どういう思惟・思索を経てきたかを学ぶ必要がある。我々が、歴史を学ぶ理由の全てとはいわぬまでも、重要な動機の一つはそこにある。こういった問題意識をもちつつ、講義では近代日本史を思想史的にとらえていきたい。とくに、明治時代の思想を中心にみていくこととし、人物・事件・ジャーナリズムなどを通して検討していきたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

講義では、明治期の思想である自由民権・平民主義・初期社会主義の思想をみていく。時間があれば、修養思想や天皇制思想にも言及してみたい。方法としては、その時代の歴史的背景をふまえながら、人物の思想など追っていくつもりである。

成績評価の方法

期末試験、レポートで評価する。

教科書

講義中に指示する。

参考書等

講義中に紹介していきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴史学 (2) 〔中国古代史〕	も 茂 ざわ 沢 みち 方 なお 尚	短 仏	4

講義のねらい

中国の古代史とは、秦の始皇帝、李斯等が活躍する以前の歴史を通観するとともに、その中国の西北方にいたとされる少数民族との関係を中心に、中国の文献学に基づく情報の稀少性に充分配慮しつつ、最近の青銅器の銘文の分析を再検討しながら、その西北方の異民族の実態に迫ろうとするものである。

それは解読困難を極める王国維、郭沫若等の研究が不可欠である。それには、古代中国の文字学(小学)的知識がどうしても必要である。

それは中国古代史をひもとくためにも、又日常我々が使う漢字について注がれた説文学の膨大な諸成果がある。多岐茫羊の感が深いのが、それらの研究を無視しては、研究が進展しない。そういう小学の知識、清朝考証学に敬意を表しつつ、この幻とも思われる西北方の民族の研究にけんめいの努力を捧げた王国維やプルセックの研究を紹介しつつ、この謎に迫ってみたいと思っている。又中国古代の諸子百家の思想の根源にさかのぼってみたい。

教科書

『韓非子』の思想史的研究(近代文藝社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 学 (3) 〔中国古代思想史〕	も ざわ みち なお 茂 沢 方 尚	短 仏	4

講義のねらい

中国古代とは、私の場合、漢代以前を指す。その時代を含むが、私の関心は、中国の諸子百家の思想の源流を尋ねることにある。それは老子、孔子、孟子、荀子、荘子、列子、楊朱、慎到、申不害、商鞅、管子、韓非子、李悝等の活躍した春秋戦国時代に遡及して、それぞれの思想を歴史的に解明しようという願いに支えられている。果たして「道」とは何か、「常道」とは何か。「自然」とはと問題は複雑多岐にわたり、把えんとし把えきれない程深遠である。しかし私は私の関心に依って支えられている長年にわたる研究成果の一端を示して、諸君とともに、この四千年とも五千年とも言われる歴史をもつ中国の心臓部に立ち入ってみたいと思っている。

教 科 書

『韓非子』の思想史的研究 (近代文芸社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 (1) 〔西洋思想の源流〕	かわ たに あつし 河 谷 淳	短 仏	4

講義のねらい

この授業では、古代地中海世界において展開されたギリシア哲学と、西ヨーロッパ全域を舞台とした中世のキリスト教哲学とを主に扱うこととする。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流であるヘレニズムとヘブライズムとに対応するものであり、それぞれは知の優位と信の優位という相克のもとにさしあたっては理解することができよう。しかしながら、両者の間にはそのような不連続性と同時に連続性という側面もあるのであって、これらふたつの源流は複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば、両者がいかなる意味での「源流」であるのかは改めて問われなければならない問題となろう。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義では主に次のような内容を取り扱う。
- ①ギリシア哲学 (ソクラテス以前の哲学、「ソクラテス」の哲学、プラトンの哲学、アリストテレスの哲学)
 - ②キリスト教哲学 (教父哲学、スコラ哲学)
 - ③ギリシア哲学・キリスト教哲学の近代における影響史

成績評価の方法

成績は、中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

授業においてその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 (2) 〔近代の人間観と世界観〕	伊古田 まさる 理	短 仏	4

講義のねらい

この講義は近代ヨーロッパ哲学を歴史を追いつつ紹介してゆくが、同時に哲学というものの我々にとっての意味を考えるため、毎年一つのテーマを設定している。今年度は「言葉」をテーマにとりあげてみたい。我々は日常生活で、考え、語り、理解し、伝達しあうのに言葉を使っている。このあたりまえのことを哲学ではどのように考えているのだろうか？この疑問に常時打ちかえることで、哲学というものがどのようなものであるのか、逆に照らし出してみたい。

教科書

教科書等は開講時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 (3) 〔現代文明と人間〕	寺田 誠一 てら だ せい いち	短 仏	4

講義のねらい

現代（19－20世紀）とは何か。現代は近代や古代・中世とは異なり、我々がその中で生きているという重要な性質を持つ特殊な時代である。我々は現代に生きているが、現代という時代が何かと理解することは難しい。形式的に言えば、現代はそれ以前の時期とは異なる最終的な時代区分であり、それ以前の時期とは異なるという否定的性質によって規定される。それでは現代は何を否定するのか。

講義では以下の三つの観点から現代哲学の主題のいくつかを解説するが、その際、必要に応じて古代から近代までの伝統的理論の説明を併せて行う。

1. 宗教的信仰の退潮。
2. 科学技術の飛躍的発展、および科学技術とそれがもたらす進歩への懐疑。
3. 現代美術における芸術理念の変革。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

講義の際に、その都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
論 理 学 (1) (2) 〔科学方法論と現代論理学〕	まる やま とよ き 丸 山 豊 樹 山 もと あつ ゆき 山 本 敦 之	短 仏	4

講義のねらい

言葉をしゃべる時、文法を意識することが殆どないように、論理もまた、その存在が意識されることはあまりない。

そのような論理を取り出して、その法則性を探求するのが論理学であり、それは形式論理学と科学方法論とを含む。ここで形式論理学というのは、アリストテレス以来の伝統的論理学と現代の記号論理学を含んでいる。科学方法論は、形式論理学で扱われる演算繹法の他に、帰納法等の考察を含む。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、①伝統的論理学——概念論・命題論・推理論、②記号論理学——命題論理学・述語論理学の順で扱うが、帰納推理の項等で科学方法論にも言及する。

履修上の留意点

講義に対する積極的取組みが受講の要件であり、それ以外には予備知識等、一切必要としない。

成績評価の方法

成績は中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

その他

講義が中心になるが、問題演習の時間をできるだけ多くとることにしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 (1) (2) 〔西洋倫理学〕	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦 かわ たに なに 彦 河 谷 淳	短 仏	4

講義のねらい

人間がただ生きるのではなく、「よく」生きることが目的とする生物だということは、考えてみれば不思議なことだ。両者が具体的にどう違うかと問われれば答えに困るが、我々はこの二つのことが違うということは知っているし、「よく」生きるとは、「うまく」あるいは「快適に」生きるとか、「強く」あるいは「美しく」生きることとは何となく違うのではないかと思っている。倫理学は「よいこと」あるいは「悪いこと」の意味を分析し解明する学問である。そこでは大ざっぱに言って次の二つのことが問題になる。すなわち、何が「よい」（あるいは「悪い」）のか。そして「よい」（あるいは「悪い」）とは何なのか。例えば、人を殺すことや盗むことは「悪い」ことだろうが、それらにも様々な様態があり、それらを一概に「悪い」と一言で言ってしまうことにはためらいが残るし、もしかしたら「よい」殺人というものもあるのかもしれない。また様々な事柄がともに「よい」（あるいは「悪い」）と呼ばれるのだから、そこにはそれらに共通の統一的な「何か」が生起していると考えられることは自然である。とすればそれは何なのか。一体いつから我々はこんなふう考えるようになったのだろう。西洋ではこの種の考えが登場した古代ギリシア以来、倫理学は、哲学や神学あるいは法学など諸学問の思想的基盤として大きな役割を果たしてきた。

講義の内容・授業スケジュール

東洋思想と対比しつつ西洋倫理思想史上の考え方のうちいくつかをとりあげて解説する。

成績評価の方法

成績は中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

教科書は、開校時に指示する。

参考書等

参考書は講義中に適宜に指示する。

(2) 社 会 分 野

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 ・ 憲 法 (1) 〔法 と 権 利〕	みつ だ まさ よし 光 田 督 良	短 仏	4

講義のねらい

本講座は、「法学・憲法」と二つの標題を持ちますが、全体としては、「法と人権」というテーマのもとに講義をすすめます。人権を保障している憲法も「法」の一つです。そこで、まず、「法とは何か」ということを検討します。そのためには、できるだけ多くの「法現象」を見聞することが必要です。それは、これらについての個別分野の専門科目が多く存在する事からも理解できます。しかし、「法学」の講義が、それぞれの個別分野を概観するような内容であれば、中途半端は内容となってしまいます。したがって、講義では、これら個別分野の科目に共通する、法の一般的な、基礎的な考え方について検討します。

次に、憲法の内容に入ります。「憲法」の講義の目的は、日本国憲法の内容を、主として憲法解釈学の立場から理解することにあります。憲法の講座では、本来、日本国憲法全体を対象として検討しなければなりません。講義では、本講のテーマおよび時間的制約から、特に人権を中心に検討します。具体的には、人権の内容、限界、制限といった点が主たる内容となります。もっとも、その際、国会、内閣、裁判所などの統治（政治）機構についても、人権との関連において、人権をよりよく確保するための制度という観点から、必要に応じて、採り上げます。

「法の一般的な、基礎的な考え方」、「人権の内容、限界、制限」の検討というと、どうしても抽象的で、難解であると考えられがちです。しかし、抽象的な検討に終始すれば、十分な理解もできませんし、また学修する意欲、興味を損なうこととなります。そこで、講義では、できるだけ、判例など実際に起きた具体的事柄に例を求め、分かりやすく説明するつもりです。

また、人権をめぐる法現象は社会現象の一つですので、現実の社会において現在生じている事柄についても、「今」の法を考えるという意味において、関連性、必要性に応じて採り上げるつもりです。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義は、具体的には以下のようなスケジュールで行います。

序 法学・憲法を学ぶに当たって

I 法とは何か

- 1 法とは何か ― 法の定義
- 2 法と道徳（関係の歴史・区別の基準）
- 3 法の構造
- 4 法における強制（主体・方法・意味）
- 5 法の目的（正義・秩序）
- 6 法の効力
- 7 法の適用
- 8 法の解釈

II 憲法における人権

- 1 日本国憲法の基本原理
- 2 基本的人権の視角
- 3 包括的人権
- 4 法の下での平等
- 5 内心の自由
- 6 信教の自由と政教分離
- 7 表現の自由
- 8 経済的自由
- 9 身体的自由
- 10 社会権
- 11 立法と国会
- 12 行政と内閣
- 13 裁判と司法

履修上の留意点

講義では、「検討する」という姿勢を重視します。したがって、受講者も、講義を聞き、板書を写し、それを覚えるということではなく、常に「考える」という態度で望んでほしく思います。そのためには、少なくとも、教科書の講義該当部分を読んでおくことが必要です。

成績評価の方法

成績は、学年末に行う試験を中心に評価します。受講者数にもよりますが、出席をとった場合、それを平常点として評価することもあります。

教科書

- I の分野については、有沢知子・光田督良・山本悦夫著 『法と社会生活』（尚学社） 2,060円
II の分野については、古野豊秋編 『スタンダード憲法〔テキスト版〕』（尚学社） 1,000円

参考書等

六法（用途に応じた種類等については開講時に紹介します）。参考書等は講義の進行に応じその都度紹介します。

その他

主として講義の形式ですすめます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 ・ 憲 法 (2) 〔法と社会生活〕	はせがわ ひでよ 長谷川 日出世	短 仏	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかわりあいを検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を旨とする。具体的には法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教 科 書

長谷川日出世、中山政義、土屋茂著『法に学ぶ世界』（高文堂出版社） 2,380 円＋税

参 考 書 等

『ポケット六法』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会科学論(1) 〔社会認識の思想〕	あ べ 部 弘 あ べ 部 弘	短 仏	4

講義のねらい

「社会科学」という概念はフランス革命の最中に生まれ、その後19世紀のヨーロッパ社会の発展過程の中で体系化されてきた。「社会科学」の誕生は実は「人間科学」の宣言を告げ、人間とは何か、ということと社会との関係のなかで明らかにすることになった。そして「人間社会」を造り、発展させて行くのは他ならない自分たち「人間」なのだということを宣言したのであった。したがって「社会科学」と呼ばれる「科学・思想」は「社会認識の思想」と言われる。

この講義では「社会科学」がどのような生成・発展過程を経てきたのかを明らかにすると同時に、実際にこれまでに種々の思想家等が書いてきた古典的な「社会科学」の文献を読んでその体系を把握するとともに、講義をする講師・受講生共々それらの文献を通してそれぞれの文献が経験した社会を認識し、現在の社会を把握するとともに将来を展望することを課題とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

I 講義

- 1：フランス革命と社会科学論の登場
- 2：資本主義体制と社会科学論
- 3：「社会科学」の意味するもの

II 実習

- 1：ジャン・ジャック・ルソー：『社会契約論』（1762年）
- 2：福沢諭吉：『学問のすゝめ』（1872-76年）
- 3：フリードリヒ・エンゲルス：『空想から科学へ』（1880-92年）
- 4：渡辺洋三：『法というものの考え方』（1959年）

成績評価の方法

「実習」で評価する。
具体的には、4冊の文献を読み文献ごとにレポートを作成し、提出するものとし、この4回のレポートで評価する。
レポート時期は7月・10月・12月・1月とする。

教科書

「実習」で用いる文献（受講生は講義履修に当たって購入しておいてください）
『社会契約論』、岩波文庫／『学問のすゝめ』、岩波文庫
『空想から科学へ』、（大月センチュリーズ）大月書店
『法というものの考え方』、岩波新書

参考書等

[参考] 阿部弘：「社会科学」について、駒澤大学経済学会『経済学論集』vol.120-No.3
阿部弘：市民と経済学、『祝禱 文化講演集』第八輯、駒澤大学、1996.12

その他

講師との連絡が便利のように、連絡先を掲げておく。
研究室：第2研究館5F：No.2538／TEL：03-3418-9360
講師の住所：〒179 練馬区光が丘6-1-4-204 / TEL03-3976-7984

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 (1) 〔現代経済と人間〕	みょう せ まさ はる 明 瀬 政 治	短 仏	4

講義のねらい

本講義は、理論体系を近代経済学に依拠し、私たちがその中で日々生活している現代の市場経済の仕組み・機能をできるかぎり平易に解説し、結果として受講生諸氏の「経済を見る目」を培うことをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

受講生にあっては、本講義を単に教養科目の一つとしての経済学と考えている人もいれば、これをさらに本格的な経済学へ向かう導入部と理解している人もいると思います。

講義を進めるにあたり、前者に対しては「教養は身についてこそ教養」と考えて、単なる「知識」の習得ではなく現実の生活の中で生かせる「知恵」となるよう工夫しています。つまり、テクニカルタームの解説に墮することなく、具象から学問のコアを浮かび上げらせる手法を採っています。

また、この講義は、それ自体、完結した現代経済学への入門を企図していますので、平易な表現の中に押さえるべき主要事項はきっちりと盛り込んでいます。したがって、「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得論」、「財政政策」のような、経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡し役を意図しています。

上記の趣旨から、ここではテクニカルタームによるテーマの羅列は致しません。

講義に臨んで、私の信条らしきものを掲げておきます。

- ① 難しいことを、あーそうか、と言わせたい
 - ② きょうは「経済学」か、と言わせたい
- そして、
- ③ 結構おもしろい（じゃん）、と言わせるぞ

成績評価の方法

成績は、学期末に行う試験を中心に評価しますが、予告有りて業間チェック（クイズ）を行い、平常点として考慮します。

教科書

教科書は、酒井泰弘 著『はじめての経済学』（有斐閣）1,957円を使用しますが、基本事項を整理しておきたい受講生、もっと本格的に学びたい受講生には、下記の図書を推薦します。

参考書等

- 幸村千佳良 著『経済学事始』（多賀出版）
 伊藤 元重 著『入門経済学』（日本評論社）
 林 俊彦 著『需要と供給の世界』（日本評論社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 (1) 〔現代社会を考える〕	はし つめ さとし 橋 爪 敏	短 仏	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通して現代社会の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題（大衆社会、高度情報化社会、高度消費社会等）を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

参考書等

- 高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
 R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社） 学術文庫
 その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 (2) 〔現代文化を考える〕	はし 橋 爪 さとし 敏	短 仏	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』学文社

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』犀書房
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』講談社 学術文庫
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 (1) 〔社会現象の統計的決定〕	くさ か やす お 日 下 泰 夫	短 仏	4

講義のねらい

統計学は、観測値（バラツキをもったデータ）から観測値の源泉に関する結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析、意思決定などに広範に使用されています。本講義は、統計学の入門として、その基本的な考え方と方法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 統計的方法の本質、2. 記述統計、3. 標本空間と確率、4. 確率変数と確率分布、6. 母集団と標本、7. 推定、8. 検定、9. 相関、10. 回帰

履修上の留意点

統計学は数学の一分野であり、積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

後期末に行う試験を主に、出席状況、演習を加味して評価します。

教科書

P. G. ホーエル（浅井 晃、村上正康 共訳）『初等統計学』（培風館） ¥1,700

参考書等

開講時に紹介します。

その他

授業の方法：重要な部分はその講義の終了の都度個別に演習を実施しますが、全講義の終了直前（12月頃）に3～4時間をかけて演習を行います。ここでは、これまでに学習した全内容に関する典型的な問題とその解答について解説し、自習のための便宜を図ります。また、モンテカルロ・シミュレーションなど、パソコンを使用したいくつかの演習（デモンストレーション）を講義内容に沿って実施します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学(1) 〔文化と人間〕	かわ 川 かみ 上 しん 新 じ 二	短 仏	4

講義のねらい

海外旅行の大衆化など、世界の各国や地域間での人の移動が以前にもまして活発となった今日、活字や映像を通してだけでなく、実際に異文化を体験する機会が多くなりました。皆さんの中にも既にそのような経験をし、または近々経験する計画を持っている人も多いかもしれません。そのような昨今「国際化」「異文化理解」などという言葉がさかんに使われておりますが、ややもすると「異文化誤解」になりかねない危険性もあります。例えば、隣国である韓国への旅行ガイドブックなどには「韓国ではよく結婚しているかどうか、年齢はいくつかなどと聞かれた」という経験談が掲載されたりしていますが、韓国ではなぜそのような質問が行われるのかという理由についてまで説明されていない場合には、そのようなことを単刀直入に相手に尋ねるという習慣の少ない日本人からみたら、時にはお節介、礼儀知らずな国民だとさえ思ってしまうかもしれません。しかし韓国にはそのような質問がなされるだけの社会的理由・背景が存在していますから、そのような理由・背景まで理解してこそ「異文化理解」といえるでしょう。」反対に、外国の人が日本人の習慣を見て不思議に思うことも多いといえます。単なる珍談・奇談をおもしろがるだけでは「異文化誤解」となってしまいます。また韓国では、女性は結婚しても姓が変わることはありませんが、これは今日本で盛んに論議されている夫婦別姓の問題と同一レベルで考えられる問題でしょうか。これは、韓国の女性が結婚しても姓が変わらない理由を韓国の社会的背景の中でよく考えてみなければ何ともいえない問題でしょう。

この講義では、いろいろな国や地域の人々のさまざまな「文化」について、その存在する押啓・理由などに接近するための見方について紹介することを目的とし、あわせて皆さんが異文化に接する際の手助けになればと思います。

講義の内容・授業スケジュール

文化人類学の一般的な概説や、婚姻、家族、親族組織、経済活動、法、政治、呪術、宗教などさまざまな分野における文化人類学的な見方を紹介していきます。私の体験した具体的な事例もお話ししながら講義を進めていきたいと思っています。先に紹介した「韓国ではよく結婚しているかどうか、年齢はいくつかなどと聞かれる」ということや、韓国の女性は結婚しても姓が変わらないことについての社会的背景・理由なども、講義の中で紹介できると思います。

履修上の留意点

講義で紹介した内容を、皆さんが暮らしている地域社会での様子、これまでに体験したこと、お祖父さんやお祖母さんから聞いたことなどさまざまな身近な経験と関連させながら、常に問題意識をもって考えてみてください。

成績評価の方法

学年末の定期試験で成績評価を行います。

教科書

特に教科書は指定しませんが、講義の中で紹介する本など一冊でも多く参考書を読んでください。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学』中央公論社（中公新書）
村武精一・佐々木宏幹編『文化人類学』有斐閣（有斐閣Sシリーズ）
足立明・春日直樹・山本春樹・鈴木岩弓・伊藤義之『文化と現代世界』（嵯峨野書院）など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学(2) 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎ 杉 井 純 一	短 仏	4

講義のねらい

現代世界では様々な民族が絶えず各地を行きかい、自分とは異質な人々との交流や対立を深めています。人々は救いがたい憎悪の念で争うこともあれば、民族の垣根を越えた深い友情で結ばれることもあります。多民族社会、多文化社会へと進む中で、私達は本当に理解しあえるのでしょうか。

文化人類学は民族や文化の多様性を相互に比較することで、お互いの差異や共通性についての認識を深め、「人間とは何か」といった根源的な問いに答えようとするものです。具体的には、人々の生活空間や慣習・儀礼の分析などを通して、「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての観念体系を理解していきます。

本講義では、Ⅰ文化人類学の基礎、Ⅱ諸民族とコスモロジー（宇宙観、世界観）を大きな柱とします。この過程で多様な民族文化の存在を知り、互いを尊重する世界の可能性について考えていきたいと思えます。

講義の内容・ 授業スケジュール

- I. 文化人類学の基礎
 1. 文化人類学とは何か
 2. 文化とコミュニケーション
 3. 環境と経済
 4. ジェンダーとセクシュアリティ
 5. 婚姻、家族、親族
 6. 政治と権力
- II. 諸民族とコスモロジー — アジアを中心
 1. 民族とエスニシティ
 2. 民族・宗教・国家
 3. 儀礼の構造
 4. 呪術と宗教
 5. 共同体と象徴的秩序
 6. 神話と世界観

成績評価の方法

夏期レポート、期末試験で評価します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書）
佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』（新曜社）

その他

できるだけ、ビデオを利用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 (1) 〔政治システムと政治参加〕	ほろりしょういち 宝 利 尚 一	短 仏	4

講義のねらい

冷戦後の国際政治、国際関係の変化を具体的な事例をもとに分析し、解説する。その過程で外国の政治システム、市民団体などの政治参加などについて検証する。

講義の内容・授業スケジュール

国際政治、経済、社会、文化の事例を取りあげ、国際政治の仕組み、国家、民族、宗教のあり方、非政府組織（NGO）の活動などについて考察する。
年間を通じて、冷戦後の国際政治の動向、とくにアジア・太平洋地域の変化を適格に理解できるように指導する。
特に若い世代が日本だけでなく、国際政治への関心を高め、政治参加の意識をもつよう解説したい。

履修上の留意点

授業をより実りあるものにするため、学生の積極的な発言を期待したい。とくに新聞をよく読み、世界の動き、日本の動きに関心をもつようしてもらいたい。

成績評価の方法

不定期に国際政治用語などについての小テストを行う。定期試験は2-3のテーマから1テーマを選び、論文作成とする。

教科書

教科書は特定しない。国際政治システム、国際政治に関する論文、解説、図解などを参考資料としてプリントし、その都度配布する。

その他

プリント教材をもとにグループ・ディスカッションなども考えてみたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 (2) 〔国際社会と日本〕	やまだあつし 山 田 敦	短 仏	4

講義のねらい

政治学入門講座の1つとして、「政治を見る眼」を養うことを目的とする。副題にあるとおり、国際社会のなかで現代日本が直面するさまざまな問題点や課題を取り上げるが、いわゆる時事問題解説ではなく、出席者ひとりひとりが政治問題を考えていくための「分析の道具」を提供することがねらいである。政治学・国際政治学の理論や概念を手がかりに、今頃の国際社会と日本について、各自が意見を形成していくことを望む。

講義の内容・授業スケジュール

主として以下の項目を取り上げる。詳しい授業のスケジュール表は、第1回目の講義で配布する。

- 1 インTRODクッション
- 2 「ジャパン・プロブレム」とは何か
- 3 日本異質論
- 4 日本ただ乗り論
- 5 貿易摩擦と日本
- 6 国際組織と日本
- 7 日本の国際貢献

履修上の留意点

出席者の希望も取り入れて講義内容を充実させたいので、講義初日にアンケートを実施する。日本政治あるいは国際政治で特に関心がある問題を2~3つ考えておくこと。授業中の質問、反論、激論を歓迎する。

成績評価の方法

中間レポートと学期末試験による。どちらも、①論旨明快であるか（発想だけで裏付けがなければ不可）、②みずからの意見を述べているか（参考書の丸写しは不可）を評価基準とする。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

さらに詳しく勉強したい出席者のために、最初の講義で項目別の参考文献リストを配布する。

(3) 自然分野

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 (1) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	すずき じゅんいち 鈴 木 順 一	短 仏	4

講義のねらい

心理学全般の幅広い知識の概念学習は、個人的にできるので自宅でしていただきます。
授業では、主として性格心理学や臨床心理学を背景に、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いを鏡として自己を見つめ、自分や他人の性格を理解し、自己成長するための体験学習をしていきます。

講義の内容・ 授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』八千代出版、1,500円
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』——自己理解ワークブック——（ナカニシヤ出版）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 (2) 〔人間関係を考える〕	すずき じゅんいち 鈴 木 順 一	短 仏	4

講義のねらい

より良い人間関係を築くには、自分や他人の性格を深く理解し受容する必要があります。特に、自己を知り自分をコントロールすることは重要です。

自分のことは自分が一番良く知っているようでいて、実は案外知らないことが多いことを深層心理学は教えてくれます。他人という鏡を通して自己を見つめなおさないと、本当の自分の姿はなかなか見えてこないものです。

本講座では、主として性格心理学や臨床心理学を背景にして、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いの性格を理解し、より良い人間関係を築いていくような体験学習をしていきます。

講義の内容・ 授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』八千代出版、1,500円
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』——自己理解ワークブック——（ナカニシヤ出版）1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 (1) 〔生態と進化〕	し みず よし かず 清 水 善 和	短 仏	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しているわけであり、進化を抜きにして生物を理解することはできない。一方でこの地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20m超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。この生物の多様性が生物を理解するもう一つのカギである。さらに、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。本講義では生物の進化や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

講義で取り上げる主な項目：進化と遺伝子、進化論と総合進化説、進化のタイムテーブル、系統と分類体系、種の定義と属性、種分化と絶滅、生物多様性、分子進化、動物行動学、人類の進化、生態系、食物連鎖と生態ピラミッド、物質循環、生態学的地位、生物地理区、植生帯、植生遷移、個体群の動態、共生、都市と生物、など。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席を勘案して評価する。

教 科 書

特に用いない。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 (2) 〔生物と環境〕	なか むら とし え 中 村 敏 枝	短 仏	4

講義のねらい

一つの卵と一つの精子があれば、顕微受精によって新しい生命を誕生させることができる。永久凍土に眠るマンモスの精子を冷凍保存された精子と考えれば、これとアフリカゾウの卵細胞を用いて混血個体をつくり、何世代も体外受精をくり返すことによって、絶滅したマンモスを復元することは可能であるといえよう。ところで、この20年以上、人間の精子が減少傾向にあり、このまま減少が続けば次世代の誕生が期待できない事態が数十年後に訪れるともいわれている。マンモスの再生よりも先に、人類が絶滅するという可能性もあるのである。

間違いなく、地球は将来人類絶滅の瞬間を用意している。人類にそれを避ける手段はない。できることは、その瞬間をどれだけ先に送るかだけなのだ。人類が救わなければならないのは「病んだ地球」、「傷ついた地球」ではなく人類自身である。私達が守らなくてはならないのは、人類の生存が可能な現在の地球環境である。現在の私たちの生活のありかたが、人類史の長さを決定する。将来の世代のために私達はどうすべきなのか一緒に考えましょう。

講義の内容・授業スケジュール

1. 生物の生活：生命の維持・植物の物質生産・動物の個体群・社会・行動
2. 生態系：物質の循環・エネルギーの流れ
3. 人間による環境破壊：オゾン層の破壊・地球温暖化酸性雨・熱帯雨林の破壊・化学物質汚染・ゴミ問題など（これらのうちの幾つか）

そ の 他

意見発表の場を設けるので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。期末試験と平常点とで総合評価をします。教科書は未定。参考書はその都度紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(1) 〔コンピュータと情報〕	たけ だ よう いち 竹 田 洋 一	短 仏	4

講義のねらい

今日の情報化時代、コンピュータが我々の社会において果たす役割はきわめて重要なものとなっており、この技能を少しなりとも有することは特にこれからの若い世代にとってはほとんど不可欠であるとみなして良いであろう。本授業の目的とするところは、未経験の初心者を対象にして、①コンピュータに関する最低限の基礎的知識、並びに②将来必ず必要になる代表的なビジネスソフトの操作経験、を身につけてもらうことにある。とはいえ堅苦しく考えるには及ばない。基本的な姿勢として、無味乾燥な学問的知識を強いて覚え込ませるといった形はなるべく取りたくはない。むしろ「習うより慣れる」に重点を置いて、パーソナルコンピュータを実地に操作する演習を中心に据え、「コンピュータとはこんなことまで出来るんだ」といった感動を一人一人が自分自身の感覚で味わってもらいたいものと願う次第である。

講義の内容・授業スケジュール

この基本的指針の通り、次のような実際上の目標を設定して授業を進めたいと思っている。まず最初は、現在もっともポピュラーになったパソコンのオペレーティングシステムの代表格であるウィンドウズ（Windows 95）に親しみ、習熟することを目指す。タイピングや日本語入力などのキーボードの操作、マウスを用いたウィンドウズの基本的テクニックから初めて、ファイル並びにディレクトリの取り扱い、フロッピーディスクへのデータの読み書き、オンラインヘルプの利用法、などをまず学習する。そしてワープロや描画ソフトなどを用いてデータの交換と貼り付けの手法を学び、絵入りの文書が作成できるまでの基礎を身につける。

しかる後にビジネスソフトパッケージの代表格であるマイクロソフト社の「OFFICE」に含まれる各ソフトを用いての実習に取り組む。前期は主に表計算ソフトの「EXCEL」を扱うことにする。基本的な帳簿計算やグラフの作成の手法を学習することで、如何にこの種のツールが実際のビジネスにおいて便利なものであるかを自分自身で体験してもらいたい。後期は「データベースの取り扱い」をメインテーマに据えたい。前期で慣れた EXCEL に加えて、高機能のデータベースソフト「ACCESS」を用いて大量のデータの取り扱いと整理の仕方を学ぶ。できれば最終的には、初歩的なレベルのプログラミングで独自のシステムやインターフェイスを作ることのできる段階にまで到達してもらいたい。

履修上の留意点

先にも述べたように初心者を対象とするので特に予備知識の必要性はないが、折に触れて課題や宿題を出すつもりであるので授業以外でもパソコンの使用が必ず必要となるであろう。そのためには情報教育センターの自習室のパソコン群があるので、センターにこの利用のための登録（登録料1,000円）をする事はほとんど必須であるものと理解されたい。

成績評価の方法

各人の成績は、一年を通しての出席の様子、課したレポートや課題の提出状況と出来具合のおおの前期後期の終わりに行う計2回の試験の点数、などに基つき総合的に判断して決定する。

教 科 書

本年の授業では決まった教科書は特に用いない。しかし毎回授業の際にプリントを配布する予定である。

そ の 他

授業は、ひと月のうち1回は講義室での講義、残りの3回（ないしは4回）はパソコン室での実習と解説、という割合で進めたい。なお、実習室のパソコンの台数が限られているため、受講希望者が多い場合は選考せざるを得ないので、その旨理解されたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(2) 〔コンピュータと情報〕	うえ はら りゅう へい 上 原 隆 平	短 仏	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理を学ぶ。実習を交えながら現在のコンピュータネットワークの上で実現されているさまざまな機能を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータとはなにか、どのようなもので構成されているか、という金物的な話から、そのうえで実現され、実行されるソフトウェアとはどのようなものか、という話、さらにはコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネット上ではどのようなサービスが利用できるのか、という話まで、実習を交えて行う。ソフトウェアの背景となるプログラミング言語とプログラミングにも途中で簡単にふれる。インターネット上のサービスとして、電子メール、オンラインニュース、wwwなどのサービスを（可能ならば）実際に利用する。その際にインターネット上のセキュリティに関する話にも簡単にふれる。最終的にはHTMLを用いたホームページの作成を通じて、構造を持った文とは何かを知る。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。また状況によっては、コンピュータの利用申請が必須になる場合もある。

成績評価の方法

評価は前期末（中間試験）と後期末（期末試験）の2回の筆記試験および演習（授業時間中に適宜行う）によって行う予定である。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する予定である。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地球科学(1)(2) 〔自然景観の成立ち〕	うるし はら かず こ 漆 原 和 子	短 仏	4

講義のねらい

地球の陸地形成の歴史を説明し、日本の位置の特色を明確にする。また、地球をとりまく大気の変化の歴史をたどる。そして今日の地球の人間活動について考察をする。講義の骨子は次のとおりである。

- 1) 世界の陸域と日本列島の成り立ちについて論じ、日本列島の世界的位置づけをおこなう。
- 2) プレートテクトニクスの観点から日本の地殻変動について説明する。
- 3) 第四紀における気候変化と人類の進化、海水準変動について述べる。
- 4) 歴史時代の気候変化とそのメカニズムについて述べる。
- 5) 人間活動によって引き起こされた地盤沈下、土砂崩れ、海岸侵食などについて述べる。

成績評価の方法

期末テスト、レポートによって行う。

教 科 書

貝塚爽平『日本の地形』（岩波新書）G38、480円

そ の 他

講義を原則とする。適宜スライド、プリントの配布をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論(1) 〔宇宙から見た地球環境〕	しの 篠原 まさお 正 雄	短 仏	4

講義のねらい

工場が周囲を汚染する公害問題から始まって、今日では全地球的な環境問題が議論されている。人類の活動が、物質循環においてもエネルギー循環においても惑星規模に達したことの当然の結果である。本講では個別の環境問題ではなく、〔地球環境〕とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを論じる。

太陽系の惑星の一つである地球の自然環境は46億年の太陽系の歩みの結果形成されてきた。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にある。また、過去30年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきた。本講では、現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち宇宙の視点から地球の自然環境を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、地球環境の支配的な要因である太陽放射とその役割について学ぶ。太陽放射の変動、地球軌道の変化、太陽放射を受ける側の大気、海、生物の役割を学び、金星などと比較しながら、オゾン層、地球温暖化の問題を考える。

後期は、太陽・地球磁場と自然放射線、月の影響、地球の過去と未来等のテーマを取り上げる。

成績評価の方法

学期末に行う筆記試験により、平常点を加味する。

教 科 書

『環境の科学』（学会出版センター）

参 考 書 等

講義の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論(2) 〔環境と自然保護〕	し 清 みず よし かず 水 善 和	短 仏	4

講義のねらい

南極大陸上空のオゾン・ホールは年々拡大の傾向にある。最近の異常気象の頻発は地球の温暖化とつながりがあるのではないかと疑われている。ヨーロッパや北米の針葉樹の森を禿げ山にした酸性雨は日本でも各地の森林を枯らし始めているらしい。増え続ける自動車の排気ガスによる大気汚染は相変わらずで、スギ花粉症の急増との関係も指摘されている。河川や湖沼の水質改善も頭打ちで浄水器やペットボトル入り飲料水の人気は当分続きそうである。都会をあふれたゴミの山は地方の山林を荒し回っている。何百年も管理が必要な原発や核兵器から出る放射性廃棄物もたまる一方である。熱帯林を中心に世界の原生林が伐採され、絶滅に瀕する動植物が急増している。道路、住宅、ゴルフ場などの開発により日本人に親しまれてきた里山や田園の風景が急速に失われている。私たちははたして次の世代に健全な自然環境を引き継ぐことができるのだろうか。本講義では自然環境に係わるさまざまな問題を取り上げ、関連する自然科学分野の基礎知識を復習した上で、その歴史的背景、発生のメカニズム、人間や他の動植物に与える影響、問題解決の取り組みなどを概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義で取り上げる主な項目：地球環境の成立、生態系と物質循環、地球の温暖化、オゾン層の破壊、大気汚染と酸性雨、ゴミ問題、上下水道と水質汚染、公害の歴史、原発と放射線性廃棄物、電磁波問題、生物の多様性、熱帯林の破壊、森林の効用、捕鯨をめぐる論争、保全生物学、自然保護の制度と施設、環境倫理など。

成績評価の方法

テスト、レポートと出席により評価する。

教 科 書

特に用いない。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

板書中心の講義形式。必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 数 学 (1) 〔 情 報 と 論 理 〕	み よ し し げ あ き 三 好 重 明	短 仏	4

講義のねらい

この講義では、コンピュータ科学やコンピュータによる情報処理などについて学ぶ際の数学的部分の基礎についての解説を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

したがって、基本的な数学の言葉の説明から始めて、論理代数と論理回路、アルゴリズムとその存在、計算量の問題、等を解説する予定である。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

評価は前期末と後期末の2回の試験によって行う。

教 科 書

教科書は講義の初めに指定する予定である。

3 外国語科目

3 外国語科目

《選択必修科目》

英語	I	(石原孝哉)	39
英語	I [再クラス]			
英語	II	(佐々木隆)	39
ドイツ語	I	(松本洋子)	40
ドイツ語	I [再クラス]	(橋本博)	40
フランス語	I	(野沢協)	41
フランス語	I [再クラス]	(桑田禮彰)	41
中国語	I	(宮本厚子)	42
中国語	I [再クラス]	(大久保明男)	42
中国語	I [再クラス]	(塩旗伸一郎)	43
スペイン語	I	(丹羽昌一)	43
スペイン語	I [再クラス]	(荻野雅司)	44
ロシア語	I	(廣田英靖)	44
ロシア語	I [再クラス]			

《選択科目》

英会話	I	(西村祐子)	45
-----	---	--------	-------	----

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	いし はら こう さい 石 原 孝 哉	短 仏 1 年	2
英語 I 〔再クラス〕		短 仏 2 年	

講義のねらい

日常的な言葉による英語の総合的運用能力の向上を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞英語を通じて現代社会が直面するさまざまな問題について考える。練習問題を通じて英語の運用能力の向上に努める。

履修上の留意点

授業は演習方式で行なうので、必ず十分な予習をしてくること。出席を重視する。

成績評価の方法

試験は中間、期末の2回。ほかにレポート、小テスト、平常点を重視する。

教科書

『Sketches of Life』三修社 ¥1,400

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II	さ さ き たかし 佐 々 木 隆	短 仏 2 年	2

講義のねらい

IAを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

国際化をはだで感じるためには、まず自国の文化をみつめ直す必要がある。これにともない外国人から見た日本のイメージを理解してもらいたい。様々な内容が所収されており、興味・関心のもてるテーマから取り扱うものとする。

成績評価の方法

原則として、3分の2以上の出席が必要である。特に出席は重視する。

教科書

『Discover Japan (Vol. 1)』Kodansha International

その他

英和辞典は毎回必携のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I	まつ 松 本 洋 子	短 仏 1 年	2

講義のねらい

ドイツ語文法の基本的な事柄を簡単な文章を読むことや独作を通して徹底的に習得することをめざします。

履修上の留意点

ドイツ語の学習は少しずつ積み重ねて行くことが大切です。授業には出来る限り休まず出席すること。

成績評価の方法

平常点と中間テスト、定期試験の結果を総合的に判断して行う。

教 科 書

石塚秀樹（他）『ドイツ語の窓－初学者の視点から－』東洋出版 ￥1,845

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I 〔再クラス〕	はし 橋 本 博	短 仏 2 年	2

講義のねらい

やさしいドイツ文をできるだけ覚えることによって、ドイツ語に親しめるようにします。

履修上の留意点

テキストはきわめて平易なものです。意欲のある学生は、授業だけに満足せず、学習をすすめてください（参考書などは紹介します）。

成績評価の方法

平常点と定期試験の結果で評価します。

教 科 書

須澤通・黒澤優子『あなたと私のドイツ語ディアローク』同学社 ￥2,200

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I	野 沢 協 <small>の さわ きょう</small>	短 仏 1 年	2

講義のねらい

フランス語文法の初歩を学ぶことを目的とします。

成績評価の方法

前期、後期の試験のほか、動詞の活用を対象とした小テストをしばしば行います。

教 科 書

簡にして要を得た文法教科書として定評のある下記の本を使います。
川村克己『新川村ふらんす語』 駿河台出版社 ￥2,200

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I 〔再クラス〕	桑 田 禮 彰 <small>くわ た のり あき</small>	短 仏 2 年	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得

講義の内容・
授業スケジュール

もう一度ゼロから、しっかり確認していきましょう。あまり無理をしないで、基礎力を確実に身につけることをめざします。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業における評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

楠瀬絢子他著『赤い風船』朝日出版社

参 考 書 等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I	みやもと あつこ 宮 本 厚 子	短 仏 1 年	2

講義のねらい

中国語の初歩を学ぶ。ローマ字を用いた発音記号（ピンイン）の習得、簡単な構文と基本的な語彙を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

初歩の学習において、最も重要であるのは発音であると考え。また自習の難しい部分であると思われるので、講義の際も発音に重点を置くことになろう。

成績評価の方法

出席とテストの成績の両方で評価するので、まじめに出席することが望まれる。テストは前後期末に各一回。学期中に小テストを適宜行う。

教科書

黒坂満輝・村上公一・楊曉安『コミュニケーション中国語（I）』同学社 1,350（税別）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I 〔再クラス〕	おおくほ あきお 大久保 明 男	短 仏 2 年	2

講義のねらい

中国語の基礎（ピンイン、発音など）をしっかりと習得した上で、実用的な中国語を会話中心に学ぶことを目指す。

成績評価の方法

出席、学習態度、小テストなどによる総合評価。

教科書

丁秀山 坂井田ひとみ著『やさしい入門中国語』CD付き 金星堂 ¥2,300

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I 〔再クラス〕	しお なた しん いち ろう 塩 旗 伸 一 郎	短 仏 2 年	2

講義のねらい

「話せる」力を中心に、文法の系統的理解と読み書きを加えた総合的能力を育て、ずばり「中国語ができる」ようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書は「基本対話」、「文法」、「スキット」、「練習問題」の4部構成。このうち「基本対話」は暗誦、「スキット」は正確な発音で読めること、「文法」は復習、「練習問題」は予習が義務づけられる。

履修上の留意点

出席と授業態度を特に重視する。この両面で根本的に考え方を改めて臨まない限り、今年も単位取得は不可能である。学習の蓄積がある英語と異なり、一から学び直す中国語では毎回出席が当たり前。また指名された際、適切な答えが正しい発音でできるかどうかの評価の分かれ目になる。出席してただぼんやり坐っているだけだったり授業にまじめに取り組まない者は来年もう一度履修してもらう。

成績評価の方法

定期試験＋授業態度一欠席点。欠席3回目から理由の如何を問わず10点ずつ減点する。年間3分の1までは欠席OKなどと考えると大間違いである。遅刻は2回で欠席1回とみなす。

教 科 書

榎本英雄『できる中国語』同学社 ¥1,700

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 I	に わ しょう いち 丹 羽 昌 一	短 仏 1 年	2

講義のねらい

まず発音練習に重点をおき、ついで音読と初歩的な文法を習得する。

履修上の留意点

第二外国語の学習には日頃かなりの努力と根気を要する。その点をわきまえ、漫然とした気持で履修届をだすことのないよう、老婆心ながら一言。

成績評価の方法

期末試験の結果以上に、平常の学習態度を重視する。

教 科 書

宮本博司『ようこそスペイン語の世界へ』大学書林

参 考 書 等

辞書を購入のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語Ⅰ 〔再クラス〕	おぎのまさし 荻野雅司	短 仏 2 年	2

開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語Ⅰ	ひろたひでやす 廣田英靖	短 仏 1 年	2
ロシア語Ⅰ 〔再クラス〕		短 仏 2 年	

講義のねらい

一般的に、語尾変化があるロシア語は、難しい言語であるとおもわれがちですが、その動詞、形容詞、名詞の語尾変化を含む文法体系は、驚くほど首尾一貫しており、ある程度基本文法を学ぶと、ロシア語の文体が如何に単純、明快であるか、さらにその構成が極めておおらかで、自由、柔軟なことに気がつきます。このような特徴を持つユニークなロシア語の学習を通して、ユーラシア大陸における旧ソ連の各共和国、諸民族の生活や文化の背景にも広い視野でスポットをあてます。

最初の段階では、ローマ字やギリシャ文字と共通のものもあるわずか33個のロシア語アルファベットの綴、発音をイラストで示し、次にごく簡単な言葉、挨拶、ことわざを利用しながら、アクセントとリズム、イントネーションを反復練習し、自然におぼえることに重点をおきます。

徐々にロシア語の基本文法を体系的に分かりやすく解説し、平易な文型、実用的で応用のきく会話表現を学び、辞書を用い簡単な文章が正確に読み取れるようにします。

授業の合間には、気分転換をかねてポピュラーなロシア民謡を口ずさんだり、楽しく内容豊かなアニメーション・ビデオを鑑賞し、頭脳を能率よく働かせるロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

戸辺又方『1年生のロシア語』白水社 ¥1,400

参考書等

露和辞書

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	にしむら ゆうこ 西 村 祐 子	短 仏 1・2 選	2

講義のねらい

基本的な身の回りのことを英語で表現できることをめざし、できるだけクラス内で英語で発表し会話する時間を多く設け、英語で考えることを実践させる。授業はすべて英語でおこない、質問もすべて英語でのみ受け付ける。聞き取り、発音矯正の為に L.I. の設備を用いることがある。

履修上の留意点

例年履修登録者の3分の2は落伍する厳しいクラスである。

成績評価の方法

すべて平常点と提出物による。

教 科 書

授業中に指定する。

4 保健体育科目

4 保 健 体 育 科 目

健康・スポーツ論(前期)(長濱友雄)	53
健康・スポーツ論(前期)(竹田幸夫)	54
健康・スポーツ実習(卓球)(宮沢栄作)	55
健康・スポーツ実習(トレーニング&ニュースポーツ)(大石武士)	56
健康・スポーツ実習(バドミントン)(広谷五郎)	57

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論（前期）	なが はま とも お 長 濱 友 雄	短 仏 1・2 選	2

講義のねらい

我々日本人は世界一の長寿を誇っているが、ほんとうに健康で活力に満ちた生活を送っているのだろうか。最近のデータによれば体格は非常によくなったけれども、それに反して体力は低下している。それでどのような生活をし、体力の増強を計らなければならないかを中心に講義を進めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：現代生活の身体活動、余暇と運動
- 2 時限目：体力の定義、時代の変遷と体力
- 3 時限目：運動を起こす身体のしくみ
- 4 時限目：運動を持続する身体のしくみ
- 5 時限目：運動の継続体験に対応する身体の変化
- 6 時限目：体力の指標と運動の激しさの尺度
- 7 時限目：体力トレーニング理論
- 8 時限目：体力、運動能力の個人差と素質
- 9 時限目：運動と外気環境
- 10 時限目：運動と心理的要因
- 11 時限目：運動と食事・薬物
- 12 時限目：運動と疲労
- 13 時限目：ドーピング論
- 14 時限目：エイズ問題
- 15 時限目：オリンピック論

履修上の留意点

出席50%以下の者は採点の対象にしない。

成績評価の方法

出席30%、テスト70%で評価する。

教 科 書

特になし

参 考 書 等

『保健体育理論』『体力論』『人間と健康』

そ の 他

主として講義で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論（前期）	たけだゆきお夫 竹田幸夫	短仏1・2選	2

講義のねらい

健康・スポーツに関する基礎的な知識についての講義を行なう。健康については、現代病やストレス、肥満などのテーマで、とくに心と体の関わりで考えていく。体力については、基礎的な体力要素の特徴とトレーニング方法、またスポーツ運動学の立場から人間の運動のさまざまな特徴を具体的な例によって解説する。

大学生の年代は、将来におけるライフスタイルの基礎を確立する大切な時期でもある。講義の内容から、自分の健康や体力、さらにはスポーツに関する基礎的な知識と考え方についての理解を深めてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：人間と健康（心と体、現代病）
- 3 時限目： " （心と体、ストレス）
- 4 時限目： " （心と体、肥満とダイエット）
- 5 時限目：体力とトレーニングの方法（基礎的な体力要素）
- 6 時限目： " （体力要素の特徴）
- 7 時限目： " （トレーニング方法）
- 8 時限目：スポーツ運動の理論（スポーツ運動の特徴）
- 9 時限目： " （運動の上達、習熟とは）
- 10 時限目： " （運動の発達）
- 11 時限目： " （スポーツにおける右と左）
- 12 時限目： " （イメージトレーニング）
- 13 時限目： "
- 14 時限目：まとめ
- 15 時限目：試験

履修上の留意点

授業において扱う内容、知識として聞くだけではなく、自分の身近な、そして具体的な問題として考えながら講義を聞いてほしい。

成績評価の方法

授業最後の試験と出席を加味して成績評価を行なう。

教科書

駒沢大学保健体育部編『保健体育概論』カッサ出版部 ￥1,700

参考書等

授業内容と関わりのある以下の書籍を参考図書として上げておきたい。

- 1) 芦原 睦著『心でおきる身体の病』講談社ブルーバックス ￥760
- 2) D. チョブラ著『パーフェクトヘルス』ダイヤモンド社
- 3) 白石 豊著『スポーツ上達の基礎理論』自由現代社 ￥1,200

その他

授業は、主に講義形式で進めるが、テーマによっては受講生の見解を発表してもらう場合もある。また、バイオフィードバック装置（脳波測定装置）等の機器を利用して実験的な内容の授業も試みたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔卓 球〕	みや ざわ えい さく 宮 沢 栄 作	短 仏 1・2 選	2

講義のねらい

文明発達著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは益々減少しつつある。このような生活環境、特に二部学生に対して例え少ない時間であっても、卓球を通じて身体を動かすことを主なねらいとしたい。特に卓球は瞬時の動きを必要とするから、意識的に敏捷な動きを課したい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、目標の説明
- 2 時限目：ラケットの種類の特長、ラケットの握り方、ラケットとボールを使った遊び
- 3 時限目：サービス、レシーブ、フォアハンドドライブ
- 4 時限目：サービス、フォアハンドドライブ、スマッシュ
- 5 時限目：サービス、バックハンド
- 6 時限目：サーブレシーブ、バックハンド
- 7 時限目：総合練習
- 8 時限目：総合練習、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目： ”
- 11 時限目： ”
- 12 時限目：ダブルスゲーム
- 13 時限目： ”
- 14 時限目： ”
- 15 時限目：まとめ、テスト

成績評価の方法

出席を重視する。

そ の 他

服装は運動着、体育館用シューズ
用具は全て貸与する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔トレーニング&ニュースポーツ〕	おお いし たけ し 大 石 武 士	短 仏 1・2 選	2

講義のねらい

体力づくりは、トレーニングマシンがなくてもできるメディシンボールやユニットダンベル等、簡単な器具で行う体力づくりを正しく行い、現在及び将来の健康・体力の維持増進を目的とする。また、ニュースポーツとして現在静かなブームをおこしている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラを余暇ゲーム感覚で行い、楽しみながら生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：トレーニング・スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時 限 目：トレーニング・スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時 限 目：トレーニング・スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時 限 目：トレーニング・スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時 限 目：トレーニング・スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時 限 目：トレーニング・スポーツチャンバラ：審判規則・ゲーム
- 8 時 限 目：トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム
- 9 時 限 目：トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム
- 10 時 限 目：トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム
- 11 時 限 目：トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム
- 12 時 限 目：トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム
- 13 時 限 目：まとめ
- 14 時 限 目：まとめ
- 15 時 限 目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員は40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：第二体育館 2 階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔バドミントン〕	ひろ 谷 五 郎	短 仏 1・2 選	2

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 3時限目：スマッシュの基本技術/ネット際のプレー技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 4時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6時限目：同第2日目
- 7時限目：同第3日目
- 8時限目：同第4日目
- 9時限目：同第5日目
- 10時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12時限目：同第2日目
- 13時限目：同第3日目
- 14時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

履修上の留意点

服 装：一般的な運動服装
シューズ：運動靴 (体育館用として中履きのシューズを使用すること)

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

バドミントンラケット・シャトルコックは大学で用意する。